

げんてん

(日本医科大学第一内科学教室・同窓会年報)

第十二号

(1999年度)
2000年度)

付 日本医科大学第一内科学教室業績集

(1999年4月～2001年3月)

付 日本医科大学第一内科同窓会名簿

日本医科大学第一内科学教室・同窓会発行

目 次

卷頭のお言葉	山崎 登志雄	1
ごあいさつ	高野 照夫	2
I. 抱負と業績		
教授就任(2001年4月)	加藤 貴雄	3
肝臓内科部長就任(1999年4月)	勝田 勝実	4
集中治療室部長就任(1999年12月)	田中 啓治	5
第一内科助教授就任(2000年10月)	清野 精彦	6
第一内科講師就任(2000年4月)	畠 典武	7
(2000年4月)	草間 芳樹	8
(2000年10月)	小林 義典	9
(2000年10月)	安武 正弘	11
(2000年4月)	雪吹 周夫	12
(2000年10月)	本間 博	14
(2001年10月)	佐藤 直樹	16
第一内科客員教授就任(2000年10月)	大林 完二	18
第一内科兼任講師就任(2000年10月)	富田 喜文	19
(2000年10月)	木内 要	20
II. 各付属病院医局長の抱負		
第二病院	寺田 秀人	21
多摩永山病院	雪吹 周生	22
千葉北総病院	今泉 孝敬	23
III. 学会報告		
IV. 海外留学者の帰国報告		
V. 第一内科学教室、同窓会(げんてん会)記録		
VI. 故梁君を偲ぶ		
VII. 医局員勤務表		
VIII. C C・C P C		
IX. 学位取得者		
X. 1999年度研究業績		
2000年度研究業績		
X I. 同窓会会員名簿		117
編集後記		140

— =のお言—

「情報の共有」

げんてん会副会長 山崎 登志雄

20世紀と21世紀の狭間にあたる年にあたり、“げんてん会”にも大きな変化がありました。第一内科を主宰する教授の交代です。早川弘一学長から高野照夫教授へと責任が移されました。早川教授の長い間の御苦労に対し、心から御礼を申し上げます。と同時に、今後の高野教授に対して、大きく期待を膨らませる次第です。

日本医科大学第一内科の中興の祖と尊敬して止まない木村栄一教授の薰陶をうけた我々は、その教えの礎として、しばしば“げんてん”を省みる、あるいは“げんてん”を確かめることの重要性を、繰り返しあたまに、いや心に刻みこまれてきました。その結果、多くの教え子、さらに教え子の教え子の中に“げんてん”が強く印象づけられました。その意識は、教室員の中で、強く太くしっかりした根となり、その根から硬く充実した幹が育ち、高く伸びていくのにつれ枝も拡がり葉も繁ってきました。今は豊かな果実も沢山出来ました。ある者は医学の研究・研鑽に励み、またある者は臨床家として社会のために医療を実施する。昨今のことばで言えば医師のソフト形成の基に“げんてん”が染み込んでいるのです。

ところで、IT革新論議が盛んです。日本政府はITの進歩普及の点で、アメリカに負けまい、いやすこしでもでも追いつきたいと国策としてパソコンの全国普及展開に乗りだしました。情報伝達の手段やスピードは急速に変わりつつあります。特に知的レベルが共通している医学・医療の分野では、このIT進展の大きな源は影響するところも多大なものがあります。つまり世界中の情報が瞬時に私共のところに届くことが可能です。大学においても、4つの付属病院間はもとより、出張病院や医局出身者の方々にも平等に素早く情報を伝えることが可能になるでしょう。現在、世界中の医学学者や医師の間で受けとる知識に差はなくなったのです。このような時代には、何処に職場があろうとも、何処の職場に変わろうとも、われわれ自身のやるべきことは何かということに悩むことは無い筈です。すなわちどのような場所に居ようと医学知識の収受に困難は生じません。“げんてん”会員のために教室が情報発信のキーステーションとなってくれればと考えております。

“げんてん”会はしっかりと根付いた大樹となってきたと申しました。そこから実が撒かれ、新芽が出て木に育つ、あるいは根が四方に伸びてそこも地上に芽を出す、というように一本の樹でなく沢山の樹がどんどん生えてきて林になる更に森になることを期待して巻頭の御挨拶といたします。

ごあいさつ

第一内科主任教授 高野 照夫

今年は同窓会の皆様のご指導と医局員の協力により、医局が一丸となって進み、多くの行事をなしつづけ、さらに業績を上げることができた、と思っております。行事の中で最も重要なことは、早川先生の退任祝賀会です。平成12年9月17日に帝国ホテル藤の間で開催されました。小沢一郎自由党党首、加藤和三心臓血管研究所名誉所長をはじめ各界の名士を含め、約500名の皆様にご出席いただきました。早川先生はご挨拶の中で"Old boys and girls, be ambitious"と述べられております。いかにも早川先生御夫妻の会でありました。先生は、現在久我山病院で院長としてご活躍なさっています。ありがとうございました。

また、学会活動も活発に行われております。山口巖つくば大学内科教授は、日本循環器学会関東甲信越地方会第177回学術集会の会長を平成12年10月7日に勤められております。さらに、千葉北総病院内科教授の水野杏一先生は、日本循環器学会関東甲信越地方会第181回学術集会会長を平成13年9月に、第15回日本心臓血管内視鏡学会を平成13年11月に勤められることになります。さらに、付属病院講師の高山守正先生は同年11月に日本心血管インターベンション学会関東甲信越地方会会长を勤められます。岸田教授は平成15年に日本心電学会を主宰されます。高野は平成13年3月8日～10日に東京ドームホテル、東京シビックホールで開催されます第28回日本集中治療医学会総会の会長を勤めます。是非成功させたいと努力しておりますので、皆様のご協力をお願ひいたします。

第一内科教室では、勝田悌実助教授が肝臓内科部長に、田中啓治助教授が付属病院集中治療室長に任命されました。さらに、清野精彦助教授、草間芳樹講師、安武正弘講師（医局長は佐藤直樹助手に交代）、畠典武講師（千葉北総病院集中治療室長兼任）、小林義典講師がそれぞれ昇進いたしました。第一内科に新しいエネルギーを吹き込んでほしいと思います。大林完二先生は客員教授に、富田喜文先生および木内要先生には兼任講師をお願いいたしました。研究や診療の面でご指導いただきたいと思います。

海外留学から来馬明規君、横山広行君、高野仁司君、浅井邦也君、小原俊彦君、小原啓子君が元気に戻ってきました。海外経験を生かして、後輩の指導にあたってほしいと願っています。と同時に、研究の面でも医局の牽引者となってくれることを切望します。

平成11年4月より静岡県にあります国立東静病院が派遣病院に加わりました。東海地方の循環器病の拠点病院として国が力を入れており、本校でも全面的に後押ししています。昨年から横山、高野両君が柱となって、医療に励んでいます。

平成11年4月～平成12年3月までの1年間に宮内靖史君、葉梨亜矢君、佐藤丞子君、何媛君の3名が医学博士を取得しています。その後続々と学位を取得する医師が続いております。現在では、少なくとも毎月一人が学位論文に挑戦し、合格しています。大変喜ばしいことだと思っております。

現在、医局員は「自己完結型」の医師を目指して、仕事に取り組んでいます。そのためにできる限りの助力をしていくつもりです。彼らの将来に期待したいと考えております。

I. 抱負と業績

〈第一内科教授就任〉

教授を拝命して

加藤 貴雄

平成13年4月1日付で日本医科大学第1内科教授を拝命いたしました。昭和47年、故木村栄一教授の心電図の講義に魅せられて入局以来足かせ30年になりますが、当時の八幡医局長から東館2階勤務を命ぜられ、受け持ち患者が重症で入局当日から病院に泊まり込んだ日々のことを、いまだに鮮明に記憶しております。この間、木村栄一先生、奥村英正先生、早川弘一先生そして現在の高野照夫先生と4代の主任教授の後輩陶を賜り、今日まで来られましたことはひとえに先輩諸先生方のご指導と、同僚、後輩の皆様のご協力のお陰であると心から感謝いたします。また附属病院のみならず集中治療室、多摩永山病院、北村山公立病院、石橋病院などにおける貴重な臨床経験に加え、ロサンゼルスのシーダース・サイナイ・メディカルセンターへの留学が私にとって大きな転機の一つでした。臨床におけるさまざまな事象を正確に理解し的確な治療に結びつけるには、動物実験をはじめとする基礎研究の知識や裏付けが不可欠であること、また物事をポジティブに前向きに考えることによって良い結果が生み出されることをスワン教授、マンデル教授から身をもって教えていただきました。

『心電図の裏側を読みなさい』という木村先生から与えられた命題と30年間格闘してきましたが、この間ホルター心電図、電気生理学的検査、心臓微小電位など心電図学は大きく発展したとはいえ、まだ心電図の表側さえも十分に読み切ることはできません。心臓の電気現象を反映する「心電図」には、まだまだ多くの隠された重要な情報が未発掘のまま残されています。これを一つ一つ掘り起こして解明していく地道な作業の向こう側に、木村先生の命題に対する答えがあるような気がします。私自身さらに精進、努力して研究を進めていく所存ですが、若い先生たちがより柔軟な発想とポジティブな姿勢を持って心電図の研究に積極的に参加し、新たな突破口を見出して“真の心電図の裏側”に迫っていくことを期待しています。

<肝臓内科部長就任>

「肝臓内科部長として考えること」

助教授 勝田 悅実

私が第一内科に入局してなんと30年が経ってしまいました。知らず知らずのうちに医局では年寄りの部類に入ってしまったようです。入局2年目に奥村先生から肝臓の分野で仕事をしないかと誘われて以来、肝疾患患者を中心に色々なデータを集めては学会発表してきました。入局当時はオーストラリア抗原（Au抗原、現在のHBsAg）や α フェトプロテインが検査項目として目新しい時代でした。また、肝臓癌の診断は肝シンチグラムと腹腔動脈造影位で、超音波診断などは画像として捕らえる以前のレベルで、現在の超音波図やX線CT、MRIなどの画像診断とは診断能力が比較にならないほど低いものでした。また治療にしても抗癌剤の動注療法くらいでした。診断機器や診断技術の発達、新薬や新しい治療法などが目まぐるしく出現し、今昔の感があります。近年、内科の分野も多岐にわたり専門化も一層先鋭的になりつつあります。専門医を意識する余りともすれば内科医であることの自覚が薄れがちになってしまいます。この小冊誌の「げんてん」とは少々意味が異なるかも知れませんが、「原点に戻れ」を反芻しなければならないと感じています。

この度荒牧先生がカリキュラム管理室長になられ教育システムの改革に専念するとのことで肝臓内科部長を辞されました。そのために私が肝臓内科部長を仰せつかった次第です。今までに責任ある立場をほとんど経験したことがないので、部長職を務められるかどうか大変不安です。幸い荒牧先生のご助言をいただける状況ですので、色々とご指導を仰ぎながら責務を果たしてゆきたいと思います。奥村先生の時代から肝硬変における門脈圧亢進症の血行動態や、薬物による門脈減圧療法などの研究が始まり20年間続いております。その間に末梢循環、全身血行動態、内臓循環などを初め、現在では肺循環と血液ガス交換について研究が行われております。「継続は力なり！」と申しますが、次に静脈系という扱いにくい分野も視野に入れながら活動してゆきたいと考えています。一般内科と循環器内科、肝臓内科が併存する大変ユニークな第一内科です。そのメリットを生かして、奥村先生から荒牧先生へと引き継がれたこの分野での業績を継承しつつ、さらに発展しなければなりません。また、診療の分野では新しい診断法や治療法を積極的に取り入れて、微力ではありますが第一内科の一翼を担っていかなければならぬと自覚しております。

<集中治療部長就任>

助教授 田中 啓治

千葉北総病院の集中治療室の立ち上げが予想以上に順調にいき、また古巣の付属病院集中治療室に戻ることになりましたのは、昨年の12月でした。ですから、もう一年近くを本院のICUの部長として勤務しております。

このICUは1973年に、げんてん会の原点であります故木村栄一教授のご努力で開設されまして、麻酔科の西邑信男教授、早川弘一前学長、大林完二部長（現第一内科客員教授）、高野照夫部長（現第一内科主任教授）と引き継がれてまいりました。私は1975年からICUで働き、2度の東根北村山公立病院の出張以外、医師としての生活のほとんどを千駄木のICUで過ごしました。

この度5年間留守にして、改めてこのICUの移り変わりを理解できたような気がします。EBMよりもメガスタディーの結果よりも、ICUで働いてきた何十人の諸先輩の経験や業績の継承が何よりも重要と知りました。下の写真は大林先生が大切にされていた、15年も前のミーティング風景です。大林先生を中心に、西邑教授、高野教授、私の歴代のICU部長のほか、清野助教授、維田先生（柳原記念病院胸部外科部長）、武井先生（聖マリ胸部外科講師）などの顔が見えます。スタッフの目標がはっきり一つであった頃のものです。

21世紀に向かった新たな目標をなにに置くかを一年考えてきましたが、“まず自らが動くこと”と言う結論に至りました。新しい技能や考えを持った医師が加わることによって、独創的な医療や研究が、一気に花開くのもICUの特徴ですので、集中治療医としての気概を持つ医師が育つことも私の望みです。

<第一内科助教授就任>

「心不全の病態と治療に関する研究 Y2K：下肢末梢循環から ongoing myocardial damage へ」

助教授 清野 精彦

入局後 2 年間は EPS を勉強しておりましたが、故木村教授に心カテと心不全の病態生理の研究をテーマにいただき、急性心筋梗塞におけるポンプ機能と末梢循環調節機序、血管拡張薬による減負荷療法の機序について論文をまとめました (Jpn Heart J 1983; 23: 905, 同 1984; 24: 515)。これらの研究成果をもとに CSMS へ留学、ΣCK 梗塞サイズと QRS score、心機能、運動耐容能に関する研究 (Am J Cardiol 1983; 52: 37, Am Heart J 1983; 105: 830, Circulation 1982; 66:251)、Fabry 病の末梢循環 (Am Heart J 1983; 105: 783) 等々について研究させて頂きました。帰局後研究の本分を originality と臨床貢献性と考え、心不全における vasomotion の異常 (Am Heart J 1993; 126: 887)、神経体液性因子の異常 (Jpn Circ J 1989; 53: 180, JACC 1991; 18: 459, New Engl J Med 1993; 328: 1198, Am J Cardiol 1995; 76: 718)、ペーシングにおける cardiodynamics と ANP/BNP (Am J Cardiol 1993; 72: 36, Lancet 1995; 345: 733)、inodilator (Cardiology 1995; 86: 34, Crit Care Med 1996; 24: 1490) などについて研究しております。応用として、PAS における endocrinological silence (JACC 1991; 18: 459)、慢性肝疾患における皮膚微小循環と神経体液性因子 (Microvasc Res 1993; 46: 206)、薬剤性心臓障害などを研究しております。さらに新しい心筋傷害マーカー Troponin T、H-FABP の臨床開発と、これらを用いた急性冠症候群における early risk stratification (Lancet 1993; 342: 1236, Jpn Circ J 1996; 60: 265, Circulation 2000; 102:I-498, 2422abstr)、慢性心不全における ongoing myocardial damage (OMD) に関する研究 (Am J Cardiol 1999; 84: 608, Circulation 1999; 100: I-649, 342abstr, 同 1998; 98: I-24, 117abstr) など新展開を模索しております。OMD の病態に関しては、臨床 (MIBI wash-out study)、実験 (ラット ADR 心筋症の実験再開) 両面から検討中です。OMD の抑止を心不全治療戦略の新基軸として構築したいと考えております。

筆頭英文原著論文は 30 編足らずであります、先日学生諸君から MVT 賞を受賞し、この度は助教授の任を拝命致しました。微力ではありますが、これを励みに研究、教育、診療に精進したいと存じます。

<第一内科講師就任>

「11年振りの大学復帰」

第一内科講師

千葉北総病院集中治療部部長代理 煙 典武

昭和53年に日本医科大学を卒業し、第一内科学教室に入局致しました。入局した動機となったのは、当時の主任教授・木村栄一先生の厳しさと優しさでした。他の医局にも厳しい先生は大勢おられましたが、私が惹かれたのは「終止一貫した、筋道の通った厳しさの中に感じる優しさ」でした。入局後は心臓カテーテル検査、運動負荷心電図と臨床薬理学を中心に虚血性心疾患の研究を続けさせて頂きました。平成元年4月から平成12年3月までは、国立横須賀病院循環器科医長・日本医科大学客員講師として勤務し、大学から離れた施設での診療と研究に携わってまいりましたが、第一内科医局からは国見聰宏君、松田裕之君、高野雅充君、三浦洋司君、豊田隆志君、淀川顯司君、稻見茂信君、鈴木雄一朗君といった中堅医師や研修医を派遣して頂きました。平成11年秋に高野照夫主任教授から国立横須賀病院の現況と今後の展望を尋ねられ、正直に返答させて頂けたことがきっかけになり、今日のポストが与えられることになりました。11年振りの大学復帰に驚き、大きな不安と戸惑いを感じました。それに日本医科大学講師として採用され、ましてや千葉北総病院集中治療部の部長代理を任されるという大任には恐れすら感じました。前任の田中啓治先生の名を汚さぬよう努力したいと思います。

なぜ復帰させて頂けたのだろうか？が私にとって当面のテーマでしたが、自分ではよくわかりません。確かに横須賀時代にそれなりの業績を重ねていったことも良かったと思いますし、派遣に来られた後輩の医局員にも、微力ではありますが指導と援助はしたとは思います。しかし、これは第一内科関連施設としては当然の事ですのであまり理由にはなりません。そこで私が勝手に出した現時点での結論は、「高野教授は私にもう一度チャンスを与えて下さったのだ、俺はもう一度試されている。」ということです。

負けず嫌いで、闘争心もあり、目立ちたがり屋の私のキャラクターを見越されたに違いない高野教授へのご恩返しのためにも、第一内科学教室に私が入局したときの第一内科の魅力でもあり、現在のスローガンでもある「終止一貫した、筋道の通った厳しさの中に感じる優しさ」をもって、診療に、教育に、そして研究に尽力したいと考えて止みません。しかし私にとって、「厳しくする」というのは比較的簡単ですが、「終止一貫」、「筋道の通った」と「優しさ」が容易ではありません。目標の4分の1しか持ち合わせておりませんが、今後は少しでもこのスローガンに近づけるように精進したいと思います。また、11年振りに大学に復帰した私が、第一内科ならびに日本医科大学に評価されることで、現在そしてこれから関連病院に勤務される先生方に、いくらかでも励みになれば思っております。

最後になりましたが、高野教授をはじめ医局の先生方の暖かい歓迎を受け復帰できましたことを心から御礼申し上げます。

<第一内科講師就任>

「これまでの研究と今後の展望」

講師 草間 芳樹

平成12年4月より講師に昇任させていただきました。私は、循環器疾患、特に虚血性心疾患を対象として診療、研究を行っています。主要な研究領域について、今後の展望も含めて紹介致します。

1) 心筋虚血の診断

画像診断の進歩に伴い、心筋虚血に伴い出現する壁運動異常、心筋代謝の変化を心エコーや RI を用い検出する非侵襲的画像診断法が開発されていますが、当科では数年前に本間博君と共同でドブタミン負荷心エコーを導入し、主に虚血性心疾患を対象として検討を行いました。ドブタミン負荷心エコーが心筋虚血の診断のみでなく、心筋梗塞後における心筋 viability の診断、PTCA による冠血行再建後の心筋梗塞領域での壁運動改善予測、さらに非心臓手術の術前評価などにも有用な検査法であることが示され、虚血性心疾患の治療方針の決定に重要な情報を提供する検査法になっています。また、放射線科との共同研究にて、ドブタミン負荷 RI (^{99m}Tc-MIBI) を用いた左心室局所壁運動の評価による心筋虚血、心筋 viability 診断が可能になりました。

今後は、負荷コントラスト心エコーによる心筋血流と壁運動の同時評価法、心筋虚血に伴う糖代謝変化を簡便な RI 化合物を用いて検出する方法、また ATP などの高エネルギーリン酸化合物代謝の変化を MRI により検出する方法が登場すると思われます。

2) 心筋虚血・再灌流傷害の機序と心筋保護

心筋虚血による重症不整脈、心機能低下、心筋壊死、再灌流時に出現する再灌流不整脈、心機能低下(気絶心筋)などの虚血・再灌流傷害を軽減する心筋保護法は循環器領域における重要な研究課題です。この課題について、St. Thomas 病院心臓血管研究所へ留学の機会をいただき、活性酸素種による心筋傷害、傷害機序に関する研究を行いました。

最近は、強力な心筋保護効果を有す短時間虚血の反復による虚血耐性獲得 (ischemic preconditioning) に注目して、adenosine、ATP 感受性 K チャネル開口薬による虚血・再灌流傷害の軽減効果を検討しています。ATP 感受性 K チャネルが細胞膜のみならずミトコンドリア膜にも存在することが明らかになり、今後はこのチャネルの心筋虚血・再灌流傷害、またミトコンドリア機能への関与が重要な検討課題と考えます。さらに、安武講師を中心として、Na/H 交換系の心筋傷害への関与を検討していますが、Na/H 交換系阻害薬による心筋保護効果について最近臨床試験が行われ、これも発展性のある研究課題です。

<第一内科講師就任>

「私のこれまでの業績とこれからの抱負」

講師 小林 義典

私は1981年に第一内科に入局し、これまで約20年間主に臨床心臓電気生理学の分野で研究を続けてまいりました。今回、第一内科講師に任命されて大変光栄に思うと同時に、これから益々頑張らなければという重責を感じております。これからも、先輩諸先生方のご指導、ご鞭撻を宜しくお願ひいたします。

さて、過去を振り返りますと入局後最初の10年間は電気生理学の黎明期でありまして、新しい知識の吸収に追われていたことと、また集中治療室に約2年間所属し、心筋梗塞急性期の不整脈の特徴あるいは治療法に関する仕事をさせていただいたことが思い出されます。その後1989年から2年半、米国Los Angeles市、Cedars-Sinai Medical Centerに留学し、基礎心臓電気生理学の分野でそれなりの業績をあげることができました。また、その頃ちょうど高周波カテーテル・アブレーションが軌道に乗り始めた頃で臨床部門のDr. Gangにお願いして何例かセッションに参加させてもらいました。この経験を元に日本に帰ってから井野先生たちとアブレーションを立ち上げ、現在に至った訳ですが、その間若いやる気のある後輩たちが次々と不整脈のグループの仲間となり、献身的に仕事をこなしてくれました。その甲斐あってここ数年は下記の如く年間2-3篇の英文原著論文を輩出することができるようになりました。

しかし、最近NASPEやAHAなどに米国の専門学会に参加して思うことですが、本邦の臨床心臓電気生理学は残念ながら、欧米に比べかなり遅れています。特に新しい発想や診断、治療法をいち早く導入し、仕事を作っていく気概にかけています。今後はこの差を少しでも埋められるように頑張っていきたいと思います。宜しくお願ひいたします。

[Publications]

- 1) Kobayashi Y, et al. Cellular mechanisms of differential action potential duration restitution in canine ventricular muscle cells during single versus double premature stimuli. *Circulation* 1992;86:955-967.
- 2) Kobayashi Y, et al. Paroxysmal atrial fibrillation and flutter associated with acute myocardial infarction: Hemodynamic evaluation in relation to the development of arrhythmias and prognosis. *Jpn Circ J* 1992;56:1-11.
- 3) Kobayashi Y, et al. Increased temporo-spatial dispersion of repolarization during double premature stimulation in the intact ventricle. *PACE* 1992;15(Part II): 2194-2199.
- 4) Karagueuzian HS, Kahn SS, Hong K, Kobayashi Y, et al. Action potential alternans and irregular dynamics in quinidine-intoxicated ventricular muscle cells. Implications for ventricular proarrhythmias. *Circulation* 1993;87:1661-1672.
- 5) Peters W, Solingen S, Kobayashi Y, et al. Transmyocardial impedance during single and multiple internal ventricular defibrillation shocks. *Am J Physiol* 1994;267:H406-410.

- 6) Kobayashi Y, et al. Clinical and electrophysiologic effects of dofetilide in patients with supraventricular tachyarrhythmias. J Cardiovasc Pharmacol 1997;30:367-373.
- 7) Kobayashi Y, et al. Curative percutaneous catheter ablation for various supraventricular and ventricular tachyarrhythmias: Results in 187 consecutive patients. J Nippon Med Sch 1997; 64:546-565.
- 8) Kobayashi Y, et al. Detection of a local slow potential preceding the surface QRS complex during non-preexcited impulse propagation: A phenomenon reflecting anterograde concealed conduction through the accessory pathway?. Jpn Circ J 1998; 62: 760-764.
- 9) Kobayashi Y, et al. Uncommon atrial flutter originating in the left atrioventricular groove - Emergence after successful catheter ablation for a left concealed accessory pathway- Jpn Circ J 1999;63:416-420.
- 10) Miyauchi Y, Kobayashi Y,et al. Local slow potential preceding the surface QRS complex detected at the subvalvular mitral annulus in patients with a left-sided concealed accessory pathway. Eur Heart J 1999;20:1818-1825.
- 11) Kawaguchi N, Kobayashi Y,et al. Incidence and clinical significance of junctional rhythm remaining after termination of radiofrequency current delivery in patients with atrioventricular nodal reentrant tachycardia. Jpn Circ J 1999;63:865-872.
- 12) Miyauchi Y, Kobayashi Y,et al. Identification of the slow conduction zone in idiopathic left ventricular tachycardia. PACE 2000;23(Pt,I):481-487.
- 13) Hayashi M, Kobayashi Y, et al. Analysis of posterior mitral annular activation during entrainment and catheter ablation of mitral isthmus ventricular tachycardia using a coronary sinus catheter. J Intervent Cardiac Electrophysiol 2000;4:427-434.
- 14) Shimizu S, Kobayashi Y, et al. Temporal and spatial dispersion of repolarization during premature impulse propagation in human intact ventricular muscle. Europace 2000;2:201-206.
- 15) Hayashi M, Kobayashi Y, et al. A randomized comparison of straight linear approach with electrogram mapping focal approach in selective slow pathway ablation. PACE 2001(in press).

<第一内科講師就任>

安武 正弘

私が第一内科に入局したのは 16 年前である。1984 年はフランスワイン不作の年であったが、この年の第一内科入局者は 18 人と、数だけで判断するとおそらく医局始まって以来の豊作であった（？）。しかし、16 年経ってみると、現役医局員のリストに残っているのは約 3 分の 1 となってしまった。やはりフランスワイン同様、長期熟成には向きな“早飲みタイプ”的学年だったのだろうか？・・・

20 世紀を振り返り、個人的にお世話になった先輩を思い出してみる。新さん（BST 時代から第一内科の理想の医師像について教わる）、草間さん（BST オーベン、最近では動物実験の師匠）、宗像一雄さん（当時の医局長：話を聞いているうちになんとなく入局？）、飯田（川口）信子さん（研修医時代オーベン：当時理想の女性像だったが厳しくもあった）、病棟では福田純さん（斜に構えた温度版カンファのコメントが印象的）、遠藤孝雄さん（立派な科学者だった）、佐々木熙之さん（心エコーの師匠）、関山さん（とにかく暖かい人だった）、井野さん（コンピュータ仲間）、寺田さん（駄洒落がすばらしかった）、富田さん（はっきり物言わぬ所に奥深さを感じた）、小林さん（飲めば最高）などの病棟長の諸先輩方、派遣先では大洗海岸病院の渡邊達郎先生、博慈会記念病院時代の新城之介先生、亡くなられた 2 内の伊興田先生、仕事では畠さん（心カテの師匠）、高山さん（カテで困った時の相談役）、齋藤勉さん（ホルター、トレッドミルの師匠）、齋藤寛和さん（不整脈カンファで絞られる）、子島さん（軟庭部の先輩）、留学中には雪吹さん（日本食の恩）など他にも多くの先輩方に色々なことを教わった。また、方々で頑張っている同級生、後輩諸氏からも教わること、啓発されることなど沢山あった。この機会に心より感謝申し上げます。

業績：特にナシ。（強いていえば、心カテ台帳を電子化したこと。）

抱負：Great Vintage の後輩諸君の熟成に役立つこと。

<第一内科講師就任>

「Langendorff とカテーテル」

雪吹 周生

平成10年7月に多摩永山に赴任、田中邦夫先生の後任として心カテグループの取りまとめ役を仰せつかり、平成13年4月より講師を拝命いたしました。まだまだ若輩者ゆえ第一内科同窓の諸先生方よりご鞭撻をいただきかねばなりません。今回は「げんてん」の場を借りまして、小生のこれまでの研究内容、そして多摩永山の現在と将来の診療・研究につきご紹介します。

1) 心筋の虚血・再灌流障害に関する実験的研究

急性心筋梗塞の再灌流療法はわが国においても1980年代から広く行われるようになりました。小生も80年代後半の数年間を附属の集中治療室に在籍していた関係もあり、血栓溶解療法や冠動脈インターベンションの黎明期に携わったと自負しております。冠動脈の再灌流に伴う更なる心筋障害（梗塞域拡大、収縮障害、不整脈など）、すなわち再灌流障害については、すでにこれ以前から動物実験では報告されていました。ヒトにおいても、いわば両刃の剣として再灌流障害が生ずるであろうことは、当時室長だった高野照夫先生が力説しておられたことです。この影響もあり、小生は再灌流障害に関する研究を始めるに至りました。その後、幸いに平成2年より約2年半ロンドンのセント・トマス病院心臓血管研究所に留学する機会をいただき、草間芳樹先生の後任として研究に専念することができました。小生は主にラットの Langendorff 摘出灌流心を用い、Na/H 交換系の再灌流性不整脈への関与を示す一連の実験結果を得ました。Na/H 交換系の関与といつても、当時はまだ細胞内のイオン濃度をリアルタイムで測定することはできず、隔靴搔痒の思いでした。その後に同研究所に留学した安武・横山・星野君達が直接細胞内水素イオン濃度を測定しているのをみると感慨ひとしおです。ロンドン留学の際は草間先生に公私共にお世話になり、いつまでも感謝の念は消えません。

2) 心臓カテーテル検査と冠動脈インターベンション

入局当初より心カテに従事し、尊敬すべき先輩、信頼をおける後輩を数多く知りました。平成8年より第2病院勤務となり、それまで心カテの行われていなかった施設でありながら、多くの方々に助けていただき曲がりなりにも心カテと冠動脈インターベンションを立ち上げることができました。第2病院内科では宗像一雄先生が部長になられてからますます心カテが充実しつつあるようで、嬉しく思います。一方、多摩永山の心カテはすでに診療の一環として十分確立されたもので、小生はここに移ってからは研究の側面を充実すべく努力して参りました。多摩永山では当科専用のアンギオ室がない等の理由で、年間の心カテないしインターベンション治療の数は限られています。従って一例一例から貴重なデータを得る様、内容の濃い検査・治療を目指しています。これは一人一人の患者さんの特質を把握し、そしてそれを尊重す

る前部長、長澤先生の考えを多分に反映したものかもしれません。

現在、進行中の研究は以下の通りです。

- ① 冠動脈攣縮への細胞内情報伝達系 Rho/Rho-kinase の関与
- ② 血管内超音波を用いた冠動脈ステント再狭窄の機序解明
- ③ 冠疾患における冠動脈ならびに末梢動脈の血管内皮機能

幸いにも現在多摩永山では浅井・大塚・吉田・石井・徳山君という優秀な医局員が心カテに従事しており、上記の研究を一丸となって行っております。また診療という面に限つて申し上げれば、当院は集中治療室（CCU）がなく、急性心筋梗塞などの循環器救急に対する対応がまだ十分とは言えません。救命センターとの協力体制の充実が今後の課題です。

多摩永山病院内科は平成13年度より“循環器内科”も併せて標榜することになり、さらに新たに岸田先生を迎え、上記課題をはじめ広範な領域の研究活動を活性化すべく体制を整えつつあります。今後とも温かいご支援をお願い申し上げます。

〈第一内科講師就任〉

虚往実帰

本間 博

日本医科大学付属病院の生理機能センターへ出向してから約7年経ちました。7年前のことを正直に申しますと、1000床弱の大学病院の生理機能センターというにはあまりにも内容、質ともに貧弱であり大変心細く感じたのを覚えております。歴代の第一内科主任教授、生理機能センター室長、および技師長のお力を借りまた院内管理職の方々の御協力も得た結果、出向した当時と比べて現在扱っている検査の種類、件数は3倍～5倍に増えております。また各科との連携により複数の医師からの協力も得られるようになり成長を続けています。狭い職場ですが全科の診療の基礎であるという自負を持つように職員を教育、指導し、病院管理関係の方々にも訴えてきました。今までの7年間に実感したことを前半と後半に分けて順に並べてみます。

前半の4年間

- ・医局から一步でれば実力の世界。
- ・一人では何もできないし、言うだけでは人は動かない。
- ・無駄とわかっていても問題を提起し続けないと忘れられてしまう。
- ・システムも大事であるが人材の方がもっと大事。
- ・新しいことを成し遂げるには普段の10倍の努力と他人より先に自分で一步踏み出し行動することが必要。

後半の3年間

- ・付属病院内の職員はまだまだ効率よく配置されていない。
- ・常に機を伺っていないと棚から餅は落ちてこない。
- ・一緒に走っている者にのみバトンを渡すことができる。
- ・仕事、研究に対する価値観が等しくないとうまくいかない。
- ・やはり臨床と論文を書くことの両立は非常に困難。

繰り返しますが、現在の生理機能センターは第一内科医局員の方々のバックアップなくしてはありえなかったものであり、循環器系の負荷試験とリハビリテーションは医局の福間長知君をリーダーとして馬渕浩輔君、及川恵子君らが中心となり若い医局員達と一生懸命やってくれています。また、心エコーの機器購入や人材においても第一内科からの恩恵を多大に受けており、2年前から大野忠明君を中心として数名の医

局員が心エコーに参加してくれて、H.12年は American Society of Echocardiography(Chicago), H.13年には American Heart Association (Anaheim) の各学会で発表できるまでに成長しています。 日常の心エコーは経胸壁心エコー、経食道心エコー、薬剤負荷（主にドブタミン）心エコーを行っていますが、私自身の臨床研究は、①ドプラ法による左室拡張能の評価（経胸壁および経食道心エコー）②ドブタミン負荷心エコー法による心筋虚血の評価、血行再建後の残存虚血の評価、心筋 viability の評価、高齢者の術前評価 ③integrated backscatter 法による心筋 viability 評価および慢性虚血性心疾患例の心機能回復予測 ④経胸壁ドプラによる内胸動脈、胃大網動脈グラフト血流評価 ⑤経静脈性心筋コントラストエコーによる心筋虚血、梗塞部位の評価 ⑥経胸壁ドプラによる冠動脈血流評価をつけてがけてきました。機会があれば基礎実験をしたいテーマもありますが、金、人、時間の制約が大きく実現できない状況です。 今後も心筋の組織性状および血管の機能的予備能を超音波によりどこまで評価できるようになるかを追求するとともに、高野照夫教授から教育用のいろいろな画像のファイリングシステムを研究する機会を頂きましたので続けていきたいと考えています。

最近「虚往実帰」という言葉に偶然出会い共感を覚えました。 どのような状況からスタートしても実のある充実した状態でゴールを決める、常にこの姿勢を持って医局生活を送りたいと思います。

<第一内科講師就任>

自分にできること

佐藤 直樹

1987年に入局して、はやくも14年目になる。研修2年目より、心臓カテーテル班に属し、冠動脈造影検査をやる傍ら、雑種成犬を用いた急性虚血の実験も、今は亡き遠藤助教授の指導の元、始めた。臨床と基礎と両面から勉強させていただいた。5年目の1992年、当時、米国ハーバード大学にいたStephen F. Vatner教授の元へ、心不全とβアドレナリン受容体刺激伝達系を勉強するため、渡米した。留学中は、ほとんど休みはなく、日夜、実験に明け暮れ、2年目には米国心臓協会の第67回の学術会議において、Melvin L. Marcus Young Investigator Award のFinalistと同協会のマサチューセッツ州支部よりThe Samuel A. Levine Awardを頂く、幸運にも恵まれた。留学中の最大の収穫は、本来こうなるべき結果が、そのようにならなかつたとき、“何が原因なのか”、“何が今までのものと異なるのか”、真実であれば、すべて同様の結果ができるはずであるのに、“それがなぜそうならないのか”を徹底して解明する探究心をもつこと、その大きさを教わったことだと思う。4年間におよぶ留学から復帰して、まだまだ、心不全のモデルを用いて探求したいことがあり、なんとか留学中でやつたことを、そのまま継続できないものかと奔走した。多くの壁があり、何度もくじけそうになつたが、当時、第三内科の故若林教授のバックアップもあり、2年ほどの歳月を経てなんとか始めることができた。このときに、若造の自分が何かをやろうとしたとき、それは、それは、多くの壁があり、組織の中でことを起こすことの厳しさを実感した。留学から帰ってきて5年目を迎えた今、まだはっきりとした形を残していない焦りがある。臨床でもやりたいことが多いある。第一内科の中で、心不全を中心にやっていく覚悟をしたもの、思うように軌道にのせられない焦りがある。新しいことをやろうとすると、そこには多くの壁があり、それを打ち碎くだけの精神力、そしてやりたいこと、知りたいことをやりとげようとする行動力、これらをどれだけ持続できるか、それが最も大切なことであると思うし、それがなくなつたとき、自分の第一内科、大学での存在意義はなくなると考える。大学とは、教育、研究、臨床の3本柱があり、どれもそつなくこなす必要がある。それにも、精神力・行動力が不可欠である。なにを偉そうにいきがつて…と、思われるかもしれない。だが、いましか出来ないことを我武者羅にやるべき時期があつていいと思うし、そうすべきと思っている。あえてこのようなことをこのような場で公言したのは、自分を追い詰めることと、優秀な医局員のいる第一内科で同感してくれる有志がひとりでも集まつていっしょに汗を流してくれれば、との思いがあるからである。独自の観点から、探求をし、自分のできることで結果をだしていきたいと思う。

今後ともご教示、ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。最後に、わたしのようなものに、このような立場を与えてくださった高野教授をはじめ、医局諸先生方に厚く御礼申し上げます。

(主な業績)

Sato N, Endo T, Kiuchi K, Hayakawa H: Thromboxanesynthetase inhibitor reduces reperfusion arrhythmias but fails to limit size of myocardial infarction. J Cardiovasc Pharmacol 21:353-361. 1993.

Sato N, Shen Y-T, Kiuchi K, Shannon RP, and Vatner SF: Increases in arterial O₂ content induced by splenic contraction reduced the requirement for coronary blood flow the response to sympathomimetic amines in conscious dogs. Am J Physiol 268: H491-H503, 1995.

Sato N., Kiuchi K, Shen Y-T, Vatner SF, and Vatner DE : Adrenergic responsiveness is reduced, while baseline cardiac function is preserved in old adult conscious monkeys. Am J Physiol 269: H1664-H1671, 1995.

Sato N., Uechi M, Asai K, Patrick T, Kudej RK, Vatner SF : Effects of a novel inotropic agent, BAY y 5959, in conscious dogs. - comparison with dobutamine and milrinone -. Am J Physiol. 272:H753-H759, 1997.

Sato N., Vatner SF, Shen Y-T, Kudej RK, Ghaleh-Marzban B., Uechi M, Asai K, Mirsky I, Patrick TA, Shannon RP, and Vatner DE: Effects of cardiac denervation on development of heart failure and catecholamine desensitization. Circulation 95:2130-2140, 1997.

Sato N, Asai K, Okumura S., Takagi G., Shannon RP., Fujita-Yamaguchi Y., Ishikawa Y., Vatner SF, Vatner DE. Mechanisms of desensitization to a phosphodiesterase inhibitor (Milrinone) in conscious dogs with heart failure. Am J Physiol 276:H1699-H1705, 1999.

<第一内科客員教授就任>

「客員教授を拝名して」

客員教授 大林 完二

先般、高野教授から一方ならぬご推薦を頂いて、客員教授を拝命し身の引き締まるほどの責任の重さを感じています。と言いますのも、大学を離れて20年余り、この間、専ら一介の開業医でいた私に、年齢的、体力的な問題もありますが、これから一体何が出来るのか、このブランクを埋めるほどの事が出来るのか、不安が一杯だからです。

最近、何かにつけ、病診連携や在宅医療の事が話題になり、学会でも取り上げられる機会が増えて来た様に感じます。昨年の日本心臓病学会でも「病診連携のあり方」に関するシンポジウムが開かれ、私が座長を仰せつかりました。一部の方から高騰する医療費の抑制効果だけを強調されて病診連携が取り上げられるのは心外で、その側面は多分にあるとしても、やがては我が国も欧米諸国の様に、患者の利益を最優先に考えての、病院と診療所の機能分担と、両者の凄み分けが進んで、今以上に病診連携が重視される時代が来るものと思われます。その為には病診間での患者受け渡し等に関する基本的なルール作りや、診療ガイドラインの作成、病診間における診療内容の均質化など解決すべき問題が山積みしています。また、学生時代から最先端医療だけでなく、大学の中にいてはなかなか解りにくい地域医療や開業医の実態を知ってもらい、将来、よりよい病診連携の構築を担ってもらうという事も大切だと考えます。

どれ程の事が出来るのか分かりませんが、この様な事に今までの私の開業医生活や日本医師会で医師の生涯教育に携わってきた経験が少しでも生かせたらと考えておりますが、是非とも医局の先輩や現役の先生方のご指導の程をよろしくお願ひ致します。

<第一内科兼任講師就任>

「兼任講師に任せられて一業績と抱負一」

兼任講師 富田 喜文

このたび、兼任講師を仰せつかり、教室の仕事をお手伝いできるという喜びとともに、その責任の重さを感じております。循環器学の研究には、心臓の電気的現象や心機能・循環動態を生理学的手法により解析する流れと、現象の起源を生化学的手法や病理学、遺伝子生物学などにより解明する流れの大きな2つの流れがあります。現在では2つの流れは混ざり合って大きな奔流となっていることはご存じの通りですが、自分が入局した当時は循環器研究の主流は圧倒的に前者でありました。

1985年前後に機会をいただいて米国 NIH の心臓病理学部門に留学していた当時、NIH の多くのラボでは遺伝子解析を含む分子生物学的研究が真っ盛りであります。やや遅れて、日本においても循環器分野での分子生物学的研究に急速な進展が認められました。わが大学においては、私立単科大学としてのいろいろな制約から、特に臨床系教室では分子生物学的研究はかなり遅れをとっています。しかし、21世紀のポストゲノム時代が臨床医学にも押し寄せようとする現状に目をつむることは出来なくなっています。幸いにも、当教室においては、諸兄の努力によって、この3-4年研究体制が急速に整備・充実されつつあります。

私は帰国後、集中治療室や病棟、糖尿病外来において臨床医学を研鑽しつつ、特に FGFなどの細胞増殖因子に興味を持って、それらの病理生態における意義について検討を行ってきました。さらに中国からの留学生である何 媛先生とともに、アンギオテンシン変換酵素や一酸化窒素合成酵素の遺伝子多型の研究に取り組んで参りました。今後、ささやかながら関連した研究のお手伝いが出来ればと考えております。

<主な原著>

富田喜文：KK マウスにおける自然発症心筋症の発症機序解明とその進展予防に関する病理学的研究。日医大誌。51:601, 1984

Tomita Y and Ferrans VJ: Morphological study of aarcoplasmic reticulum in the atrioventricular node and bundle cells in guine pig hearts. Am J. Andtumy 180:100,1987.

Tomita Y , Kusama Y et al.: Increased accumulation of acidic fibroblast growth factor in left ventricular myocytes of patients with idiopathic cardiomyopathy. Am heart J 134:779,1997

何 媛、富田喜文ら：梗塞後左室リモデリングにおけるアンギオテンシン変換酵素遺伝子・多型性の役割。日医大誌。67:96, 2000.

<第一内科兼任講師就任>

兼任講師 木内 要

抱負

若い医局員の目標となるよう頑張りたいと思います。

業績

Purified manuscript (欧米雑誌)

- 1) Kiuchi K, Vatner DE, Uemura N, Bigaud M, Hasebe N, Hempel DM, Graham RM, Vatner SF: Mechanisms of α_1 -adrenergic vascular desensitization in conscious dogs. Circ Res 1992;71:1185-1199
- 2) Kiuchi K, Shannon RP, Komamura K, Cohen DJ, Bianchi C, Homcy CJ, Vatner SF, Vatner DE: Myocardial α -adrenergic receptor function during the development of pacing-induced heart failure. J Clin Invest 1993;91:907-914
- 3) Kiuchi K, Sato N, Shannon RP, Vatner DE, Morgan K, Vatner SF: Depressed α -adrenergic receptor- and endothelium-mediated vasodilation in conscious dogs with heart failure. Circ Res 1993;73:1013-1023
- 4) Kiuchi K, Shannon RP, Sato N, Bigaud M, Lajoie C, Morgan KG, Vatner SF: Factors involved in delaying the rise in peripheral resistance in developing heart failure. Am J Physiol 1994;267:H211-H216
- 5) Kiuchi K, Shen Y-T, Vatner SF, Vatner DE: Mechanisms mediating responsiveness to α -adrenergic stimulation after coronary reperfusion in conscious dogs. Am J Physiol 1994;267:H1578-H1588
- 6) Kiuchi K, Nejima J, Takano T, Ohta M, Hashimoto H; Increased serum levels of advanced glycation end products: a marker of coronary artery disease activity in diabetic patients. Heart 2000, in press Purified manuscript ()
- 7) Kiuchi K, Endo T, Nejima J, Okamatsu K, Takayama M, Takano T, Hayakawa H: Purulent pericarditis with tamponade caused by Salmonella enteritidis. Jpn Circ J 1998;62:139-141
- 8) Kiuchi K, Nejima J, Kikuchi A, Takayama M, Takano T, Hayakawa H: Left coronary artery-left ventricular fistula with acute myocardial infarction, representing the coronary steal phenomenon. J Cardiol 1999;34:279-284

II. 各付属病院医局長の抱負

— 第二病院 —

内科医局長 寺田 秀人

私が当内科に参りましたのは平成9年の正月からで、前部長の原先生が在職中でいらっしゃいました。平成8年の暮れ初めて原先生のお部屋をお尋ねした時、直ぐ前医局長の増田先生を呼ばれ、私の外勤日に当たらぬように外来担当日などてきぱきと決めていただき、また、歓迎会でも身に余るようなお言葉で迎えて頂き、本当に有り難い想いでした。お陰様で第二病院での勤務にも直ぐ慣れることができました。

さて、私事はこれくらいにして第二病院内科の特徴について述べさせていただきます。なんといっても昨年開設20周年を迎えた血液浄化療法室の存在でしょう。付属4病院のうち唯一内科が主宰する血液浄化療法室です。室長の村澤助教授を中心に人工透析は勿論、血漿交換、ビリルビン吸着及び免疫複合体除去なども積極的に行ってています。冠動脈造影についても原前部長をはじめ、現在多摩永山の医局長である雪吹君達の努力で基礎態勢が出来上がり、昨年宗像新部長を迎えて花開いたというところです。ドクターの常駐こそありませんが集中治療室も以前からあり急性心筋梗塞の急性期治療も積極的に行われています。また、消化管内視鏡、気管支鏡も一部他科の協力を得て行われています。さらに、本年度より第二内科の北村助教授、第一内科からは斎藤講師を迎え、神経疾患、不整脈についても充分な体制が整いました。

内科は一科しかありませんので肺癌、悪性リンパ腫などの血液疾患などに対しても皆で協力して治療にあたっています。また、肝疾患、食道静脈瘤については内科で硬化療法あるいは結紉術を施行、肝臓カテーテルも行っていますし、肝癌のTAEにも一部参加しています。超音波検査についても、心エコーは週に30~40例、腹部エコーは20~30例ほど検査技師の協力のもとに施行しています。トレッドミル、負荷心筋も施行、参画しているのはいうまでもありません。

宗像部長は健康管理科の部長も兼任していて、そのもとに本年度から大坂君、大野則君が働いています。

新年になると老人病研究所の南教授（元第三内科、内分泌学）に外来診療に参加していただくことになっています。しかしながら、現在のところ毎日5外来、80~90病床および上に述べた内容を部長以下19名という少数で取り組んでおり、一人で何役もこなす有能な医局員がいます。それに刺激されながら若い医局員も成長しつつあります。次は、千駄木に負けぬよう研究業績を作っていくたいと思っています。

— 多摩永山病院内科 —

内科医局長 霧吹 周生

多摩永山病院は人口の増加する西東京地区の中核病院として1977年（昭和52年）に開院しました。現在の内科部長は長澤教授で、昭和63年に初代部長の八幡先生から引き継ぎ、16名+研修医1名の医局員の指導にあたっています。多摩市は都心から約20Kmの典型的なベッドタウンですが、大学病院レベルの医療施設が少なく、当科としても広範な疾患への対応を余儀なくされています。このことは診療科が細分化しつつある昨今の情勢下では苦労の多いことですが、幅広く症例を体験できるという点で卒後研修には有利と考えられます。また当院は救命救急センターを有するため、病院全体として救急患者全てに積極的に対応するポリシーで、当直業務もなかなかハードです。

外来は毎日4外来で、循環器疾患はもちろん、糖尿病・高血圧その他広く内科系一般を診なければならず、かつ地域の医療機関からの紹介も多いため、きわめて多忙です。予約外来、オーダーエントリーシステムを導入しもっと余裕のある外来に…というのが今後の課題でしょう。また本来は循環器系の専門外来を置きたいところですが、マンパワーが足りず実現していません。

病棟入院患者は82床の内科定床を常にオーバーしています。一昨年春の病院増築に伴い内科病棟も2つに増えましたが、残念ながらこの2つの病棟が互いに離れているため、本年より医局員をいずれかの病棟に専属配置しています。現在、山中・田寺両病棟長をはじめ、皆で頑張っています。

特殊検査・治療としては電気生理学的検査（EPS）および心臓カテーテル検査を行っています。EPSは井野講師が立ち上げ、最近ではカテーテルアブレーション・ベースメーカ植え込みとあわせ多摩地区の指導的施設に成長しました。心カテーテル件数も1995年に新世代のシネアンギオ装置が導入されたのを契機にPTCA・ステント等のインターベンション治療と共に増加中です。多摩地区の虚血性心疾患の需要を考えるともっと件数を増やしたいところですが、アンギオ室が他科と共に用いており、循環器を標榜せず一般内科の合間にインターベンションに携わる我々としては、これ以上増やせないのが実情です。また心臓外科がないため施行しうる手技に制限がある等の問題点を抱えています。

研究活動としては病院の性格上臨床研究が中心です。EPS、冠循環の病態生理、さらにはレニン・アンギオテンシン系の循環器疾患への関与を中心に活発な研究を行っています。また当院では以前よりTDMなど臨床薬理学的アプローチが盛んで、現在も薬剤科と協力していくつかの臨床試験が進行中です。

最後に臨床教育についてですが、やはり症例が多岐にわたって豊富なせいか、またスタッフの熱意あふれる（！）指導のためか、BSLからの評判は上々です。規定のBSL期間終了の後も、かなりの人数が休暇を利用して当科に勉強に来ます。また当科は東京薬科大学や明治薬科大学の大学院生を積極的に受け入れて、共同研究を行っています。

以上、多摩永山での仕事はとても大変というイメージを持たれたかもしれません。しかしこれは決してネガティブな面ばかりではなく、当院にはまだまだ未来に向けて発展途上の要素があると理解していただければ幸いです。フロンティア精神に富んだ若い世代がこれに加わってくれることを切に望んでいます。

— 千葉北総病院 —

集中治療部医局長 今泉 孝敬

日本医科大学千葉北総病院集中治療部は、北総病院の開院後7年目を迎えようとしています。現在、田中啓治部長を引き継いだ畠典武部長以下、今泉、小原、大場、品田の医員のほか主として第一内科からローテンションされてくる研修医2名により運営されています。研修医はローテーション3ヶ月の間に気管内挿管、あらゆる部位からの穿刺手技、bed sideでのSwan-Ganzカテーテル手技、ペースメーカー挿入手技、PTCAの助手がほぼ完璧にこなせるようになっています。また、現在、千葉北総病院の内科系では唯一当施設が、BSLの卒前教育を積極的に行ってています。実習に参加したBSLには集中治療PTCAなどのカテーテル治療の実習のみならず、部長、医局長以下スタッフが循環器救急疾患について毎日講義を行うなど、濃密な教育を心がけています。本年度は、5グループ受け入れの予定です。集中治療室の循環器の定床は10床ですが、定床オーバーになることもしばしばで、スタッフの人数、重症患者が多いことを考えると、第一内科関連施設のなかでも最も忙しい部署のひとつではないかと思われます。扱う患者は、急性心筋梗塞、不安定狭心症、急性心不全、急性大動脈解離、重症不整脈など循環器疾患全般多岐にわたりますが、急性大動脈解離、透析患者に合併した冠動脈疾患が多いように思われます。また当施設は日本医大成田空港クリニックより搬送されてきた重症循環器疾患患者を無条件で全例受け入れ、飛行機内での長期の座位による下肢静脈うっ滞が原因と思われる肺血栓梗塞症（Coach Class Syndrome）患者、飛行機内での心筋梗塞を発症した外国人患者など他ではなかなか見られない空港関係の特殊な患者を扱っています。また、海外の病院からの日本人患者受け入れ、海外の病院への外国人患者搬送も積極的に行ってています。

治療に関しては、内科の協力もあり急性心筋梗塞患者に対する緊急心臓カテーテル検査、冠動脈形成術に対応できる体制が完璧に整っています。当院の特徴を生かした、急性期の血管内超音波検査、血管内視鏡検査の他に、最近では冠動脈血栓吸引疾法（Rescue）も積極的に行っています。また、胸部外科の協力で緊急CABG、大動脈置換術も多数行っています。肺血栓梗塞症のインターベンションも東京都、千葉県を含む関東近県では抜きん出でおり、肺血栓のカテーテル下吸引療法、パルス・スプレーによる肺血栓溶解療法、バルーンによる肺動脈形成術（PTPA）、下大動脈への一時的なならびに永久フィルター留置術などをルーチンで行っています。

日常の診療に多忙な毎日ですが、積極的に症例報告、学術発表を行うように心がけています。当施設独自の研究もいくつか始めており、将来的には原著論文をコンスタントに出せるような体制を作りあげたいと考えています。本年度は心臓電気生理学検査のための最新解析システムが導入され、来年度には北総病院研究棟の開設が予定されているなど今後新しい研究環境がどんどん揃ってくることも期待されています。

北総病院は、都心から遠い田舎のイメージがありますが、平成12年7月には新駅印旛日本医大前が開設、北総公団線が病院すぐ近くまで延長され、都心からのアクセスは大幅に改善されました。またご存知の通り当院は成田空港から一番近い、世界に最も近い大学病院です。本年6月より60床フルオープンとなり周辺の開発とともに入院患者もどんどんと増えています。

当施設は歴史ある第一内科関連施設のなかでも最も新しく且つ将来性のある関連施設の一つであると自負しています。やる気のある若い医局員が当施設への勤務を希望し一緒に働くことを楽しみにしています。第一内科、同窓会諸先生方のご理解ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

第 28 回日本集中治療医学会総会

日時：平成 13 年 3 月 8 日(木)～10 日(土)

会場：東京ドームホテル、
文京スピックセンター

会長：高野照夫

本邦の集中治療医学に携わる医師、看護師、臨床工学技師の学術的活動の中心として、毎年日本集中治療医学会総会が開催されており、今回は高野照夫教授が会長として総会を主催致しました。本会は主要テーマを「21世紀の集中治療 - Science, Medicine, Art - 」と名づけて、経験的医学から科学的根拠による集中治療へと発展し、遺伝子工学から臓器移植、再生医療へと進歩する現代の集中治療医学の方向を示しました。特にフロンティア・セッションとして「臓器再生医学の現況と将来」、「臓器移植、現在から未来へ」の特別演題を設け 21 世紀に集中治療がさらに関与していく分野に注目しました。学会の中心には、シンポジウム 11 テーマ、パネルディスカッション 7 テーマ、Pros & Cons 7 テーマ、ワークショップ 2 テーマという多くの特別プログラムを設け、教育講演 15 テーマと 32 テーマのサテライトセミナーが行われました。さらに海外の演者は医師部門で米国より Prof. JS Forrester, Prof. I Rubinstein, Prof. SF Lowry, Dr. T Sawa, Sweden から Prof. Sten Lindahl, Malaysia から Dr. Alan Wang, New Zealand から Prof. HD White, Australia から Prof. C Gectzy の計 7 名、看護部門では米国から Ms TG Emori, Ms T Horan の 2 名を招請し、講演していただきました。今回より特に充実を図った臨床工学技師部門では、国内の医用工学の専門家に特別講演と招請講演をお願いしました。これら特別プログラムに加え医師、看護、臨床工学部門の計 531 題の一般演題を併せて、総数 850 演題に及ぶおおがかりな総会となりました。また 10 日午後には市民公開講座が開催され、一般都民の皆さんに日野原重明先生の講演と心肺蘇生法講座を受講していただきました。学会参加者数は 4,250 名におよび、計 11 会場にて熱い討論が重ねられ、有意義な会となりました。日本医学会総会分科会に 2000 年に加わったばかりの本総会の素晴らしい充実度に賛辞を頂き、無事盛会に完了できました事を第 1 内科の誇りと共に、準備から運営まで多くのご支援、ご協力を賜ったげんてん会先輩諸兄に心より感謝し、厚く御礼申し上げます。

(事務局責任者 高山守正)

第 21 回 ホルター心電図研究会を開催して。

防衛医科大学校 研究センター 医療工学部門
教授 栗田 明

第 21 回日本ホルター心電図研究会は、平成 13 年 6 月 21 日に大宮ソニックシティーにおいて午前 9 時より午後 5 時過ぎまで開催された。本会の事務局本部は日本医大第一内科にあり、早川名誉教授が代表世話を、また斎藤寛和講師が事務局を担当しておりそのバックアップもあって、参加者は約 300 名弱でほぼ全国からホルター心電図に関心のある先生方が集まった。最初は埼玉での会であるので、演題の集まり具合に心配していたが一般演題は 27 題で、“虚血性心疾患の診断と治療におけるホルター心電図の有用性とその限界”に関するシンポジウムは 4 題集まり昨年と比べるとやや多かった。特別講演はかつての Montreal Heart Institute での同僚で、現在では St Louis 大学の循環器主任教授である Bernard R. Chaitman 教授を招待したかったが、都合により来日出来なくなり、彼の推薦でホルター心電図には造詣が深く、また同大学で EP の主任をしている Preben Bjerregaard 教授を招待し、“Methodological Problems in Defining an Ischemic Episode in the Holter ECG” と云う演題で特別講演を持つ事ができた。ランチョンパネルには京都大学の藤田教授と Bjerregaard 教授に再度お願いし、藤田教授には“失神”について、また Bjerregaard 教授には“米国における ICD の現況について” 講演をお願いした。なお既述のシンポジウムは 4 名のシンポジストの他に、Bjerregaard 教授にも参加をお願いし彼のコメントを含めて白熱した議論になった。今回は初の試みとしてコメディカルセッションを設けたところ、6 題の演題の申し込みがあり、座長もコメディカルの先生にお願いした。同セッションの進行具合は、最初は心配していたが、会場は医師部門より活気があり、人が溢れていたのには驚いた。今後この分野は心電図学機器の IT の発展とともにパラメデカル関係者の関心が益々深くなつて行くようになると思われた。

なお最近国立大学主催の学会運営には何かと不自由があるところを、日本医大第一内科の先輩諸先生また関係病院からは多大の御寄付を賜り、お陰さまで無事に終了することが出来ましたことを、この場を借りて改めて御礼申し上げます。

第1回 PTSMA ワークショップ

日時：平成13年7月7日（土）

会場：日本都市センターホール

代表世話人：高山守正

閉塞性肥大型心筋症への新しいカテーテル治療である経皮的中隔心筋焼灼術 PTSMA は、最近本邦へ導入された治療法であり、その臨床的有用性を示す成績が蓄積されつつあります。高山は本療法を国内に導入し、日本心血管インターベンション学会 (JSIC) の PTSMA 小委員会の責任者として安全な治療法の普及を推進する中心として活動を続けております。今回、第10回 JSIC 総会学術集会の関連学術集会として第1回 PTSMA ワークショップを開催する事となりました。治療法の普及に伴い発展的解消が予定されている研究会であり、新たな組織のため基盤が全くない状態からの出発でしたが、げんてん会からの暖かい御援助を頂き開催にこぎつける事ができました。ワークショップには米国 NHLBI より HOCM への研究の第1人者である Dr. Lameh Fananapazir を招請し講演を依頼し、さらに PTSMA に関する演題8題を一般演題としてプログラムを構成しました。本療法は非常に専門的な治療法であり、かつ学会終了後の日程であるにも拘わらず当日は130名もの参加者があり、この新しい治療法への注目の大きさを再確認致しました。独創的ではありますが駆出し弱小の研究会を無事に組織化・運営をできましたのも熱い御厚情の賜物と存じ、げんてん会諸兄に厚く御礼申し上げます。

第181回日本循環器学会関東甲信越地方会、
および第15回日本心臓血管内視鏡学会総会を開催して

日本医科大学付属千葉北総病院
内科教授 水野 杏一

第一内科同窓会の先生方のご支援をいただき、平成13年9月29日（土）に第181回日本循環器学会関東甲信越地方会を文京区区民センターで、平成13年11月3日〔土〕に第15回日本心臓血管内視鏡学会総会を都市センター会館で開催させていただきました。

日本循環器学会地方会は、若き循環器医師の学会発表における登竜門として既に定着しており、発表演題数も毎回数多く集まっていますが、今回の参加者は、今までの地方会で最大の会員の皆様のご参加をいただきました。教育講演として、滋賀医科大学木之下教授による、「慢性心不全の診断と治療の最前線」、大阪市立大学上田教授による、「急性冠症候群の最前線」の二つを行わせていただきました。いづれも大好評で、高野教授には上田先生の座長をお願いいたしました。

学会を振り返ってみると、これ程の演題が発表されているにもかかわらず、その内論文となるのは、恐らく1%にも満たないと思われます。せっかく一生懸命努力し、調べた症例や、研究を論文にしていない現状を見ると、指導している我々にも責任があると思っています。努力して学会で発表した演題は、全て論文にすべきと日頃より考えております。

心臓血管内視鏡は我が国の技術および、臨床研究が世界をリードする領域の一つであり、ここで発表された研究発表が一流誌に多く掲載されております。今回も多くの基礎、臨床それぞれの分野での研究発表がなされました。シンポジウムとして、「急性冠症候群の画像所見、Vulnerable plaque を連想される所見とは」および「各種診断法の意義」の二つを取り上げ、後者では、本学放射線科、隈崎教授に座長をお引き受けいただきました。

この他、ランチョンセミナーとして、「血管内視鏡におけるニューフロンティア」、特別企画として、「この画像をどう読むか」を設けました。

いずれの発表も最新の研究が盛り込まれているので、活発な討論がなされ、学会終了が約1時間延長するという熱気のある会場でした。

血管内視鏡は昨年より保険適応となり、徐々に日本の他の施設でも行うようになってきております。欧米ではそれ程普及していない現状を考慮しますと、我が国での多くの研究が、世界に発信できると確信しております。

最後に、これらの学会を主催するにあたり、千葉北総病院の協力の下に行われたことを報告し、ここに感謝いたします。

第 19 回日本心血管インターベンション学会

関東甲信越地方会

日時：平成 13 年 10 月 27 日（土）

会場：経団連会館

会長：高山守正

心臓カテーテルによる心血管インターベンション（PCI）は今や循環器疾患治療の中心となってきている事はよくご存じの事と思います。このたび第 19 回日本心血管インターベンション学会関東甲信越地方会を東京大手町の経団連会館にて開催致しました。本学会は前日 26 日（金）の” Tokyo Live Demonstration 2001 ” と連続して開催され、いずれも当地方会の教育活動として運営されます。27 日（土）の地方会は 25 題の口述一般演題と 34 題のポスター演題ならびに Harvard 大学 Brigham and Women's Hospital より DR. Campbell Rogers を招請し PCI における Distal Protection Device について講演をいただきました。また当地方会は前回より看護婦・コメディカル部門の教育セミナーを開催しており、医師のみならずパラメディカルの教育についても熱心に取り組んでおります。前日の Live Demonstration からはじまり本地方会・教育セミナーを合わせて 830 名もの参加者があり、本領域の注目度の高さを再認識致しました。本会は動画像の発表が極めて重要であり、発表はすべてが PC プrezentation となりました。したがって、学会運営には人員削減が可能となりましたが、通常以上の注意と準備を要しました。このたび本学会を無事開催でき実りある会とできましたのもげんてん会諸兄の熱い御援助のお蔭と存じ、心より厚く御礼申し上げます。

第495回日本内科学会関東地方会例会 会長を終えて

自衛隊中央病院 外来診療科部長 五十嶋一成

平成11年の秋に、日本内科学会関東地方会の事務局から常任幹事を引き受けたといふべきで、その依頼があり、自衛隊中央病院長の推薦をいただき、平成12年1月から平成13年12月まで2年間常任幹事を勤めました。地方会例会は年9回ありますが、その内7回の会長は大学病院の教授クラスの常任幹事が担当し、2回を一般病院から選ばれていますが、その内の1病院に選ばれたわけです。2年間の常任幹事を勤めている間に、一度会長を担当することになります。それで、この度平成13年11月10日の第495回の例会を担当いたすことになり、無事終えた次第です。

会長としての仕事はあまり無かったのですが、といいますのは、会場の決定や講演の受付、査読の依頼、座長の割り振り、広告の募集、会場係の会社（学会屋さん）への依頼等は、学会事務局が例年通りどんどん話を進めているからです。会長の名前で依頼されるので、その確認と責任が仕事です。

会長としての主な仕事としては学会会場の時間制約により演題数を70題以下に納めるため、不採用の決定をすること（今回も73題の申し込みがあり、4題不採用にしました）演題の時間割、担当セッションの査読及び座長を担当すること、学会当日の開会宣言、閉会宣言することです。それに発表が全部終わってからの内科学会雑誌の一今月の症例一の候補7例位及びInternal Medicineの-Case Report-の候補を2～3題推薦することです。

学会当日は私が担当した循環器のセッションには、日本医科大学第一内科の症例報告があり、高野主任教授をはじめ関係者の方々がたくさん参加していました。心強い思いをしました。また、呼吸器のセッションでは第二病院内科の症例発表があり、推薦演題にあげさせていただきました。

会長として対処したことは、座長予定者が学会4日前に都合が悪いとキャンセルが入り、私の病院のその専門の部長に代理をお願いしました。また例会当日、「スライドを忘れ、取りに帰る時間もなく、スライド無しでは発表できないという演題」がありました。座長と相談の上、誌上発表という手段を選ばせていただきました。やはり思いもせぬ事態が起きることがあるんですね。ただ、最後まで聞いていただいてた方がそれなりにいらっしゃり、閉会の宣言をした後に、拍手をいただき感激いたしました。

地方会とはいうものの、日本内科学会という学会の会長を勤めさせていただいたのは、現職の自衛隊中央病院の実績とはいえ、この現職までにしていただいた恩師の木村栄一教授をはじめ、げんてん会の諸先生方、日本医科大学第一内科のお陰と感謝している次第です。木村教授には、学生時代には出来が悪か

った（木村教授の卒業試験のワースト5）私を入局拒否もなさらず、学位論文も最後まで直接みていただき（日本医科大学雑誌に投稿許可をいただいた次の週に学長になられた）、医局員を人前に出すまでにするのも教授の仕事だということで、ご指導いただきました。木村教授はもちろんですが、第一内科のスタッフの諸先生方、げんてん会の皆様、同期の医局員、優秀な後輩の皆様に恵まれ、いまの職につけた私は幸せものと考えております。

今後は今少し（定年は60歳の誕生日）現職に勤め、内科学会、循環器学会、心臓病学会等のお手伝いをし、機会がありましたら防衛医科学校と同じように、日本医科大学のお手伝いもしたいと考えております。

現在は、6年2ヶ月勤めた第2内科部長（循環器部長）を平成13年8月に後輩に譲り、外来診療科部長を勤めております。直接の部下は一人もいないのですが、場合によっては外来診療棟全部を仕切る立場でもあります。診療業務は勿論ですが、医事業務、健康管理業務にも携わります。一言でいうと病院のマネージメントを司っているようなもので、よろず相談係みたいなものです。自分の好む、好まないによらず、管理業務を教育されているような感じがしますが、良い人生勉強だと受け止めて勤めております。

留学者の帰国報告

「ロンドン、St Thomas 病院、The Rayne Institute、Cardiovascular Research 留学記」

(1995年7月～1998年10月)

横山 広行

1995年7月～1998年10月の3年間、英国ロンドンの中心部に位置する、St Thomas 病院、The Rayne Institute、Cardiovascular Research に留学させて頂きました。心筋細胞における Na^+/H^+ 交換系 (NHE) に関して研究して参りました。ラット摘出灌流心モデルを用いた実験では、心筋虚血中に NHE は活性化して虚血性心室性不整脈を惹起すること、心筋虚血再灌流時に thrombin が存在すると NHE が活性化して再灌流性心室性不整脈が増悪することが示唆されました。ラット単離心筋細胞内の pH を計測することにより NHE 活性を定量的に計測する実験系では、NHE は $\alpha 1\text{A}$ アドレナリン受容体サブタイプ刺激により、MAPK を介して活性化し、アデノシン A1 受容体刺激により抑制されることが判明しました。ヒト心臓移植時に採取したヒト心不全心筋細胞を用いた研究では、心不全心では NHE 活性が亢進していることを発表しました。

帰国後2年間が経過した現在、あの英国での生活は遙か昔のことの様に（もしくは、夢であったかの様に）思われます。楽しいことばかりで夢のようだった、などという訳ではありません。余りにも現在の生活環境と異なっていたという意味です。渡英後1～2年間は、ひたすら実験をしておりました。兎に角何かしないと自分の存在をアピールできない様な気がしていたのです。週末にも研究室に行き、「休日の実験中に棚が倒れて下敷きになってしまっても、誰も助けてくれないぞ」とジョークを言われておりました（英国人は自分達が週末は仕事をしたくないのですね）。幾つものプロトコールを手掛け、その中で数個は最終的に論文になりましたが、多くのプロトコールはボスの Dr Metin Avkiran と discussion している間に消え去り（却下されたもの、経費の問題で中止になったもの色々でした）、数々の実験は仮説とは一致

せずに、その実験結果は今でもコンピューターの奥で眠っています。しかし、面白いもので、帰国直前にボスから「ヒロの実験と研究者としての態度を信用したのは、negative data を提出した時であり、また実験の失敗した理由を説明した時だった」と言われ、随分と好い経験をしたものだと最後に思ったものです。

さて、St Thomas 病院、Cardiovascular Research は草間先生以来、雪吹先生、安武先生が留学されておりました。留学初日に研究室で Prof David Hearse にお会いした際に「この研究室には今まで 30 人近くの日本人留学生が来ましたが、日本医大からの留学生達が最も優秀だった」と言われ内心喜んでいると、「あとは、君次第だね」とやられ、英国ジョークなど理解できず、蒼くなつたものでした。しかし、実際先輩方は素晴らしい研究成果を挙げられており、随分とプレッシャーに感じたものでした。このプレッシャーが薄れ、週末に研究室にあまり行かなくなつたのは3年目でした。何のために留学したのかをようやくその頃になり考えたのです。結果を出すために来たのではないと自分に言い聞かせ、基礎研究に専心することにより、基礎医学的思考を学ぶこと、正しいプロトコール作成方法を学び臨床研究に持ち帰ること、そしてまた英国の文化に触れ、英国人らの外国人と親睦を深めることにより国際感覚を身につけることが、自分の留学目的であったと自覚したのでした。無論、研究室に自分の居場所ができ、楽しく研究ができたために、気持ちに余裕ができたため冷静になれたのでしょう。3年目の週末は、よく郊外に出掛け、水彩画を描きためてきました。昨年偶然にも銀座の画廊にて画伯と2人展を開催する機会がありました。随分迷いましたが、週末に郊外に出掛け水彩画を描いたことも、研究室の仲間とバブに行ったことも、金曜日の昼休みに草サッカーをしたこと、総てをまとめて自分の留学生活であり、隠す必要はないと考え2人展を致しました。現在国立東静病院病院循環器科に勤務し、日常臨床と臨床研究に専念し、実験とは疎遠になっておりましたが、それでも留学生活で学んだものは、私にとっては宝だと思っております。

最後に、貴重な機会を与えて下さった医局の諸先生方、留学中に忙しい大学での臨床と研究を支えて下さった皆様に厚く御礼申し上げます。

「留学を終えて」

浅井 邦也

留学期間：(1) 1995年6月～1997年4月

(2) 1997年5月～1999年7月

(3) 1999年8月～2000年4月

留学先：

(1) Harvard Medical School, Cardiovascular Division,
New England Regional Primate Center, Southborough,
MA, USA

(2) The Cardiovascular and Pulmonary Research Institute,
Allegheny University of the Health Sciences, Pittsburgh,
PA, USA

(3) The Weis Center for Research, Pennsylvania State
University, College of Medicine, Danville, PA, USA.

Vatner 教授の研究テーマは多岐にわたるのですが、私はその中で心不全におけるアドレナリン受容体シグナルの役割（心不全犬の覚醒下実験と、いま流行 (?) のトランスジェニックマウスを用いた実験）と加齢の心血管系に及ぼす影響を中心に研究を行って参りました。留学前は、いろいろと聞くと不安になると思い、ほとんど現地の情報を聞かずに渡米し、また基礎研究の経験がほとんどなかった私は、実験のイロハをはじめ前任の佐藤直樹先生には大変にお世話になりました。

留学場所にあるように、留学中に研究所を2度移転したのですが自分が個人で移り変わったのではなく、同じ教授について移転したので、つまり2度研究所の立ち上げに一から関わったのです。最初はハーバード大学から、その昔鉄鋼で有名だったピッツバーグにあるアルゲニ-大学への移転で、より良い研究環境を求めての移転でした。資金的にも恵まれ、他のグループが合流し前途洋洋と思われたのも束の間、不運にもその大学が倒産し再び移転を余儀なくされたのです。次の移転先は、倒産などないように、かの格

付け会社ムーディーズに調査を依頼して決めたペンシルベニア州立大学の研究所の一つでした。Boston, Pittsburgh と比較的都会での生活とは一変し、そこはアメリカの「ど田舎」でした。研究所までの約 30km の道はポツリポツリと酪農のサイロがあるだけの田舎道で、鹿に注意しないと大事故になるようなところでした。アパートなどないところで一軒家を借りたのですが、これが築約 200 年という代物で（他に選択肢がなかった）西洋お化けでも出そうな家でしたが、2000坪以上ある小川の流れている裏庭は鹿、Wild Turkey, 合鴨など野生動物の憩いの場所であり東京都心では考えられないような生活でした。話が少しそれましたが、この移転はいろいろな意味で厳しい時間を過ごすこととなったのですが、同時に貴重な体験であったように思います（何事も経験が第一）。後日談ですが、私が帰国した後に研究施設の大学からの分離騒ぎがあり、またまた移転したことです（これにより現在留学中の奥村先生、高木君も2度の移転を短期間で経験したようですが、3度目がないことを祈っています）。

留学を終えて思うことは、別の病棟に変わり、別の付属病院に行き、また派遣病院に出て様々な人に出会い、新たな事を学ぶという点で、留学はその延長線上にあると思います。自分が成長するにはそこで一所懸命やることですが、成長したと実感出来るのは新たなところでそれを発揮できたときだと思います。そう言う意味で、上述の移転は自分の小さな成長を実感させてくれるものでした。自分には縁の無い世界と思っていた留学に、「行ってみる？」と声を掛けて下さった故遠藤助教授に心から感謝しております。

最後に貴重な機会を与えて下さった早川元学長、高野教授をはじめ、医局の皆様に心より御礼申し上げます。

「“しなやか”であるために」
(1998年7月～2000年8月)

小原 優彦

平成10年7月より平成12年8月まで、Cedars-Sinai Medical Center、Basic Electrophysiology Lab.のProf. Karagueuzian 教授のもとで留学する機会を得ました。この留学の機会を作ってくださいました早川名譽教授、加藤助教授ほか留学を支えて下さった第一内科の皆様に深く感謝いたします。2年間は本当にあつという間に過ぎてしまいました。研究に関してはいくつか自分なりの結果を出すことができましたがまだまだ残したことともたくさんあります。一番重要なのは留学で得た新しい知識、感動を若い人に伝えていくことだと思います。その意味ではまだ留学は終わっていないようです。Cedarsにおいて一番強く感じたのは、全ての職員が Cedars を一流の医療施設、研究施設と認め自分がそこで働いていることに自信をもっていたと、そしてその自負を支えるべく自らの努力を怠っていないように感じられたことです。Cedars という組織自身も常に自己チェックを行い、常に 10-20 年先を見越した運営をしていました。また、必要とあれば時には大胆な組織の改革を行う flexibilityを感じられました。

日本に帰国後、長野県知事に選出された田中康夫氏が、“しなやか”という言葉を使って、皆からわかりにくいと批判されていました。上意下達の官僚社会である日本にはなじみにくい言葉だと思いますが、“しなやか”という言葉が自信と責任に基づいた flexibility を意味するものならばそれはまさにこれからの我々に最も必要なものではないかと思います。

「貴重な経験でした。」
(1998年7月～2000年8月)

小原 啓子

アメリカ滞在2年目から正規の留学生でないにもかかわらず、ラボで働くことができ、私にとって大変貴重な経験でした。これには、ラボやシーダースの方々のご好意はもちろんですが、アメリカ社会のオープンな一面を感じました。仕事の内容は心筋梗塞犬の心房の病理学的变化で、主として Gap junction の構成蛋白である Connexin の免疫染色を行いました。病理専門のラボでないので他のラボの人間に聞いたり、自分で調べたり試行錯誤でしたが、大学を出たばかりの若い人たちと接し気持ちは学生気分、他のラボの人なども皆フレンドリーで、移民特に中国系の人が多く、女性も多いため違和感なく溶け込め、楽しく過ごしました。

次にアメリカの医療を少し体験しましたのでそれを書きたいと思います。渡米後の秋、腹部に腫瘍を触知、子宮筋腫と診断され、幸い保険機関から手術の許可がでたので、翌年思い切ってシーダースで手術を受けることにしました。入院は予約に行ったとき問診表を書き、同意書にサインし、当日の朝5時過ぎに直接手術室へ行き、鎮痛にはオピオイドの静注のボタンを自分で押し、抜糸は2日後にクリップを半分、翌日全部取り退院、と日本とはかなり違うものでした。医療費を抑えるために合理化されたようですが、看護は手厚くされ、人数も十分いるようでした。もちろんいいことばかりではなく、1年以上過ぎ帰国前に、保険が却下され医療費全額の請求が来たときには驚きました。方々に電話しても埒があかず、面倒になりそのまま帰国しました。その後クリニックからシーダースの保険とは手を切ったので患者さんには悪しからず、というハガキが来て、私には請求がなかったのでほっとするとともに、この顛末にアメリカ社会の1端を見た気がしました。

「ルイビルでの思い出」

高野 仁司

(1996年11月～1999年10月)

1996年9月下旬に突然届いた“11月から来い”というFaxから一ヶ月後、なんの準備もなく米国へ旅立ちました。歓送会の席で医局から後任をだせることを目標に精一杯がんばると大口をたたいたものの、実際には、誰も知らない街で生活できるのだろうか、日本人第一号となる職場で自分が通用するのだろうか、英語が解かるようになるのだろうか、考えただけで気が重くなりました。夜中に着き途方に暮れていた空港で、“ようこそルイビルへ”と日本語で書かれた看板を見つけ僅かながら安心し胸をなでおろした記憶があります。着いた翌日から仕事が始まり、そこでBossのBolli博士が大の日本人嫌いで私を雇用することに大反対だったと知り、準備期間が欲しいなどと言えず、穏やかではない幕開けとなりました。そんな中で落ちこぼれにならずに済んだのは、草間先生達のロンドン時代の同僚だった北京出身の邱先生や、他の気のいいフェローが親切に辛抱強く面倒をみてくれたからだと思います。当初、仕事は下働き的なことが多く、良い結果ができると他の上司達のお手柄でうまくいかないとフェローの所為となるため愉快ではなかったのですが、とにかく一年間は黙って仕事をしようと心に決めそれを実行していました。そんな中で、相手にされていなかったBolli博士にも金曜の夜の報告会や学会抄録準備の指導を通じてようやく名前を覚えてもらえるに至り、さらには一年経たないうちに部屋に呼ばれ第一内科からの二人目のフェローの打診を受けました。この時の思いがけない早い時期の目標達成には嬉しい限りでした。2年目、3年目は、自分のことだけでなく他の国から来た後輩フェロー達のことも考慮しながら仕事を進めるよう心がけ、また彼らから相談を受けたりする機会も増え、これが英語を少し身近なものにした気がします。私生活では、地元の室内サッカーチームに所属し毎週汗を流したり、家族で州立公園に出かけたりなど、限られた時間でしたが楽しくすごすことができました。Bolli博士との思い出もあります。論文準備のために誰も出勤しない大

雪の日に夜中まで二人だけで部屋で仕事をしたり、日曜夕方の仕事の後に一緒にサッカーをして汗を流したりなど、貴重な経験でした。Bolli先生はかつての日本人嫌いから今では“日本人以外のフェローはもういるない”と変わったようで、私がサッカーの相手をしたことでもこの180°転換の一因だと思います。

あの行きの飛行機の中で不安と緊張に震えていたあの日からあっという間に3年の留学生活を終え、日本に戻ってさらに1年経ってこうして帰朝報告を書いていることを考えると、まだ夢をみているようです。これから留学へ行く後輩の先生達に一言だけ言わせてもらうとすれば、それは決して遊びに行くのではないということ。お客様的感覚で行くのであれば、受け入れる方も迷惑だし、残されて日本で病棟業務に汗を流している先生方にも失礼です。前任者がやっていたことを受け継いで適当にお茶を濁し、とりあえず適当な業績をあげてあとは旅行三昧の日々を送っている日本人の先生達が多い中で、第一内科から選ばれて留学してきた人間は違うということを見せつけて欲しいと思います。業績という形にとらわれることなく、留学先に大いに貢献してきて欲しいし、ある意味でそれが第一内科に対しての義務を果たすことにもなると考えます。

最後に、自分の人生が留学前と後で二分できるくらいの大きな経験の機会を与えてくださった第一内科の先生方に感謝の意を表したいと思います。

(1996年11月～1999年10月、米国ケンタッキー州ルイビル大学心臓病学部門に在籍)

「留学を終えて」

来馬 明規

(1997年8月～1999年12月)

医局の第一線を離れましてもう6年近くになります。医局の皆様には長きに渡り基礎医学研究の機会を与えてくださいましたこと、あらためて感謝申し上げます。帰国してもう1年になりますが、先輩諸兄の痛快なげんてん留学紀に自分の拙稿が加わる順番になったかと思いますと感慨深く思います。

私は94年9月から東京医科歯科大学でバッヂクランプと人工膜イオンチャネルの手技を学び、同大学平岡、川野両博士のお世話で、97年7月から昨年末まで米国アトランタ エモリー大学(1)に勤務しました。当時、赴任先の研究室は現医局長の平山さんが勤務していましたし、赴任前に2回ほど行って現地の事情を把握していましたので幸運でした。平山さんには剣道部入部、山形派遣、医科歯科、エモリーとことあるごとにガイダンスを受け、お世話になった気がします。

いざアトランタに着いてみると、帰国直前の平山さんが相変わらず色々面倒を見てくれました。日本でしていなかった車の運転は見事、料理の経験がなかったはずなのに手製のクリームコロッケやメンチカツをごちそうしてくれたのにはビックリしました。自分も頑張ろうと思いましたが勤勉と朝早いのは決してまねできないと、早い時期からあきらめ、他の道をめざしました。

新生活は本当にストレスなく早い時期から仕事に集中できました。月～金は研究室で働き、毎日大量の生野菜とオレンジジュース、肉よりは魚を食べ、お酒、コーラ、ジャンクフードは摂らずに完全自炊し……ときわめて健全で生産的な生活が軌道に乗りました。昼食に粗末な肉入りサンドイッチしか食べないボスや同僚にサバの味噌煮、カジキのカレーソース、スズキのボワレ、麻婆豆腐等を振る舞い、ボスの娘には寿司の握り方を教え、頭でわかっていても体でわかっていない肉食、高脂肪食の愚を説き、水餃子しか作れない中国人の同僚には焼き餃子で勝負し、研究室において健康料理名人の名を不動のものとしました。週末はかねてより狙っていた「Harley-Davidson のオートバイに乗って大陸を走る」ことに費やしました。

Harley-Davidson のオートバイを赴任後1ヶ月で手に入れ、通勤に使用し、北ジョージアハーレークラブ(2)、ジョージアサイドカークラブに入会し、オートバイを通してたくさんの友人を持つことが出来ました。南部なまりの英語は苦手でしたが、MD&PhDでエモリーに勤務し、オートバイの運転も上手ということで、とても大事にしてくれ、差別を感じたこ

とはほとんどありませんでした。2年目はクラブ執行部員に選出されツーリングの先導もやりました。往復千マイル超のケンタッキーまでバイクで行き小谷、高野両君の家族とも会いました。ボスは単身赴任ということで、当初私の精神面を心配していたようですが、二輪免許さえ持たない彼は、すぐに私のことをうらやましがるようになりました。オートバイとインターネットのおかげでホームシックは克服できました。インターネットを通して日本のハーレー愛好家とも交流し、アトランタの二輪車事情を発信しました。医局の何人かの方々とも電子メールをやりとりし、私の「悪行」の数々をホームページ(3)を通して見てもらいました。同級の国見とは組み立てコンピューター情報をやりとりしました。

帰国直前にはハーレークラブで大宴会を開いてくれ、手元にオートバイがない私に「俺のオートバイ(=宝物)に乗りなよ、俺は誰かの後ろに乗るから。日本に帰る前にもう1回山へ行こう」と何人もの友人からオファーを受けたときには、真の友人を海外に持ったことを実感しました。私にとってはオートバイがもっとも身近でわかりやすい、アメリカ文化の教科書でした。ジョージアの澄んだ青空を吸い込んだハーレーは東京に持ち帰って今も大切にしています。

仕事は大ヒットに至りませんでしたが、原著論文を3篇上梓し、帰国後も理化学研究所で働く機会を得ました。現在神経細胞の電気生理を研究しております。将来共同研究など何かご縁がありましたらぜひよろしくお願い申し上げます。



留学を終えて

野村 敦宣

留学期間 1999年1月～2001年3月

留学先 Heart Research Follow-Up Program,
University of Rochester, NY, U.S.A.

私が留学しましたロチェスターは、ニューヨーク州の北の端、オンタリオ湖のほとりにある町です。マンハッタンとは同じ州ですが、車で9時間程の距離があり、周囲は田園風景が広がる田舎町です。在籍しましたHeart Research Follow-Up Programは、Moss教授が先天性QT延長症候群(LQTS)の臨床研究を行なうための登録センターとして設立した施設です。長年にわたるデータの積み重ねによる解析が、近年明らかとなりました、LQTSの遺伝子異常の解明に寄与したことは広く認められています。最近は、様々な心疾患の登録研究センターとして発展しつつあり、植え込み型除細動器が予後の改善に寄与する事を確立したり、心筋梗塞後の心事故発生に関与する凝固因子を解明するなど研究範囲は多岐に及んでいます。Moss教授から私に与えられましたテーマは、心電図T波を二次解析することにより心事故発生を予測するという波形因子を解明することでした。実際に指導をしてもらったのは、ポーランド人のザレバ助教授で、T波の解析プログラムはフランスエンジニアのクダーと開発しました。国籍が全員異なる異色な研究グループでしたが、英語を母語としない人間同士なため、私にとってはブローケンなジャパニーズ イングリッシュでも通用するメリット(?)もありました。

毎日の研究生活は、作成された自動解析プログラムを臨床心電図データで用いてみることを担当していましたので、朝から晩までPCと向き合う日々でした。一日中PCと向き合っていますと、仕

事に行き詰まることが多々あり、気分転換に大学構内を散策したりしていました。臨床心電図を解析してみると、理論上は完璧なプログラムが全く通用せず、その原因をエンジニアのクダーと検討を繰り返しました。コンピュータでの自動解析からは、データを瞬時に解析し、結果が得られるイメージを持たれる方が多いと思いますが、現実はこの様な地味な作業の積み重ねでした。さらに作成したプログラムの結果をザレバ助教授に見せる度に、T波の自動解析に欠かせない信頼性確立のための更なるプログラム検討、修正を指示され、終わりのない作業を延々と続いている気分でした。実際、プログラムの活用が現実的になるまで1年半以上の期間を要しました。完成したプログラムは、LQTSのホルター心電図の解析に用いましたが、QT間隔の変動では明らかに見えなかった、心室再分局過程の不均一性の日内変動を明らかにでき、今後の臨床応用への大いに期待が持てると思われます。このプログラムはデジタル心電図で基本的に使用可能であり、日本でも臨床研究に活用していく予定です。

研究室には、データ収集のための研究職の看護婦をはじめ、プログラマー、統計処理・遺伝解析専門家等、総勢20名を超えるスタッフが在籍していましたが、アットホームな雰囲気で、いつも声をかけて貰い、困った事があるといろいろ面倒をみてくださいました。彼ら、彼女らの温かいサポートがなければ、留学生活は無事全うすることができなかつたと思います。ロチェスターは、今ごろ長い冬の真っ只中でしょうが、四季折々に美しい町並みが思い出されます。最後になりましたが、このような貴重な経験の機会を下さいました、高野教授をはじめ第一内科諸先生に深く御礼申し上げます。

V. 第一内科学教室、同窓会（げんてん会）記録

今年度も様々な行事がありましたが、いずれも盛会のうちに無事とりおこなうことができました。これもひとえに第一内科同窓会の皆様のお陰様でございます。げんてん会の皆様に深く感謝し、御礼申し上げます。

1) 平成12年げんてん会

平成12年2月19日（土）、池之端文化センターにおいてげんてん会が開催され同窓会会員25人現役医局23人の出席をいただきました。総会に先立ち第一内科講師清野 精彦先生より“急性冠症候群の迅速生化学診断”について、また第二病院内科教授 宗像一雄先生より“付属第二病院の現況”についての講演が行われました。総会においては会計報告が全会一致で承認されました。

2) 平成13年度げんてん会ご案内

日時：平成13年2月10日（土）

会場：中央大学駿河台記念館

千代田区神田駿河台3-11-5

TEL：3292-3111

皆様のご参加をお待ち申し上げます。

3) 早川弘一教授、学長退任記念祝賀会

早川弘一教授、学長退任記念祝賀会が平成12年9月16日（土）、帝国ホテル3階富士の間にてとりおこなわれました。大塚敏文日本医科大学理事長、浅野伍郎日本医科大学学長、石田茂年日本医科大学同窓会長、三井利夫筑波大学外科学教授、小川 聰慶応大学呼吸循環器内科教授、加藤和三心臓血管研究

所名誉所長、小澤一郎衆議院議員をはじめ500人を越える出席をいただき盛況のうちに開宴となりました。これら多くの先生方より早川先生御夫妻のご健康と益々のご活躍を期待したいとのお話がありました。そして和やかなうちに会は進行し、“Old boys and girls, be ambitious”とのお言葉を残して早川先生は会場を後にされました。現在、早川先生は久我山病院院長としてご活躍なさっています。

追記 早川弘一先生の退任記念の本を印刷いたしました。まだお手元に届いていない方、また新たにご希望の方は医局までお知らせ下さい。

4) 平成14年度げんてん会ご案内

日時：平成14年2月

会場：日本医科大学同窓会館

げんてん会：午後3時より

懇親会：午後6時より

会費：5,000円

新築された同窓会会館で行います。今年も各派遣病院の症例検討会を予定しています。是非ご出席下さい。

5) 第18回心電情報処理ワークショップ

日時：平成14年10月4日～5日

会場：NASPA ニューオータニホテル（予定）

新潟県南魚沼郡湯沢町湯沢

越後湯沢駅より車で3分

会長：加藤貴雄

紅葉の越後湯沢で、じっくりと研究会を行います。

皆様のご参加とご協力をお願い申し上げます。

VI. 故 梁君を偲ぶ

須賀 洋

梁君との付き合いは、内科の医局に入局してからである。同じ埼玉県ではあるが、彼は学生時代から非常に真面目で大人しかったのでマージャン、パチンコに現を抜かしていた我々とは殆ど縁がなかった。

それが同じ第一内科に入局し、まもなく当時の臨床検査室所長の高山弘平教授から、まだ誰もやっていないから心筋梗塞時の尿中トランスアミナーゼの測定をしてみたらどうかといわれ、梁君と二人で兎に人工的に心筋梗塞をつくり、尿中 GOT,GPT を測定した。医局の仕事をしながらだったので時間的にもかなりきつかったが梁君は決して手を抜かず、正確に作業をこなしていった。私はその姿を見て彼は臨床家よりむしろ研究者のほうに向いているのではないかと考えた位である。しかし得られた結果は一定の傾向は見られず、木村教授のもとにデータを持っていくと、「あ、これはネガティブデータね」の一言でおしまいだった。

何時だったか正確には覚えていないが梁君は大学院在学中に腎炎に罹り、第一内科に入院した。私も一時期、彼の主治医となつたが、通常の医師と患者の関係ではなく治療方針も検査も相談し、納得してもらって決めていた。しかし残念ながら治癒することなく慢性腎炎に移行し、後に透析へとなつていった。

彼の開業は私と殆ど同時期だったと記憶している。岩槻と大宮と市は違つたが同じ埼玉県医師会だったので講演会ではよく顔をあわせた。

梁君は酒は飲まなかつたが付き合いのよい男で、ウーロン茶を飲みながらよく酔っ払いの相手をしてくれていた。また美味しいものには目がなく、どこぞこの肉が良いと聞くと神戸まで、新幹線に乗って食べにいくというようなことを繰り返していたようだ。「きのう急にラーメンが食べたくなつて病院の前の喜楽で食べてきたよ」と話していたのがつい昨日のことのように思い出される。美食家の常として彼も中性脂肪がかなり高かつたようだが、もうそのときは透析をしていたので、「なーに明日透析すれば中性脂肪も下がるよ」と平然としていた。

彼と最後にあったのは、今年の春、同期の有志が集つた時である。顔色もよくとても透析歴 17 年以上とは思えなかつた。しかし隣に座つた友人に、虫が知らせたのか、「家内の具合が悪いので参つたよ、クラス会に出られるのも今回が最後かもしれない」と話したそうである。その言葉どおりに、今年の九月に奥様を亡くされ非常に氣落ちされていたようだ。その梁君も、奥様の四十九日を目前にして、急逝されるとは…。聞くところによると透析中に急に血圧が下がりいろいろ手当ての甲斐もなく亡くなつたそうである。

63 歳の生涯はあまりにも短い。しかしやさしい奥様と子供たちに恵まれ充実した人生だったのではないかと思う。もって瞑すべきか。ご冥福をお祈りする。

付属病院

- 外来(4) 大須賀勝、上田、塚田、遠藤康、
(安武ひ、柏木、福間祐、小林み、佐藤丞、田宮、横島)
- A6(11): 斎藤勉、古明地、桜井薰、田中古、**小野**、大野則、岩崎、**池田**
篠田、高橋保、**瀬江**
- C6(13): 福間、八島、宮内、清水治、藤田進、及川、森田、**阿部**、平澤
竹永、**谷口**、加藤良 (2内: 田潤)
- B5(10): 小林義、安武正、内田高、佐野、高山英、林、田邊潤
小野い、山科、石川
- CCU(7): 木内、横山広、関戸、小倉、緒方、上村、笠神、
- 生理機能: 本間、**鶴須**、**晶田**
- 研修 2外: **田端** 放射線科(第二病院): 加藤浩、木村
- 丸子(3): 寺田、樹方、高橋直
- 北総 内科(9): 大村、酒井俊、松本、富村、横山真、大場、稻見、
CCU(5): 今泉、松田、清宮、**篠山**、**渡辺**
- 永山(15): 藤田信、雪吹、中込、山中、田寺、青木、川口、宮本、
大野忠、山本剛、丸山、山根、壬生倉、**細澤**、**川崎**
- 北村山: 金村、佐伯、掃部、坪、高橋啓
- 下谷: 松尾、佐藤直、葉梨、福本、馬渕
- 鹿島: 吉田知、吉田博
- 駒込: 説田、宮武、荒尾、清水一
- 波崎: 笠井、長野、長戸、田辺浩、
- 登戸: 洪、後藤、藤岡、岡松、小川晃、龜山
- 横須賀: 煙、三浦、豊田
- 大倉山: 長江、大塚
- 海老名: 岩原、高野雅 東京白十字: 名知
- 博慈会: 小川剛、田中邦、高木啓 東京都リハビリ: 石川貴
- 保谷厚生: 平山、石井 臨床薬理: 大須賀恵
- 基礎大学院 生理: 大坂 病理: 西垣、馬場 第2生化: 佐藤越 微免: 高久
- 留学生: 具、張、何、イゴール、ジハード
- 留学(11): 来馬、奥村、星野、小原俊、小原啓、浅井、野村、高野仁、小谷、
高木元、高木郁、
- 退職: 大園、内田拓

2000年3月

移動 研修医 大学院生

付属病院

外来(4) 大須賀勝、佐野、塚田、土田

(安武ひ、佐藤丞、横島、休み：柏木、福間祐)

A6(10): 古明地、平山、大村、桜井、田中古、馬渕、岩崎、木村、~~加藤良
椎葉~~

C6(11): 福間、宮内、清水治、藤田進、松田、及川、森田、山科、~~加藤浩~~
美浦、館岡

E5(9): 中込、藤岡、松本、大野忠、清水一、林、阿部、石川正、吉川

CCU(6): 安武正、佐藤直、笠神、大野則、山本、高山英

生理機能: 本間、(西垣龍)

研修 ~~福島(北総CCU)~~、~~田近(2院)~~、~~石川昌(CCU)~~、壬生倉(CCU)、
~~宜保(北総CCU)~~

丸子(11): 寺田、柳方、内田、高橋直、鈴澤、西垣朝、酒井行、山口、網谷
保倉、伊佐治

北総 内科(10): 酒井俊、富村、上村、大場、横山真、清宮、高野雅、田邊潤、
平澤、~~谷口~~

CCU(4): 今泉、掃部、品田、堀江

永山(14): 雪吹、山中、田寺、遠藤康、川口、青木、宮本、緒方、丸山、山根
大塚、川嶋、菊池、愛須

北村山: 金村、佐伯、小川晃、高木啓、池田

下谷: 橋本、松尾、関戸、葉梨、竹永、磯田

鹿島: 吉田知、徳山、高橋保

駒込: 説田、宮武、荒尾、相澤

波崎: 笠井、長野、長戸、豊田

登戸: 洪、佐藤越、岡松、亀山、三浦

横須賀: 畑、淀川、稻見

大倉山: 長江、後藤

海老名: 岩原、吉田博 東京白十字: 福本

博慈会: 小川剛、田中邦、石井 東京都リハビリ: 石川貴

町立八丈病院 坂 臨床薬理: 大須賀恵

基礎大学院 第2病理: 馬場、第2生化: 高橋啓、田辺浩、微免: 高久

留学生: 吳、張、何、イゴール、ジハード

留学(11): 奥村、星野、小原俊&啓、浅井、野村、小谷、高木元&郁、小野卓&い

休み : 八島

付属病院

- 外来(5) 大須賀勝、八島、塚田、宮武、磯田
(安武ひ、馬場、佐藤丞、横島、休み：柏木、福間祐)
- A6(10) 古明地、藤岡、松本、馬淵、岩崎、高木啓、木村、
[redacted]、[redacted]
- C6(11) 福間、**大村**、清水治、藤田進、大野忠、山根、及川、森田、
吉川、鶴嶺、鷹島、小川紅
- B5(9) 中込、小原啓、青木、田中古、清水一、林、長戸、阿部、田近、
[redacted]、[redacted]
- CCU(6) 佐藤直、笠神、山本、高山英、坪、龜山
- 生理機能： 本間、(西垣龍)
- 研修 [redacted]、[redacted]、[redacted]、[redacted]、[redacted] (木山内視鏡)
- 丸子(11) 寺田、柳方、内田、鈴澤、西垣朝、高橋直、酒井行、山口、網谷
保倉、伊佐治、宣保、[redacted]
- 健康管理科：大野則
- 北総 内科(10) 佐野、富村、上村、横山真、清宮、高野雅、掃部、岡松、豊田、
[redacted]
- CCU(4) 今泉、小原俊、大場、品田
- 永山(14) 雪吹、山中、田寺、遠藤康、浅井、宮本、緒方、丸山、大塚、石井、
吉田博、石川正、壬生倉、[redacted]
- 北村山： 金村、佐伯、池田、平澤、愛須
- 下谷： 松尾、葉梨、関戸、福本、小川晃
- 鹿島： 吉田知、川嶋、谷口
- 駒込： 説田、荒尾
- 波崎： 笠井、長野、土田、竹永
- 登戸： 洪、佐藤越、高橋保、徳山、山科
- 大倉山： 長江、後藤
- 海老名： 岩原、川口、堀江 東京白十字： 加藤良
- 博慈会： 小川剛、田中邦、田邊潤、加藤浩 東京都リハビリ： 石川貴
- 国立東静 横山広、高野仁、淀川、稻見 町立八丈： 三浦
- 基礎大学院 第2病理：馬場、第2生化：高橋啓、田辺浩、微免：高久
- 留学生： 吳、張、イゴール、ジハード
- 留学(11) 奥村、星野、野村、酒井俊、宮内&瑞、小谷、高木元&郁、小野卓&い

■. CC・CPC

CC と CPC は下記の時間に開かれています。東京近郊にお住まいの方や、地方の方でも東京にお越しの際は、是非御参加下さい。

CC : 毎週火曜日午後 5 時 30 分から

場所 : 第 1 講堂

CPC : 第 4 月曜日午後 4 時 30 分から

場所 : 第 2 臨床講堂

CC

年月日	症例	病歴番号	担当医	診断名
平成11年4月13日	37歳、女性	240920	相澤 安武	冠嚙縮性狭心症に対する抗セロトニン受容体拮抗薬の効果
5月11日	26歳、女性	243248	関戸G 関戸	Peripartum Cardiomyopathy? Myocarditis?
5月18日	78歳、女性 69歳、女性	254587	磯田 緒方G(CCU) 古明地	Myeloma and Amyloidosis?
6月 1日	26歳、女性	244774	平澤・谷口 中込	Juvenile AMI and Peripheral Vascular Disease
6月 8日	20歳、女性 69歳、男性 26歳、男性	246227 243075 245904	桜井, 及川 緒方G(CCU) 斎藤(勉)	Tuberculosis 3例
6月15日	57歳、女性	237346	石川(正) 小林(義)	Polymyositis and Hypothyroidism
6月22日	62歳、男性 77歳、男性	245406 247427	谷口 桜井 宮内	Double IVC
9月21日			古明地 上田	肝疾患 update:AIH,PBC
9月28日	71歳、男性	254119	高山(英) 小林(義)	炎症性偽腫瘍
10月 5日	48歳、男性	247301	田中 大村	Marfan's syndrome with Hyperthyroidism and Factor VII deficiency
10月12日	57歳、女性	249822	石井G 森田 安武	PTEを合併したたこつぼ様心筋症
10月19日	24歳、男性	250983	山本 上田	Hepatosplenomegaly and Cholestasis

年月日	症例	病歴番号	担当医	診断名
10月26日	69歳、女性	250071	福島 上田	Aortic aneurysm with infection? Tumor?
11月 2日			藤岡	糖尿病up date:新しい診断基準、病型分類、治療
11月 9日			清水(秀)	肝疾患up date:HCCの治療
11月16日	14歳、男性	252549	加藤(浩) 大野(忠)	Syncopal episode;MV prolapse and QT prolongation following ISP infusion during HUT
11月30日	66歳、男性	253540	馬淵 平山	Anasarca;elevated PVP, enlarged atrium and LC or LC and elevated PVP, enlarged atrium?
12月 7日	68歳 女性	252742	藤田 中込	Multiple myeloma with refractory pericardial effusion
12月14日	53歳、男性	254248	阿部 池崎G(CCU) 安、谷村(3内) 小林	Lymphadenopathy and hepatomegaly Hemophagocytosis Syndrome?
平成12年1月11日	25歳、女性	253816	木村 平山	CNS Lupus
1月18日	68歳、男性	253495	田近 桜井	Heart Failure and Myocardial Ischemia
2月 1日	39歳、女性	255576	及川 福間	Renal Tubular acidosis and vasospastic angina
2月 8日	46歳、男性	254686	松本 中込	Sleep apnea and CHF, Pickwick?
2月15日	92歳、男性	255545	林 小林	Tachycardia induced cardiomyopathy
2月29日	84歳、女性	254681	松田 福間	P-ANCA(+), RF, VHD, and refractory pleural effusion
3月14日	68歳、女性	257453	館岡 清水(治)	SIADH suspected

CC・CPC

CC と CPC は下記の時間に開かれています。東京近郊にお住まいの方や、地方の方でも東京にお越しの際は、是非御参加下さい。

CC : 毎週火曜日午後 5 時 00 分から

場所 : 第 1 講堂

CPC : 第 4 月曜日午後 4 時 30 分から

場所 : 第 2 臨床講堂

CC

年月日	症例	病歴番号	担当医 司会	診断名
平成12年 4月11日			館岡 清水(秀)	SIADH suspected
4月18日	89歳、女性	258252	加藤(良) 平山	Hypothyroidism associated AV block
5月 9日			吉川 松本	Thrombophlebitis(?) associated with SLE
5月23日			椎葉 古明地	Septic shock and rhabdomyolysis Acute myocarditis with QT prolongation and sustained VT
5月30日	25歳、女性	260194	大野(忠) 中込	FUO
6月 6日	48歳、女性		加藤(浩) 椎葉	Acute adrenal insufficiency Sepsis, Acute myocarditis with sustained VT
6月27日	57歳、男性		坪 福間	Acute myelofibrosis
7月 4日	58歳、男性	261037	石川(昌) 福間	Buerger's disease
9月19日	65歳、男性	262483	村上 中込	Loss of consciousness due to? Hypothyroidism Adrenocortical insufficiency
10月10日	43歳、女性	262570	時田 大村	Clubbed finger associated with purgative abuse IDA
10月24日	65歳、女性	262908	宗像(亮) 藤岡	RARS(refractory anemia with ring sideroblast):MDS
11月28日	51歳、男性	266093	森田 小川(紅)	Brugada syndrome
12月19日	女性	268494	鈴木 福間	PPH & Eisenmenger
平成13年 1月16日	63歳、男性	270207	田近 青木	Acromegalic cardiomyopathy
1月30日	56歳、男性	270535	吉川 松本	Being symmetrical lipomatosis (Madelung's disease) associated with alcoholic LC

年月日	症例	病歴番号	担当医 司会	診断名
2月 6日	53歳、女性	267890	高木 古明地	PSS with cardiac involvement? with sustained VT, VF post-ICD implantation, PBC
2月13日	69歳、女性	269898	金沢 古明地	Latent aortitis synarome(?)
2月20日	67歳、男性	271055	小川 清水(治)	SIADH
2月27日	27歳、男性	270587	山本 青木	Chronic fatigue syndrome
3月13日	74歳、男性	269952	田近 村上	Eosinophilia 3例

平成 12 年度第 1 内科 CPC 症例

年月	病歴番号	年齢 性	受持医	病理医	臨床診断(病理診断)
平成 12 年 4 月	227811	74 歳、女性	古明地 清水(秀)	恩田	LC(typeC), DIC
5 月	251726	74 歳、男性	岩崎 藤岡	岡田	HOCM, pneumonia
6 月	252320	39 歳 男性	石川 福間	川本	Interstitial pneumonia
9 月	(4 科合同)	65 歳 女性	藤田	清水 (章)	Toxoplasmic polyserositis
11 月		83 歳 男性	草間 小林	泰	AMI associated with RF delivery directed at IVC-anatomical TV annulus, Ebstein's anomaly
平成 13 年 1 月	(4 科合同)	85 歳 男性	中山 (3 内)	内藤	ATL, 急性型

*内科 4 科合同 CPC が 1, 4, 7, 10 月の年 4 回行われることになりました。病理医と各科専門医を中心に

討論が行われます。よろしく御出席下さい。また一部の CPC は雑誌「内科」に掲載される予定です。

IX. 学位取得者

氏名	取得年月日	論文名	雑誌名卷頁
葉梨亜矢	11年9月1日	Usefulness of Exercise Thallium-201 Imaging in Evaluation of Low-and High-risk Groups in Coronary Artery Disease Patients with Disappearance of Anginal Episodes by Anti-anginal Drug Therapy	Jpn Heart J 395(5), 597-609, 1998
宮内靖史	11年9月1日	Local slow potential preceding the surface QRS complex detected at the subvalvular mitral annulus in patients with a left-sided concealed accessory pathway: Incidence, electrophysiologic characteristics and the possible mechanism with demonstration of anterograde concealed conduction through the pathway	Eur Heart J 20(13); 1818-1825, 2000
佐藤丞子	11年10月15日	β -Adrenergic Receptor Signalling in Stunned Myocardium of Conscious Pigs	J. Mole Cell Cardiol 29, 1387-1400, 1997
何媛	12年3月6日	閉塞後左室リモデリングにおけるアンジオテンシン変換酵素遺伝子多型性の役割	日医大誌 67(2), 96-104, 2000

学位取得者

氏名	取得年月日	論文名	雑誌名・巻・号・頁
中込 明裕	H12.5.12	Interferon- γ and Lipopolysaccharide Potentiate Monocyte Tissue Factor Induction by C-Reactive Protein Relationship with Age, Sex, and Hormone Replacement Treatment	Circulation 101(15);1785-91, 200.4
川口 直美	H12.7.17	Incidence and Clinical Significance of Junctional Rhythm Remaining After Termination of Radiofrequency Current Delivery in Patient with Atrioventricular Nodal Reentrant Tachycardia	Jpn Circ J 63(11): 865-72, 1999.11
福間 祐美子	H12.9.18	Correlation Between Atrial Natriuretic Peptide and Baroreflex Sensitivity in Patients with Congestive Heart Failure	Jpn Circ J 63(11): 893-9, 1999.11
黒木 伸一	H12.10.18	任意加算システムを用いた心電図QRS微小高周波成分の変動一心室性不整脈と関連性一	日医大誌 68(1);29-36, 2001,2.
上村 竜太	H12.11.9	旧性心筋梗塞における責任冠動脈内圧測定の意義:慢性期左室機能の回復に関与する因子の検討	J Cardiol 3(4);247-55, 2000,4.
佐藤 越	H12.12.14	Site-Specific Integration of an Adeno-Associated Virus Vector Plasmid Mediated by Regulated Expression of Rep. Sampling in Patients with Cushing's Disease	J Virol 74(22); 10631-8, 2000.11
吉田 知永	H12.12.14	Expression of Endothelin-1 After Endothelial Denudation of Thoracic Aortas in Experimental Hypercholesterolemic Rats	J Nippon Med Sch 67(5); 342-51, 2000,10
清水 秀一	H13.1.15	Quantitative Analysis of Termination of Vagaly Induced Canine Atrial Fibrillation by Mutual Information	Jpn Circ J 65(2);111-6, 2001,2
荒尾 正人	H13.1.15	シビリダモール負荷心筋シンチグラフィーにおける洗い出し率の不均一性に関する臨床的検討:冠動脈インターベンション適応判定のための新指標	J Cardiol 36(5);285-93, 2000,11
林 明総	H13.3.17	A Randomized Comparison of Straight Linear Approach with Electrogram Mapping Focal Approach in Selective Slow Pathway Ablation	PACE 24(8): 1187-1197, 2001, 8
八島 正明	H13.3.17	Nicotine increases ventriculoar vulnerability to fibrillation in hearts with healed myocardial infarction	Ame J Physiol 278(6);H2124-33, 2000,6

X. 1999 年度研究業績

(1999.4.1～2000.3.31)

著者名・所属	著書名	図書名	出版社	ページ	年・月
岸田 浩	[分担]無症候性心筋虚血をどう診	心電図の新しい読み方(小沢友紀雄)	中外医薬社	141-5	1999.4
野村敦宣, 松本 真, 加藤貴雄	[分担]T波変動解析(新しい心電図)	心電図の新しい読み方(小沢友紀雄)	中外医薬社	263-7	1999.4
加藤貴雄	[分担]ペースメーカー植込み術の	目でみる循環器病シリーズ11.心臓ペースメーカー・植込み型除細動器(田中茂夫)	メディカルビュー社	43-9	1999.4
宮内靖史	[分担]一時的ペーシングの適応と	目でみる循環器病シリーズ11.心臓ペースメーカー・植込み型除細動器(田中茂夫)	メディカルビュー社	14-23	1999.4
小林義典	[分担]頻脈に対する電気生理学的	目でみる循環器病シリーズ11.心臓ペースメーカー・植込み型除細動器(田中茂夫)	メディカルビュー社	180-9	1999.4
井野 威(多摩永山病院内科)	[分担]心臓電気生理学的ペーシングに必要なEPSについてー	目でみる循環器病シリーズ11.心臓ペースメーカー・植込み型除細動器(田中茂夫)	メディカルビュー社	31-42	1999.4
小倉宏道, 加藤貴雄	[分担]心房・心室頻拍の興奮頻度はどのくらいをいうのか?	不整脈Q&A(沢登 徹)	医薬ジャーナル社	72-3	1999.8
小倉宏道, 加藤貴雄	[分担]実際には再灌流性不整脈はどのような場合に出現しうるか?	不整脈Q&A(沢登 徹)	医薬ジャーナル社	74-5	1999.8
加藤貴雄	[分担]心臓以外の疾患にともなう不整脈は?	不整脈Q&A(沢登 徹)	医薬ジャーナル社	76-7	1999.8
加藤貴雄	[分担]遺伝性疾病に認める不整脈は?	不整脈Q&A(沢登 徹)	医薬ジャーナル社	80-1	1999.8
酒井俊太, 水野杏一 (千葉北総病院内科)	[分担]血管内視鏡	ステント再狭窄(光道和明)	医学書院	49-58	1999.9
水野杏一(千葉北総病院内科)	[分担]血管内視鏡による診断	心臓血管外科の最前線(岡田昌義(監修))	先端医療技術研究所	190-6	1999.9
関山達也, 荒牧琢己	[分担]門脈圧亢進症(第5章 ウィルス性慢性肝疾患の合併症対策)	慢性肝炎・肝硬変・肝癌—新しい展開と診療の実際—(藤原研司)	永井書店	162-70	1999.10
岸田 浩	[分担]心・血管外傷	内科学(杉本恒明, 小俣政男)	朝倉書店	635-6	1999.10
清野精彦	[翻訳・分担]循環器系の概論: 圧、流動、抵抗の医学生理	TEXTBOOK of Medical Physiology (Arthur C. Guyton, John E. Hall)早川弘一 監訳, 清野精彦, 他編)	医学書院	171-8	1999.10
子島 潤(集中治療室)	[翻訳・分担]血管伸展性と動脈系の機能	TEXTBOOK of Medical Physiology (Arthur C. Guyton, John E. Hall)早川弘一 監訳, 清野精彦, 他編)	医学書院	179-87	1999.10
柏木睦美	[翻訳・分担]組織における血流の局所制御とホルモン調節	TEXTBOOK of Medical Physiology (Arthur C. Guyton, John E. Hall)早川弘一 監訳, 清野精彦, 他編)	医学書院	203-9	1999.10
木内 要	[翻訳・分担]循環の神経性調節と急速な血圧調節	TEXTBOOK of Medical Physiology (Arthur C. Guyton, John E. Hall)早川弘一 監訳, 清野精彦, 他編)	医学書院	213-22	1999.10

著者名・所属	著書名	図書名	出版社	ページ	年・月
鈴木 健(多摩永山病院内科)	[翻訳・分担]動脈圧の長期調節と高血圧症における腎臓の主要な役割:圧調節のための統括システム	TEXTBOOK of Medical Physiology (Arthur C. Guyton, John E. Hall)早川弘一 監訳, 清野精彦, 他編)	医学書院	225-40	1999.10
雪吹周生(多摩永山病院内科)	[翻訳・分担]心拍出量, 静脈還流, およびその調節	TEXTBOOK of Medical Physiology (Arthur C. Guyton, John E. Hall)早川弘一 監訳, 清野精彦, 他編)	医学書院	241-54	1999.10
塚本 浩	[翻訳・分担]運動中の筋血流量と心拍出量:冠循環と虚血性心疾患	TEXTBOOK of Medical Physiology (Arthur C. Guyton, John E. Hall)早川弘一 監訳, 清野精彦, 他編)	医学書院	255-64	1999.10
高田加寿子	[翻訳・分担]心不全	TEXTBOOK of Medical Physiology (Arthur C. Guyton, John E. Hall)早川弘一 監訳, 清野精彦, 他編)	医学書院	267-74	1999.10
水野杏一(千葉北総病院内科)	[分担]動脈硬化の臨床診断 血管内視鏡	図表でとらえる高脂血症・動脈硬化(松澤佑次(監修))	朝日新聞社	72-3	1999.10
水野杏一(千葉北総病院内科)	[分担]血管造影所見と臨床疫学	粥状動脈硬化症Plaqueの成り立ちと修復(斎藤 康(企画・構成))	メディカルビュー社	85-9	1999.10
鈴木 健(多摩永山病院内科)	[分担]動脈圧の長期調節と高血圧症における腎臓の主要な役割:圧調節のための統括システム	ガイドンス臨床生理学(早川弘一)	医学書院	225-40	1999.10
雪吹周生(多摩永山病院内科)	[分担]心拍出量, 静脈還流, およびその調節	ガイドンス臨床生理学(早川弘一)	医学書院	241-53	1999.10
岸田 浩	[分担]無症候性心筋虚血の治療(A. 狹心症・心筋梗塞に対する治療成績のEvidence)	プラクティカル内科シリーズ8 狹心症・心筋梗塞—治療戦略へのアプローチと長期管理		109-12	1999.11
横山真也, 水野杏一(千葉北総病院内科)	[分担]血管内エコー, 血管内視鏡	狭心症・心筋梗塞—治療戦略へのアプローチと長期管理—(プラクティカル内科)(山口 徹(編))	南江堂	66-70	1999.11
清野精彦, 佐藤直樹, 岸田 浩	[分担]Ca拮抗薬の心不全治療に対する大規模介入試験と長期予後(III.心不全)	Ca拮抗薬のすべて(猿田享男, 他)	先端医学社	312-8	1999.1
齋藤寛和(第二病院内科)	[分担]一般療法	不整脈診療実践マニュアル(井上 博)	文光堂	49-53	1999.1
平山悦之, 新 博次	[分担]抗不整脈治療の基本(C. 抗不整脈薬)	不整脈診療実践マニュアル(井上 博)	文光堂	53-62	1999.1
平山悦之, 新 博次	[分担]併用療法	不整脈診療実践マニュアル(井上 博)	文光堂	103-11	1999.1
平山悦之, 新 博次	[分担]心房細動と塞栓症	不整脈診療実践マニュアル(井上 博)	文光堂	174-80	1999.1
平山悦之, 新 博次	[分担]抗不整脈一覧	不整脈診療実践マニュアル(井上 博)	文光堂	305-7	1999.1
木内 要, 高野照夫	[分担]知っておきたいショックの新たな診療	心原性ショック(小川 龍)	真興交易医書出版部	104-17	1999.1
高野照夫, 木内 要	[分担]救急診療のプリンシブル 急性心・肺機能不全	新女性医学大系8 産婦人科救急(武谷 雄二総編集)	中山書店	48-62	1999.1
加藤貴雄	[分担]ホルター心電図法	不整脈(比江嶋一昌)	日本医事新報社	53-62	1999
長澤紘一, 中込明裕(多摩永山病院内科)	[分担]昇圧薬	医薬品「使用上の注意」の解説 循環器官用薬II		267-301	2000.1

著者名・所属	著書名	図書名	出版社	ページ	年・月
木内 要, 高野照夫	【分担】心筋梗塞に伴う低血圧とショック	循環器疾患 最新の治療2000-2001(篠山重成, 矢崎義雄)	南江堂	16-19	2000.2
加藤貴雄	【分担】不整脈治療薬の薬理作用	循環器疾患 最新の治療2000-2001(篠山重成, 矢崎義雄)	南江堂	310-3	2000.2
木内 要	【分担】病態生理と薬効薬理から処方せんを見る	循環器疾患の病態生理	日本薬剤師研修センター	3-37	2000.2
清野精彦, 福本裕子, 柏木聰美	【分担】大動脈・末梢血管疾患	認定医・専門医のための内科学 レビュー-2000(酒井 紀, 他)	総合医学社	64-8	2000.2
齋藤寛和 ¹⁾ , 新 博次 (¹⁾ 第二病院内科)	【分担】不整脈	認定医・専門医のための内科学 レビュー	総合医学社	36-40	2000.2
長澤鉄一, 中込明裕 (多摩永山病院内科)	【分担】昇圧薬	循環器官用薬	株式会社ミクス	267-306	2000.2
木内 要, 加藤貴雄	【分担】標準集中治療医学	心血管作用薬(天羽敬祐)	真興交易医書出版部	64-68	2000
小林義典, 新 博次 ¹⁾ (¹⁾ 多摩永山病院内科)	【分担】電気生理学的検査法	Practical Seminar 不整脈 第2版(比江嶋一昌)	日本医事新報社	65-73	2000.3
田中啓治(千葉北総病 院集中治療部)	【分担】心筋梗塞の経過と精神症 状	虚血性心疾患患者の精神症状 ~その理解と対応(黒沢 尚)	ヘルス出版	3-5	2000.3

著者名	タイトル	雑誌名	巻	ページ	年
Ohkura M, Furukawa K, Fujimori H, Kuruma A, Kawano S, Hiraoka M, Kuniyasu A, Nakayama H, Ohsumi Y	(原著)Dual regulation of the skeletal muscle ryanodine receptor by triadin and calsequestrin.	Biochemistry	37 (37)	12987 ~ 12993	1998. 9
Kitayama H ¹ , Kiuchi K, Nejima J, Katoh T, Takano T, Hayakawa H (¹ Department of Psychiatrics,Kennan Hospital,Miyazaki)	(原著)Long-term treatment with antipsychotic drugs in conventional doses prolonged QTc dispersion, but did not increase ventricular tachyarrhythmias in patients with schizophrenia in the absence of cardiac disease	Eur J Clin Pharmacol	55 ()	259 ~ 262	1999. 1
Ohno N, Saitoh H, Iwasaki Y, Ogara K, Matsumoto S, Nomura A, Kobayashi Y, Atarashi H, Katoh T, Kishida H, Hayakawa H	(総説)Temporal Fluctuation of T Wave:Comparison between T Wave Alternans and QT Variability Index	Ther Res	20 (2)	27 ~ 31	1999. 2
Nagano T, Sato R ¹ , Matsuda H, Aramaki T (¹ Department of Molecular Pharmacology and Biological Chemistry, Northwestern University Medical School)	(原著)Evidence for norepinephrine-activated Ca ²⁺ permeable channels in guinea-pig hepatocytes using a patch clamp technique	J Nippon Med Sch	66 (2)	127 ~ 133	1999. 4
Kim SJ ¹ , Yatani A ¹ , Vatner DE ¹ , Yamamoto S ¹ , Ishikawa Y ¹ , Wagner TE ² , Shannon RP ¹ , Kim YK ¹ , Takagi G ¹ , Asai K ¹ , et al (¹ Cardiovascular & Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences, Pittsburgh, ² Department of Molecular Medicine, Clemson University & the Greenville Hospital System/Clemson University Biomedical Cooperative, Greenville, South Carolina)	(原著)Differential regulation of inotropy and lusitropy in overexpressed Gsa myocytes through cAMP and C ²⁺ channel pathways.	J Clin Invest	103 (7)	1089 ~ 1097	1999. 4
Meguro T ¹ , Hong C ¹ , Asai K ¹ , Takagi G ¹ , McKinsey TA ² , Olson EN ² , Vatner SF ¹ (¹ Cardiovascular and Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences, Pittsburgh, Pennsylvania, ² University of Texas Southwestern Medical Center at Dallas, Department of Molecular Biology and Oncology, Dallas, Texas)	(原著)Cyclosporine attenuates Pressure-overload Hypertrophy in mice While enhancing susceptibility to decompensation and heart failure.	Cir Res	84 (4)	735 ~ 740	1999. 4
Yamamoto M, Okumura S, Schwencke C, Sadoshima J, Ishikawa Y (Cardiovascular & Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences, Pittsburgh, PA)	(原著)High efficiency gene transfer by multiple transfection protocol	Histochem J	31 (4)	241 ~ 243	1999. 4

著者名	タイトル	雑誌名	巻	ページ	年
Kuniyasu A ¹ , Kawano S ² , Hirayama Y ² , JI YH ³ , XU K ³ , et al ("Faculty of Pharmaceutical Science, Kumamoto University, ² Department of Cardiovascular Diseases, Medical Research Institute, Tokyo Medical and Dental University, ³ Shanghai Institute of Physiology, Academia Sinica)	(原著)A new scorpion toxin(BmI-PL) stimulates Ca ²⁺ -release channel activity of the skeletal-muscle ryanodine receptor by an indirect mechanism	Biochem J	399 ()	343 ~ 350	1999. 4
Yashima M, Hamzei A, Favelyukis M, Park A, Kim YH, Mandel WJ, Chen PS, Karagueuzian HS (Department of Medicine, Cedars-Sinai Research Institute, Los Angeles)	(原著)Nicotine increases Spatiotemporal Complexity of Ventricular Fibrillation Wavefront on the Epicardial Border Zone of Healed Canine Infarcts	Cardiovasc Pharmacol Ther	4 (2)	121 ~ 127	1999. 4
Kobayashi Y, Hayashi M, Miyauchi Y, Kawaguchi N, Ogura H, Saitoh H, Ino T, Atarashi H, Kishida H, Hayakawa H	(原著)Uncommon Atrial Flutter Originating in the Left Atrioventricular Groove-Emergence After Successful Catheter Ablation for a Left Concealed Accessory Pathway-	Jpn Circ J	63 (5)	416 ~ 420	1999. 5
Sato N, Asai K, Okumura S, Takagi G, Shannon RP, et al (Cardiovascular and Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Science, Pittsburgh, Pennsylvania)	(原著)Mechanisms of desensitization to a PDE inhibitor(milrinone) in conscious dogs with heart failure.	Am J Physiol	276 (5)	699 ~ 705	1999. 5
Xuan YT, Tang XI, Banerjee S, Takano H, Li RC, et al (Division of Cardiology, University of Louisville)	(原著)Nuclear factor-kappaB plays an essential role in the late phase of ischemic preconditioning in conscious rabbits	Circ Res	84 (9)	1095 ~ 1109	1999. 5
Schwencke C, Yamamoto M, Okumura S, Toya Y, Kim S-J, Ishikawa Y (Cardiovascular & Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences, Pittsburgh, PA)	(原著)Compartmentation of cyclic adenosine 3',5'-monophosphate signaling in caveolae.	Mol Endocrinol	13 (7)	1061 ~ 1070	1999. 6
Immenschuh S ¹ , Stritzke J ¹ , Iwahara S ² , Ramadori G ¹ (¹ Georg-August-Universitat Gottingen, ² The Cardiovascular Center, Ebina General Hospital, Ebina)	(原著)Up-regulation of heme-binding protein 23(HBP23) gene expression by lipopolysaccharide is mediated via a nitric oxide-dependent signaling pathway in cells.	Hepatology	30 (1)	118 ~ 127	1999. 7
Aramaki T	(原著)Diagnosis and Treatment of Autoimmune Hepatitis	Asian Med J	42 (8)	349 ~ 355	1999. 8

著者名	タイトル	雑誌名	巻	ページ	年
Arao M, Shimizu S, Miyatake Y, Setsuta K (The Department of Cardiology, Tokyo Metropolitan Komagome Hospital, Tokyo)	(原著)An Autopsy Case of Familial Idiopathic Dilatation of Bilateral Atria	Intern Med	38 (8)	663 ~ 667	1999. 8
Jones WK, Flaherty MP, Tang XL, Takano H, Qiu Y, Banerjee S, Smith T, Bolli R (Division of Cardiology, University of Louisville)	(原著)Ischemic preconditioning increases iNOS transcript levels in conscious rabbits via a nitric oxide-dependent mechanism	J Mol Cell Cardiol	31 (8)	1469 ~ 1481	1999. 8
Setsuta K ¹ , Seino Y, Takahashi N, Ogawa T ² , Sakai K ¹ , Harada A ¹ , Takano T, Kishida H, Hayakawa H (¹ Ebina General Hospital, ² Hakujikai Memorial Hospital)	(原著)Clinical Significance of Elevated Levels of Cardiac Troponin T in Patients With Chronic Heart Failure	Am J Cardiol	84 ()	608 ~ 611	1999. 9
Ping P, Zhang J, Zheng YT, Li RC, Dawn B, Tang XL, Takano H, Balafanova Z, Bolli R (Division of Cardiology, University of Louisville)	(原著)Demonstration of selective protein kinase C-dependent activation of Src and Lck tyrosine Kinases during ischemic preconditioning in conscious rabbits.	Circ Res	85 (6)	542 ~ 550	1999. 9
Rizvi A, Tang XL, Qiu Y, Xuan YT, Takano H, Jadoon AK, Bolli R (Division of Cardiology, University of Louisville)	(原著)Increased protein synthesis is necessary for the development of late preconditioning against myocardial stunning	Am J Physiol. pt 2)	277 ((3))	874 ~ 884	1999. 9
Kim YH, Xie F, Yashima M, Wu TJ, Valderrabano M, Lee MH, Ohara T, et al (Division of Cardiology, Department of Medicine, Cedars-Sinai Medical Center, UCLA School of Medicine)	(原著)Role of papillary muscle in the generation and maintenance of reentry during ventricular tachycardia and fibrillation in isolated swine right ventricle	Circulation	100 (13)	1450 ~ 1459	1999. 9
Schwencke C, Okumura S, Yamamoto M, Geng YJ, Ishikawa Y (Cardiovascular & Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences, Pittsburgh, PA)	(原著)Colocalization of β -adrenergic receptors and caveolin within the plasma membrane.	J Cell Biochem	75 (10)	64 ~ 72	1999. 1
Kawaguchi N, Kobayashi Y, Miyauchi Y, Atarashi H, Takano T, Hayakawa H (Intensive and Coronary Care Unit)	(原著)Incidence and Clinical Significance of Junctional Rhythm Remaining After Termination of Radiofrequency Current Delivery in Patients With Atrioventricular Nodal Reentrant Tachycardia	Jpn Circ J	63 (11)	865 ~ 872	1999. 11
Kiuchi K ¹ , Nejima J, Kikuchi A, Takayama M, Takano T, Hayakawa H (Intensive and Coronary Care Unit)	(原著)Left coronary artery-left ventricular fistula with acute myocardial infarction, representing the coronary steal phenomenon.	J Cardiol	34 ()	279 ~ 284	1999. 11

著者名	タイトル	雑誌名	巻	ページ	年
Miyauchi Y, Kobayashi Y, Ino T, Atarashi H	(原著)Local slow potential preceding the surface QRS complex detected at the subvalvular mitral annulus in patients with a left-sided concealed accessory pathway-Incidence, electrophysiological characteristics and the possible mechanism,with demonstration of anterograde concealed conduction through the pathway-	Eur Heart J	20 (24)	1818 ~ 1825	1999. 12
Shinmura K, Tang XL, Takano H, Hill M, Billi R (Division of Cardiology, University of Louisville)	(原著)Nitric oxide donors attenuate myocardial stunning in conscious rabbits.	Am J Physiol	277 ((6 pt 2))	2495 ~ 2503	1999. 12
Banerjee S, Tang XL, Qui Y, Takano H, Manchikalapudi S, Dawn B, Shirk G, Bolli R (Division of Cardiology, Universtiy of Louisville)	(原著)Nitroglycerin induces late preconditioning against myocardial stunning via a PKC-dependent pathway.	Am J Physiol	277 ((6 pt 2))	2488 ~ 2494	1999. 12
Dawn B, Xuan YT, Qiu Y, Takano H, Tang XL, Ping P, Banerjee S, Hill M, Bolli R (Division of Cardiology, University of Louisville)	(原著)Bifunctional role of Protein tyrosine kinases in late preconditioning against myocardial stunning in conscious rabbits.	Circ Res	85 (12)	1154 ~ 1163	1999. 12
Yamamoto M, Okumura S, Oka N, Schwencke C, Ishikawa Y (Cardiovascular & Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Science)	(原著)Downregulation of carveolin expression by cAMP signal	Life Sci	64 (1349 ~ 1357	1999
Couderc JP, Nomura A, Zareba W, Moss AJ (Universitu of Rochester, Rochester, NY)	(原著)Heterogeneity of Ventricular Repolarization Morphology Measured using Orthogonal Time-scale Decomposition of the Surface ECG	Computers in Cardiology	26 (61 ~ 64	1999
Kotani E ¹ , Kiuchi K ¹ , Takayama M, Takano T, Tabata M, Aramaki T, et al (¹ Coronary and Intensive Care Unit)	(原著)Effectiveness of transcoronary chemoembolization for metastatic right ventricular tumor derived from hepatocellular carcinoma	Chest	117 (287 ~ 289	2000. 1
Sai KY, Uchikawa Y, Kotani M, Ohmura K, Mizuno K (千葉北総病院 内科)	(原著)MCG measurement using a high-Tc SQUID in patients with inferior infarction	Applied Superconductivity Research Laboratory	0	53 ~ 56	2000. 1

著者名	タイトル	雑誌名	巻	ページ	年
Endo T, Katoh T, Kiuchi K, Katsuta Y, Shimizu S, Takano T	(原著)Famotidine and acquired long QT syndrome	Am J Med	108 ()	438 ~ 439	2000.
Saitoh T, Kishida H, Tsukada Y, Fukuma Y, Sano J, Yasutake M, Fukuma N, Kusama Y, Hayakawa H	(原著)Clinical Significance of Increased Plasma Concentration of Macrophage Colony-Stimulating Factor in Patients With Angina Pectoris	JACC	35 (3)	655 ~ 665	2000.
Kiuchi K	(原著)Letters to the editor	J Cardiol	35 ()	233 ~ 234	2000.
水野杏一, 酒井俊太, 稲見茂信, 横山真也, 大場崇芳, 大村和子, 松本真, 小倉宏道, 富村正登, 田邊潤, 他 (千葉北総病院内科)	(原著)血管内視鏡による急性冠症候群の治療戦略	Tokyo Heart Journal	XIX (2)	2 ~ 4	1999.
磯田菊生, 里村公生, 亀沢康里, 村公生裕, 水野杏一, 他 (千葉北総病院内科)	(原著)血管内視鏡における黄色plaqueと白色plaqueの病理学的検討	循環器科	45 (2)	197 ~ 201	1999.
宮本明, 水野杏一 (千葉北総病院内科)	(原著)血管内視鏡によるvulnerable plaqueの定量的評価の試み	循環器科	45 (2)	202 ~ 207	1999.
水野杏一 (千葉北総病院内科)	(総説)心血管内イメージングの最前线	日医師会誌	122 (2)	306 ~ 307	1999.
福間長知, 及川恵子, 馬淵浩輔, 松田裕之, 富村正登, 福間祐美子, 佐野純子, 斎藤勉, 宗像一雄, 岸田浩, 早川弘一	(総説)Phenylephrine法により測定された圧受容体反射感受性と運動負荷試験成績との関係	Ther Res	20 (2)	33 ~ 36	1999.
加藤貴雄	(総説)塩酸ニフェカラント	新しい治療薬のポイント 2000前期	12 ()	55 ~ 56	1999.
子島潤	(総説)経口強心薬	HEART nursing	12 (3)	97 ~ 104	1999.
酒井俊太, 水野杏一, 稲見茂信, 岡松健太郎, 横山真也, 大国眞一, 今泉孝敬, 富田喜文, 草間茂樹, 高山守正, 宗像一雄, 高野照夫, 岸田浩, 早川弘一 (千葉北総病院内科)	(原著)急性心筋梗塞に対するprimary stentingの血管内視鏡所見	Jpn J Interv Cardiol	14 (4)	339 ~ 346	1999.

著者名	タイトル	雑誌名	巻	ページ	年
野村敦宣, 斎藤寛和, 新 博次, 早川 弘一	(原著)洞徐脈症例の脳虚血症状へのα交感神経異常の寄与—薬理学的自律神経検査による検討	日医大誌	66 (2)	119 ~ 126	1999. 4
松田裕之, 田中啓治, 清宮康嗣, 今泉 孝敬 (千葉北総病院集中治療部)	(原著)PCPSの有効性の評価と血液浄化法という新たな治療戦略の検討	医工学治療	11 (4)	612 ~ 616	1999. 4
水野杏一 (千葉北総病院内科)	(総説)経皮的冠動脈再建術におけるGIIb/IIIaインヒビターと低用量ヘパリン	血栓と循環	17 (4)	67(431) ~ 68(432)	1999. 4
酒井俊太, 水野杏一 (千葉北総病院 内科)	(総説)ステント植え込み術後の抗血小板療法:アスピリン, チクロピジンおよび両者併用療法の効果の比較検討	血栓と循環	17 (4)	115(47) ~ 116(48)	1999. 4
加藤貴雄, 早川弘一	(総説)不整脈用語解説—65. 緊急一時的ペーシング	Pharma Medica	17 (4)	214 ~ 219	1999. 4
新 博次	(総説)酢酸フレカニド(タンボコールR)	臨床麻酔	23 (4)	718 ~ 719	1999. 4
斎藤寛和, 早川弘一	(総説)T波変動解析	総合臨牀	48 (4)	625 ~ 632	1999. 4
小野卓哉, 加藤貴雄	(総説)ムスカリ受容体遮断薬の薬理と使い分け	PTM	10 ((1(8)))	~	1999. 4
斎藤寛和	(総説)リン酸ジソピラミド静注による発作性心房細動の停止	PTM	10 ((1(6)))	~	1999. 4
関山達也, 長戸孝道, 清水秀治, 古明地弘和, 長野具雄, 張 雪君, 尹 明美, 大須賀 勝, 寺田秀人, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 他	(総説)慢性肝疾患患者における頭部MRI T1強調画像淡蒼球高信号の病態	薬理と治療	27 ()	41 ~ 46	1999. 4
荒牧琢己	(総説)腹水	日医師会誌	121 (8)	46 ~ 51	1999. 4

著者名	タイトル	雑誌名	巻	ページ	年
新 博次	(総説)クラス I 群薬の有用性<テーマⅡ「抗不整脈の有用性と問題点」>	循環器科	45 (4)	392 ~ 392	1999. 4
齋藤寛和 (第二病院内科)	(総説)なぜ失神するのか	Cardiologist	4 (11)	790 ~ 795	1999. 4
上村竜太, 高野照夫	(総説)知っておきたい補助循環 IABP	Heart View	3 (4)	368 ~ 372	1999. 4
張 雪君, 清水秀治, 長野具雄, 古明 地弘和, 大須賀 勝, 寺田秀人, 関山 達也, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己	(原著)Portopulmonary hypertension の自験例における血行動態的特徴	日門亢会誌	()	67 ~ 72	1999. 5
新 博次	(総説)心房細動の薬物療法・抗凝固療法治療—最近の知見—	医学のあゆみ	189 (5)	364 ~ 369	1999. 5
緒方憲一, 加藤貴雄	(総説)T wave alternans	医学のあゆみ	189 (5)	293 ~ 297	1999. 5
加藤貴雄, 斎藤寛和, 大野則彦, 立野政雄 ¹ , 中村幹 ¹ , 田頭勲 ¹ , 小林真一 ² , 長澤紘一 ³ (新座志木中央総合病院臨床薬理センター, ² 聖マリアンナ医科大学薬理学教室, ³ 多摩永山病院内科)	(総説)モサブリドの健常成人における薬物相互作用に関する臨床薬理試験—モサブリド単独およびエリスロマイシン併用時の心電図, 薬物動態に及ぼす影響—	臨床医薬	15 (5)	753 ~ 763	1999. 5
勝田悌実, 荒牧琢己	(総説)肝性浮腫(特集: 見逃してはいけない浮腫)	臨床と薬物治療	18 (5)	446 ~ 449	1999. 5
荒牧琢己	(総説)肝疾患と臥床安静	Medical Practice	16 (5)	849 ~ 849	1999. 5
岸田輝幸, 徳山権一, 小林義典, 吉村明修, 恩田宗彦, 若林一二, 山中宣昭, 清野精彦, 葉山修陽, 田村浩一, 岸田 浩, 荒牧琢己	(総説)慢性腎不全に心肥大・徐脈を合併し入院精査中、腸間膜脂肪織炎を発症した1例	内科	83 (5)	939 ~ 949	1999. 5
高野雅充, 水野杏一 (千葉北総病院内科)	(総説)Acute coronary syndromeの内視鏡所見	循環器科	46 (6)	543 ~ 548	1999. 6

著者名	タイトル	雑誌名	巻	ページ	年
田中啓治, 磯田麻里 (千葉北総病院集中治療部)	(総説)ICU領域におけるカテコラミン製剤の使い方	Pharma Medica	17 (6)	99 ~ 104	1999. 6
水野杏一 (千葉北総病院内科)	(総説)急性冠症候群の抗血栓療法	心臓	31 (7)	561 ~ 562	1999. 7
清水秀一, 小林義典, 宮内靖史, 川口直美, 斎藤寛和, 新博次, 加藤貴雄, 高野照夫, 早川弘一	(原著)早期興奮時における時間的および空間的再分極不均一性の增大—单一早期刺激と二連続早期刺激の比較—	心電図	19 (4)	351 ~ 361	1999. 7
大野忠明, 田寺長, 山中博之, 鈴木健, 長澤紘一 (多摩永山病院内科)	(原著)HAMA (human anti-murine antibodies)によりCA19-9, CA125, SCC, TSH, FT₄, およびFT₃に異常値をきたし, 診断に困窮した健常者	内科	84 (1)	197 ~ 199	1999. 7
斎藤寛和, 岩崎雄樹	(総説)ホルター心電図の読み方(今月の主題 不整脈患者のマネジメント病歴から検査まで)	medicina	36 (7)	1091 ~ 1096	1999. 7
片山泰朗, 安恵美, 塙和夫, 杉原仁, 清野精彦, 岸田輝幸, 荒牧琢己, 工藤翔二, 若林一二, 杉崎祐一, 田村浩一	(総説)高度の鉄過剰症を伴う貧血に糖尿病、下垂体機能低下症、心不全を合併した症例	内科	84 (1)	152 ~ 161	1999. 7
酒井俊太 ¹⁾ , 水野杏一 ¹⁾ , 稲見茂信 ¹⁾ , 岡松健太郎 ¹⁾ , 横山真也 ¹⁾ , 大國眞一 ¹⁾ , 今泉孝敬 ¹⁾ , 富田喜文 ¹⁾ , 草間芳樹 ¹⁾ , 高山守見 ¹⁾ , 正宗像一雄 ²⁾ , 高野照夫 ²⁾ , 岸田浩一 ²⁾ , 早川弘一 ²⁾ ("千葉北総病院内科・集中治療室)	(原著)急性心筋梗塞に対するprimary stenting の血管内視鏡所見	Jpn J Interv Cardiol	14 (4)	338 ~ 345	1999. 8
新博次	(総説)心房細動の診療の進めかた	Medical Practice	16 (8)	1279 ~ 1282	1999. 8
加藤貴雄	(総説)アミオダロン・ソタロールの適応と使用上の注意	Medical Practice	16 (8)	1295 ~ 1299	1999. 8
荒牧琢己, 清水秀治	(総説)肝疾患に運動療法の実際 (特集:成人病の運動療法・運動指導—その実際)	臨床成人病	29 (8)	1071 ~ 1075	1999. 8

著者名	タイトル	雑誌名	巻	ページ	年
小林義典, 相澤瑞穂, 森田典成, 岩崎 雄樹, 林 明聰, 宮内靖史, 斎藤寛和, 新 博次, 加藤貴雄, 早川弘一, 川口 直美 ¹⁾ , 高野照夫 ¹⁾ (¹⁾ 集中治療室)	(総説)心筋梗塞急性期に出現する心房細動の発生背景因子と薬物療法	循環器科	46 (2)	207 ~ 211	1999.
斎藤寛和 (第二病院内科)	(総説)虚血性心疾患, 心臓突然死, 不整脈にみられる生体リズム	日医会誌	122 (3)	415 ~ 419	1999.
小倉宏道, 水野杏一 (千葉北総病院 内科)	(総説)高齢者虚血性心疾患に対する冠動脈インターベンション治療の成績 狹心症の心電図診断	救急医学	23 (9)	1007 ~ 1009	1999.
水野杏一 (千葉北総病院内科)	(総説)プラーカの破綻と急性冠症候群	臨床医学	25 (9)	2.0486 11111 ~ 25:163	1999. 9
泰江弘文, 奥村 博, 水野杏一, 百村 伸一 (千葉北総病院内科)	(総説)β遮断薬の心臓保護作用	Prog Med	19 (9)	2087 ~ 2094	1999. 9
岸田 浩	(総説)狭心症と無症候性心筋虚血の薬物療法(狭心症と無症候性心筋虚血)	診断と治療	87 (9)	1556 ~ 1562	1999. 9
加藤貴雄	(総説)QT延長症候群の背景因子とそれに対する注意(特集:QT延長症候群はどう捉えれば良いのか?)	Cardiologis t	4 (9)	647 ~ 655	1999. 9
岸田 浩	(総説)無症候性心筋虚血の診断と治療	心臓	31 (9)	688 ~ 689	1999. 9
高山守正 ¹⁾ , 中村 泰 ²⁾ , 村上幹高 ³⁾ , 林 田憲明 ⁴⁾ , 田村 勤 ⁵⁾ , 高野照夫、他 (¹⁾ 集中治療室、 ²⁾ 順天堂大学医学部付属順天堂医院、 ³⁾ 昭和大学病院、 ⁴⁾ 聖路加国際病院、 ⁵⁾ 三井記念病院、他)	(総説)東京都CCUネットワークの活動状況	Ther Res	20 (9)	2555 ~ 2559	1999. 9
木内 要, 高野照夫	(総説)急性疾患とエマージェンシー:急性心不全	救急医学	23 ()	1239 ~ 1242	1999. 9

著者名	タイトル	雑誌名	巻	ページ	年
高山守正	(総説)不安定狭心症の治療	救急医学	23 (9)	1028 ～ 1031	1999. 9
田中啓治, 加藤浩司, 木村祐子 (千葉北総病院集中治療部)	(総説)新しい脚ブロックの出現	救急医学	23 (9)	1094 ～ 1095	1999. 9
木内 要, 高野照夫	(総説)系統別にみた急性疾患の診断と初期治療: 急性心不全: 急性疾患とエマージェンシー	救急医学	23 (9)	1239 ～ 1242	1999. 9
田島廣之 ¹⁾ , 限崎達夫 ¹⁾ , 川俣博志 ¹⁾ , 高橋修司 ¹⁾ , 後藤慎介 ¹⁾ , 岡島雄史 ¹⁾ , 市川和雄 ¹⁾ , 高山守正, 高野照夫 (¹⁾ 放射線科)	(総説)急性肺血栓塞栓症に対する Interventional Radiologyの進歩	脈管学	39 (9)	475 ～ 479	1999. 9
新 博次	(総説)不整脈と脳血管障害(—臨床医のために—)	日医大誌	66 (5)	343 ～ 345	1999. 1
荒牧琢己	(総説)ヘモクロマトーシス	日医師会誌	122 (8)	207 ～ 209	1999. 1
岸田 浩, 馬淵浩輔, 富村正登	(総説)概日リズムと虚血性心疾患 (特集: 概日リズムと循環器疾患)	循環器科	46 (0)	382 ～ 389	1999. 1
新 博次	(総説)非弁膜性心房細動の機序と薬物療法	日循協誌	34 (3)	224 ～ 233	1999. 1
清野精彦, 池田真人, 吳 小怡, 柏木 瞳美	(総説)トロポニンT, ミオグロビン, ミオシン軽鎖, 心筋型脂肪酸結合蛋白	medicina	36 (11)	276 ～ 278	1999. 1
藤田信輔, 壬生倉徹志, 長澤紘一 (多摩永山病院内科)	(総説)アンジオテンシン受容体・(AT1, AT2)拮抗薬の薬理作用	医薬ジャーナル	35 (10)	2533 ～ 2539	1999. 1
田中啓治, 森山 岳, 松田裕之 (千葉北総病院集中治療部)	(総説)補助循環を行っている急性心筋梗塞	救急医学	23 (11)	1609 ～ 1611	1999. 1
宮本 明, Abela GS, 水野杏一 (千葉北総病院内科)	(原著)血管内視鏡による易破綻性 プラークの定量的評価の試み	脈管学	39 (11)	747 ～ 750	1999. 11

著者名	タイトル	雑誌名	巻	ページ	年
加藤貴雄	(総説)植え込み型除細動装置の適応と注意(特集:不整脈治療の最近の動向—こわい不整脈とこわくない不整脈)	臨床成人病	29 (11)	1499 ~ 1505	1999. 11
加藤貴雄	(総説)急性心不全に伴う心室性不整脈の薬物療法に何を選ぶか? A. I郡葉(特集:Critical Care領域におけるControversy)	集中治療	11 (11)	1111 ~ 1117	1999. 11
加藤貴雄	(総説)Sicilian Gambit	臨床医	25 (11)	2054 ~ 2056	1999. 11
岸田 浩	(総説)ホルター心電図の意義と応用	検査と技術	27 (12)	1418 ~ 1419	1999. 11
新 博次	(総説)心房細動に対する治療のポイント	Heart View	3 (11)	1156 ~ 1159	1999. 11
安武正弘, 高野照夫	(総説)不安定狭心症のインターベンション	Pharma Medical	11 (17)	41 ~ 46	1999. 11
酒井俊太, 水野杏一, 大国眞一, 稲見茂信, 横山真也, 大場崇芳, 松本 真, 富村正登, 大村和子, 他(千葉北総病院内科)(千葉北総病院内科)	(原著)冠動脈内視鏡を治療戦略ガイドとして用いたカテーテルインターベンション	脈管学	39 (12)	805 ~ 810	1999. 12
金 桂淑, 森田典成, 新 博次, 遠藤康実, 小林義典, 斎藤寛和, 岸田 浩, 早川弘一	(原著)期外収縮におけるQT dispersion一心房, 心室早期刺激による検討	日医大誌	66 (6)	388 ~ 394	1999. 12
水野杏一(千葉北総病院内科)	(総説)抗血小板療法, 抗トロンビン療法	Heart View	3 (12)	77(131 3) ~ 81(131 7)	1999. 12
岩原信一郎, 福田直人, 横山真也, 坪宏一, 高野雅充, 小林明芳, 原田 厚(海老名総合病院附属東循環器センター)	(総説)橈骨動脈より行う心臓カテーテル検査	日医大誌	66 (6)	395 ~ 397	1999. 12
中込明裕, 清野精彦	(総説)全身性硬化症におけるレイノー現象に対するiloprost静注療法の有効性に関する検討(特集:データブック 血栓症の大規模臨床試験)	血栓と循環	7 (4)	178 ~ 179	1999. 12

著者名	タイトル	雑誌名	巻	ページ	年
笠神康平, 高山守正	(総説)冠動脈造影(虚血性心疾患の診断の実際)	Medical Practice	16 (12)	1977 ~ 1985	1999. 12
岸田 浩	(総説)無症候性虚血性心疾患	Medical Practice	16 (12)	2031 ~ 2034	1999. 12
宮内靖史, 小林義典, 相澤瑞穂, 阿部 純子, 岩崎雄樹, 森田典成, 林 明聰, 大野則彦, 高山英男, 八島正明, 斎藤 寛和, 新 博次	(総説)通電局所にて斜走副伝導路の潜伏性順行伝導の電位が記録された潜在性WPW症候群の1例	心臓	31 (5)	61 ~ 70	1999. 12
新 博次	(総説)心房粗動の診断と治療	総合臨床	48 (12)	2903 ~ 2904	1999. 12
佐藤直樹, 高野照夫	(総説)処置・治療の実際 循環器救急	今月の治療	7 ((臨時増刊号))	S49 ~ S56	1999. 12
高山守正	(総説)推薦処方とその解説 急性心筋梗塞	今月の治療	7 ((臨時増刊号))	S139 ~ S143	1999. 12
青木 昭子 ¹⁾ , 大田祥一 ¹⁾ , 濱沼昭子 ¹⁾ , 服部英明 ¹⁾ , 宮崎秀健 ¹⁾ , 畠 典武 ²⁾ (国立横須賀病院内科, ²⁾ 同循環器科)	(総説)大量の心嚢水貯留を合併した甲状腺機能低下症(粘液水腫)の1例	現代医療	31 ((増II))	140 ~ 141	1999
佐野純子, 斎藤寛和, 小林義典, 池田 真人, 小谷英太郎, 高山守正, 岸田 浩, 高野照夫, 矢野明彦 ¹⁾ (¹⁾ 千葉大学 医学部寄生虫学)	(原著)心膜液ポリメラーゼ連鎖反応法によって診断された基礎疾患のないトキソプラズマ心膜炎の1例	J Cardiol	35 (1)	47 ~ 54	2000. 1
岸田 浩	(総説)虚血性心疾患の薬物療法 (虚血性心疾患治療における21世紀への課題)	医学のあゆみ	192 (1)	84 ~ 89	2000. 1
清野精彦, 緒方憲一, 岩原信一郎 ¹⁾ (¹⁾ 海老名総合病院循環器センター)	(総説)急性冠症候群の生化学的診断(急性冠症候群の診断)	medicina	37 (1)	44 ~ 48	2000. 1
木内 要, 高野照夫	(総説)21世紀のCCUに求められるものは何か?	medicina	37 (1)	116 ~ 117	2000. 1

著者名	タイトル	雑誌名	巻	ページ	年
高山守正 ¹⁾ , 一色高明 ²⁾ , 中村正人 ³⁾ , 山口徹 ³⁾ (¹⁾ 集中治療室, ²⁾ 帝京大学医学部内科, ³⁾ 東邦大学大橋病院第3内科)	(総説)急性冠症候群へのアプローチと治療戦略	medicina	37 (1)	119 ~ 129	2000.
木内 要, 高野照夫	(総説)心不全の治療法:利尿薬の使い方と注意点	クリニカ	27 ()	22 ~ 25	2000. 1
林 明聰, 加藤貴雄, 小林義典, 阿部純子, 相澤瑞穂, 岩崎雄樹, 森田成, 宮内靖史, 斎藤寛和, 新 博次, 高野照夫, 他	(総説)ICD治療におけるアミオダロン併用のメリット	Prog Med	20 ((sup pl.1))	499 ~ 501	2000. 1
水野杏一(千葉北総病院内科) (千葉北総病院内科)	(総説)急性冠症候群:新しい情報不安定plaqueと画像	Prog Med	20 (1)	25 ~ 28	2000. 1
新 博次 (多摩永山病院内科)	(総説)不整脈治療—最近の動向—	今月の治療	8 (2)	144 ~ 147	2000. 1
田中啓治 (千葉北総病院集中治療部)	(総説)指標の正しい使い方:CVP, PCWP	救急医学	24 (1)	384 ~ 386	2000. 1
加藤貴雄, 早川弘一	(総説)シベンゾリン	Pharma Medica	18 (2)	263 ~ 267	2000. 2
佐野純子 ¹⁾ , 水野杏一 ¹⁾ , 稲見茂信 ¹⁾ , 酒井俊太 ¹⁾ , 大国真一 ¹⁾ , 高野照夫 ¹⁾ (千葉北総病院内科)	(総説)冠動脈狭窄に対する緑茶飲用の効果	脈管学	40 (2)	93 ~ 98	2000. 2
荒牧琢己	(総説)化学薬物の抗原性獲得機序とチトクロームP450(特集:薬物アレルギーの診断と予防)	アレルギーの臨床	20 (2)	111 ~ 120	2000. 2
加藤貴雄	(総説)心不全例の症候性心室性不整脈の治療(特集:心不全例の不整脈管理)	呼吸と循環	48 (2)	133 ~ 140	2000. 2
早川弘一, 斎藤寛和	(総説)マイクロTWAと致死的不整脈(不整脈の診断と治療 その最近の進歩)	興和医報	43 (2)	34 ~ 39	2000. 2
木内 要, 子島 潤 ¹⁾ , 川嶋修司, 高野 照夫, 林 宏光 ²⁾ (¹⁾ 集中治療室, ²⁾ 放射線科)	(原著)心異常陰影を認めた46歳女	J Cardiol	35 ()	147 ~ 148	2000. 2

著者名	タイトル	雑誌名	巻	ページ	年
鈴木 健 (多摩永山病院内科)	(原著)ニトログリセリン放出様式と耐性の関係	医学と薬学	43(2)	277～287	2000.2
齋藤寛和 (第二病院内科)	(原著)μV level T wave alternans (μ V-TWA)の機序と臨床的意義	心臓	32(1)	41～47	2000.2
木内 要, 高野照夫	(総説)CPK、ミオグロビン、心筋トロボニンT(CPK、トロボニン他)	Intensive & Critical Care Medicine	12()	339～343	2000.2
齋藤寛和 ¹ , 岸田 浩 (¹ 第二病院内科)	(総説)薬物治療:抗不整脈の使い方	臨床と研究	77(2)	46～52	2000.2
山室 学 ¹ , 北村 伸 ¹ , 宗像一雄 ¹ , 片山泰朗 ² (¹ 第二病院内科、 ² 付属病院第二内科)	(総説)神經Bechet病(Brain CT & MRI findings of neuro Bechcet disease)	日医大誌	67(1)	2～3	2000.2
岸田 浩, 及川恵子, 塚田弥生	(総説)カルシウム拮抗薬(特集:狭心症)	医学と薬学	43(3)	499～506	2000.3
加藤貴雄	(総説)シンピット注	新しい治療薬のポイント 2000前半期	12()	66～67	2000.3
齋藤寛和 (第二病院内科)	(総説)発作性心房細動の薬物治療	Ther Res	21(3)	508～515	2000.3
田中啓治, 石井庸介 (千葉北総病院集中治療部)	(総説)心原性ショックの集中治療 PCPS	Heart View	4(3)	320～325	2000.3
田中啓治 ¹ , 関戸司久, 高野照夫 (¹ 千葉北総病院集中治療部)	(総説)初期治療と循環器医へのコンサルティングのタイミング	腎と透析	48(3)	325～329	2000.3

演者名	演題名	学会名	年月
Atarashi H	(シンポジウム) Sotalol for ventricular tachyarrhythmias and atrial fibrillation	Asian Pacific Conference on Cardiac Electrophysiology and Pacing (Hualien, Taiwan)	1999.12
新 博次, 井上 博(不整脈薬物療法研究会)	(シンポジウム) 心房細動と塞栓症予防:わが国の実態と問題点(上室性不整脈治療の現状と将来)	第14回日本心臓・ペーシング・電気生理学会学術大会	1999.5
水野杏一(千葉北総病院内科)	(シンポジウム) 冠血管内視鏡による冠動脈インターベンションにおける評価	49回東京心臓の会	1999.5
大場崇芳 ¹⁾ , 水野杏一 ¹⁾ , 稲見茂信 ¹⁾ , 清宮康嗣 ²⁾ , 松田裕之 ²⁾ , 横山真也 ¹⁾ , 松本真 ¹⁾ , 野村敦宣 ²⁾ , 大村和子 ¹⁾ , 酒井俊太 ¹⁾ , 今泉孝敬 ²⁾ , 大国真一 ¹⁾ , 張 静 ¹⁾ , 田中啓治 ^{(1)千葉北総病院内科, 2)同集中治療部}	(シンポジウム) 当院における第3世代ステント使用における合併症および再狭窄の検討	第5回日本血管内治療学会総会	1999.6
酒井俊太 ¹⁾ , 稲見茂信 ¹⁾ , 横山真也 ¹⁾ , 大場崇芳 ¹⁾ , 松本 真 ¹⁾ , 張 静 ¹⁾ , 大村和子 ¹⁾ , 大国真一 ¹⁾ , 水野杏一 ¹⁾ , 清宮康嗣 ²⁾ , 松田裕之 ²⁾ , 野村敦宣 ²⁾ , 今泉孝敬 ²⁾ , 田中啓治 ^{(1)千葉北総病院内科, 2)同集中治療部}	(シンポジウム) 冠動脈内視鏡ガイダンスカーテーラインターベンションについての検討	第5回日本血管内治療学会総会	1999.6
木内 要, 高野照夫	(シンポジウム) 心不全における右心機能の役割:右心機能と神経体液性因子	第47回日本心臓病学会学術集会	1999.9
斎藤寛和 ¹⁾ , 岩崎雄樹, 大野則彦, 緒方憲一, 松本 真, 平山悦之, 宗像一雄 ¹⁾ (第二病院内科)	(シンポジウム) T波変動解析—T wave alternans(TWA)を中心の一	第13回日本エム・イー学会秋季大会	1999.10
酒井俊太, 平澤泰宏, 田邊 潤, 清宮康嗣, 高野雅充, 大場崇芳, 横山真也, 富村正登, 小倉宏道, 水野杏一(千葉北総病院内科)	(シンポジウム) 急性冠症候群(ACS)に対するステント療法:血管内視鏡による検討	13回心臓血管内視鏡レーザー形成術研究会	1999.10
横山真也, 酒井俊太, 平澤泰宏, 田邊 潤, 稲見茂信, 清宮康嗣, 高野雅充, 大場崇芳, 富村正登, 小倉宏道, 水野杏一(千葉北総病院内科)	(シンポジウム) Culprit lesionとNon culprit lesionにおける内膜の差異:黄色ブラークのスコアによる検討	7回心血管内イメージング研究会	1999.12
宮本 明, 水野杏一, 荒井恒憲(千葉北総病院内科)	(シンポジウム) 定量的色彩評価を用いた血管内視鏡によるUnstable Plaqueの診断	7回心血管内イメージング研究会	1999.12
新 博次(多摩永山病院内科)	(シンポジウム) 心房細動の治療(主題:不整脈の診方と治療)	第34回日本成人病学会	2000.1
高山守正, 上村竜太, 高野照夫	(シンポジウム) 急性心筋梗塞の冠血行動態と左室機能維持効果について:急性期冠内圧評価(急性冠症候群の病態と治療における新戦略)	第27回日本集中治療医学会総会	2000.3
清野精彦	(パネルディスカッション) 心機能障害(腎移植を成功させるためのチェックポイント)	第87回日本泌尿器科学会総会	1999.4
斎藤寛和(第二病院内科)	(パネルディスカッション) T波オルタナנסの現状と展望	第15回循環器情報処理研究会	1999.11
勝田悌実, 張 雪君, 大須賀勝, 荒牧琢己	(ワークショップ) 肝硬変性門脈圧亢進症における肺循環一門脈肺高血圧を中心の一(肺循環障害・臨床)	第36回日本臨床生理学会総会	1999.10
今泉孝敬, 松田裕之, 清宮康嗣, 淀川顕司, 徳山権一, 田中啓治(千葉北総病院集中治療室)	(ワークショップ) 急性肺血栓塞栓症に対するカテーテルインターベンションの有用性	第36回日本臨床生理学会総会	1999.10
田中啓治(千葉北総病院集中治療室)	(セミナー) 難治性急性心不全の治療	第47回日本心臓病学会学術集会	1999.9

演者名	演題名	学会名	年月
高野照夫	(セミナー)循環管理－急性心不全に対する薬物療法の限界と補助循環－	第27回日本救急医学会総会	1999.11
Katoh T, Yodogawa K, Hayakawa H	[一般講演]A New Simple Computer Algorithm for the Differential Diagnosis of Wide QRS Premature Contractions	International Society For Computerized Electrocardiology '99 (Nara, Japan)	1999.4
Ogata K	[一般講演]Analysis of Microscopic Alternans of T-wave and Monophasic Action Potential	International Society For Computerized Electrocardiology '99 (Nara, Japan)	1999.4
Ohno N	[一般講演]Evaluation of Ventricular Repolarization Using Surface ECG	International Society For Computerized Electrocardiology '99 (Nara, Japan)	1999.4
Takayama H	[一般講演]High Resolution Analysis of High Frequency Components of QRS Complex by Wavelet Transform in Patients with Cardiomyopathy	International Society For Computerized Electrocardiology '99 (Nara, Japan)	1999.4
Kim SJ ¹⁾ , Zhang X ²⁾ , Kim YK ¹⁾ Takagi G, et al ⁽¹⁾ Cardiovascular and Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences, ²⁾ New York Medical College)	[一般講演]A transient ischemic episode upregulates NOS function in coronary microvessels and myocytes during the second window of protection	Federation of American Societies for Experimental Biology (Washington DC, USA)	1999.4
Kim YK ¹⁾ , Kim SJ ¹⁾ , Takagi G ¹⁾ , Vatner DE ¹⁾ , Seidman CE ²⁾ , et al (¹⁾ Cardiovascular and Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences, Pittsburgh, PA, ²⁾ Department of Genetics, Harvard Medical School and Howard Hughes Medical Institute)	[一般講演]Impaired b-adrenergic responsiveness in cardiomyocytes from cardiomyopathic mice with the aMHC403/+ mutation.	Federation of American Societies for Experimental Biology (Washington DC, USA)	1999.4
Meguro T, Hong C, Asai K, Takagi G, Vatner DF (Cardiovascular and Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences)	[一般講演]Inhibition of left ventricular hypertrophy in response to pressure overload is deleterious	Federation of American Societies for Experimental Biology (Washington DC, USA)	1999.4
Morita N, Kobayashi Y, Iwasaki Y, Hayashi M, Miyauchi Y, Saitoh H, Atarashi H, Katoh T, Kishida H	[一般講演]Bidirectional Conduction Property of the Right Atrial Lower Isthmus in Patients with Common Atrial Flutter	North American Society of Pacing and Electrophysiology 20th Annual Scientific Sessions (Toronto, Canada)	1999.5
Hamzai A, Ohara T, Voroshilovsky O, Lee MH, Chen PS, Karagueuzian HS (Cedars-Sinai Medical Center)	[一般講演]Mass and approximate entropy as determination of ventricular fibrillation	North American Society of Pacing and Electrophysiology 20th Annual Scientific Sessions (Toronto, Canada)	1999.5
Voloshilovsky O, Lee MH, Ohara T, Hamzai A, Huang HLA, Wang N, et al (Cedars-Sinai Medical Center)	[一般講演]Action potential duration restitution and maintenance of ventricular fibrillation in isolated swine right ventricle: validation of the restitution hypothesis	North American Society of Pacing and Electrophysiology 20th Annual Scientific Sessions (Toronto, Canada)	1999.5
Ohara T, Cao JM, Mandel WJ, Chen PS, Karagueuzian HS (Cedars-Sinai Medical Center)	[一般講演]Decreased connexin 45 distribution decreases the core of functional reentry on the epicardial border zone of healed infarcts during ventricular fibrillation	North American Society of Pacing and Electrophysiology 20th Annual Scientific Sessions (Toronto, Canada)	1999.5
Lee MH, Voloshilovsky O, Ohara T, Hamzai A, Wang N, Karagueuzian HS, Chen PS (Cedars-Sinai Medical Center)	[一般講演]Mechanism of wave splitting during ventricular fibrillation	North American Society of Pacing and Electrophysiology 20th Annual Scientific Sessions (Toronto, Canada)	1999.5

演者名	演題名	学会名	年月
Oikawa K, Fukuma N, Tsuchida T, Aisu N, Tomimura M, Fukuma Y, Sano J, Saitoh T, Kusama Y, Munakata K, Kishida H	[一般講演]Modulation of neural and metabolic heart rate response to exercise by a baroreflex mechanism	1st International Congress on Heart Disease (Washington DC, USA)	1999.5
Sutovsky I, Wu XY, Seino Y, Katoh T, Hayakawa H	[一般講演]Is There Any Relationship Between Plasma BNP Concentration and Ventricular Arrhythmias in Early Stage of Heart Failure?	New Strategies for Antiarrhythmic Treatment (Tokyo, Japan)	1999.5
Katoh T, Iinuma H ¹⁾ , Inoue H ¹⁾ , Ohe T ¹⁾ , Ogawa S ¹⁾ , Kasanuki H ¹⁾ , Tanabe T ¹⁾ , Hayakawa H ¹⁾ (¹⁾ Executive Commimitee, JALT-2)	[一般講演]Long-term Follow Up of Antiarrhythmic Therapy for Tachyarrhythmias --JALT-2; A Multicenter Prospective Study in Japan	New Strategies for Antiarrhythmic Treatment (Tokyo, Japan)	1999.5
Hayakawa H	[一般講演]Newly Amended Guidelines for the Clinical Evaluation of Antiarrhythmic Drugs in Japan	New Strategies for Antiarrhythmic Treatment (Tokyo, Japan)	1999.5
Yasutake M, Jia DL, Kusama Y, Kishida H, Hayakawa H	[一般講演]Determination of Crucial Period For Na ⁺ /H ⁺ Exchanger Inhibition to Protect Hearts in Rat Regional Low-Flow Ischemia Model	International Society for Heart Research XX European Section Meeting (Maastricht, The Netherlands)	1999.6
Takano H, Tang XL, Bolli R. (Division of Cardiology, University of Louisville & the Jewish Hospital Heart and Lung Institute)	[一般講演]Late preconditioning enhances the recovery of left ventricular function after myocardial infarction: a 28 days follow-up study.	XXI Annual Meeting of the International Society for Heart Research, American Section (San Diego, USA)	1999.6
Auchampach JA, Takano H, Yang Z, Tang XL, Bolli R (Division of Cardiology, University of Louisville & the Jewish Hospital Heart and Lung Institute)	[一般講演]Activation of A3 adenosine receptors induces late preconditioning against myocardial infarction but not stunning in conscious rabbits.	XXI Annual Meeting of the International Society for Heart Research, American Section (San Diego, USA)	1999.6
Tang XL, Banerjee S, Takano H, Qiu Y, Bolli R. (Division of Cardiology, University of Louisville & the Jewish Hospital Heart and Lung Institute)	[一般講演]Activation of A3 adenosine receptors induces late preconditioning against myocardial infarction but not stunning in conscious rabbits.	XXI Annual Meeting of the International Society for Heart Research, American Section (San Diego, USA)	1999.6
Seimiya K, Tanaka K, Tanabe J, Matsuda H, Imaizumi T	[一般講演]Utility of concurrent treatment of PCPS and blood purification method to severe cardiogenic shock	The 3rd Annual Scientific Meeting of the Japanese heart failure Society	1999.9
Setsuta K ¹⁾ , Arao M ¹⁾ , Miyatake Y ¹⁾ , Ogawa T ²⁾ , Seino Y (¹⁾ Komagome Hospital, ²⁾ Hakujikai Memorial General Hospital)	[一般講演]Elevated Levels of Heart Type Fatty Acid Binding Protein in Patients with Chronic Heart Failure	American Heart Association 72nd Scientific Sessions (Atlanta, USA)	1999.11
Miyauchi Y, Kobayashi Y, Hayashi M, Morita N, Iwasaki Y, Abe J, Aizawa M, Yashima M, Atarashi H, Katoh T, Takano T	[一般講演]Upper Extension of the Eustachian Ridge and Its Electrophysiological Characteristics	American Heart Association 72nd Scientific Sessions (Atlanta, USA)	1999.11
Nomura A, Couderc JP, Zareba W, Moss AJ (University of Rochester, Rochester, NY)	[一般講演]Circadian Changes of Ventricular Repolarization Heterogeneity Revealed by Wavelet Analysis of T Wave Morphology	American Heart Association 72nd Scientific Sessions (Atlanta, USA)	1999.11
Asai K, Kudej RK, Shen YT, Takagi G, Kudej AB, et al (Cardiovascular and Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences)	[一般講演]Gender Differences on the Effects of Aging on Cardiac b-Adrenergic Receptor Signalling in Old Conscious	American Heart Association 72nd Scientific Sessions (Atlanta, USA)	1999.11
Takagi G, Asai K, Kudej RK, Shen YT, Kudej AB, et al (Cardiovascular and Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences)	[一般講演]Gender Affects Endothelial and Adrenergic Receptor Mediated Peripheral Vasodilation in Old Conscious Monkeys	American Heart Association 72nd Scientific Sessions (Atlanta, USA)	1999.11

演者名	演題名	学会名	年月
Asai K, Shen YT, Kudej RK, Takagi G, Kudej AB, et al (Cardiovascular and Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences)	[一般講演]Paradoxically Enhanced Endothelin-B Receptor Mediated Vasoconstriction in Conscious old Monkeys	American Heart Association 72nd Scientific Sessions (Atlanta, USA)	1999.11
Yang GP, Meguro T, Hong C, Takagi G, Asai K, et al (Cardiovascular and Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences)	[一般講演]Cyclosporine Reduces Left Ventricular Mass with Chronic Aortic Banding in Mice, Which Could be Due to Enhanced Apoptosis and Fibrosis	American Heart Association 72nd Scientific Sessions (Atlanta, USA)	1999.11
Kim YK, Kramer CM, Takagi G, Mankad S, Lin JC, et al (Cardiovascular and Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences)	[一般講演]Alteration of Excitation-Contraction Coupling in Myocytes from the Peri-Infarct Region after Chronic Myocardial Infarction in Sheep	American Heart Association 72nd Scientific Sessions (Atlanta, USA)	1999.11
Kim SJ, Kim YK, Takagi G, Geng YJ, Bishop SP, Vatner SF (Cardiovascular and Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences)	[一般講演]A Brief Ischemic Episode Upregulates iNOs and also Control of Cardiac Myocytes During the "Second Window of Protection".	American Heart Association 72nd Scientific Sessions (Atlanta, USA)	1999.11
Kim SJ, Kudej RK, Kim YK, Takagi G, Yatani A, et al (Cardiovascular and Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences)	[一般講演]Myocardial Stunning Alters the CA ₂₊ Current and CA ₂₊ Release Function in Isolated Swine Myocytes	American Heart Association 72nd Scientific Sessions (Atlanta, USA)	1999.11
Meguro T, Hong C, Takagi G, Asai K, (Cardiovascular and Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences)	[一般講演]Cyclosporine Fails to Prevent Left Ventricular Remodeling After Myocardial Infarction	American Heart Association 72nd Scientific Sessions (Atlanta, USA)	1999.11
Kudej RK, Kim SJ, Kim YK, Takagi G, Kudej AB, et al (Cardiovascular and Pulmonary Research Institute, Allegheny University of the Health Sciences)	[一般講演]Hibernating Myocardium Demonstrates Greater Impairment of Diastolic Than Systolic Function	American Heart Association 72nd Scientific Sessions (Atlanta, USA)	1999.11
Takano H, Tang XL, Bolli R (Division of Cardiology, University of Louisville & the Jewish Hospital Heart and Lung Institute)	[一般講演]Differential role of KATP channels in late preconditioning (PC) against myocardial stunning and infarction in conscious rabbits.	American Heart Association 72nd Scientific Sessions (Atlanta, USA)	1999.11
Takano H, Bolli R, Tang XL, Yang Z, Black R, Auchampach JA. (Division of Cardiology, University of Louisville & the Jewish Hospital Heart and Lung Institute)	[一般講演]Activation of A1 or A3 receptors produces delayed protection against infarction in conscious rabbits by a mechanism involving KATP channels.	American Heart Association 72nd Scientific Sessions (Atlanta, USA)	1999.11
Hill M, Takano H, Tang XL. (Division of Cardiology, University of Louisville & the Jewish Hospital Heart and Lung Institute)	[一般講演]Nitroglycerin induces early and late preconditioning against myocardial infarction.	American Heart Association 72nd Scientific Sessions (Atlanta, USA)	1999.11
Ohara T, Cao JM, Lee MH, Hamzai A, Mandel WJ, Chen PS, Karagueuzian HS (Cedars-Sinai Medical Center)	[一般講演]Restitution hypothesis predicts wave front dynamics during ventricular fibrillation in hearts with healed myocardial infarction	American Heart Association 72nd Scientific Sessions (Atlanta, USA)	1999.11
Wang NC, Lee MH, Ohara T, Voroshilovsky O, Karagueuzian HS, Chen PS (Cedars-Sinai Medical Center)	[一般講演]Mechanisms of ventricular defibrillation in isolated swine right ventricles	American Heart Association 72nd Scientific Sessions (Atlanta, USA)	1999.11
Voroshilovsky O, Lee MH, Ohara T, Hamzai A, Huang HLA, Swerdlow CD, Karagueuzian HS (Cedars-Sinai Medical Center)	[一般講演]Mechanisms of ventricular fibrillation induction by 60 Hz alternating current in isolated swine right ventricle: Importance of nonuniform recovery of excitability and the cardiac restitution properties.	American Heart Association 72nd Scientific Sessions (Atlanta, USA)	1999.11
Cao JM, Chen LS, Wolf PL, Ohara T, Lee MH, KenKnight BH, et al (Cedars-Sinai Medical Center)	[一般講演]Nerve sprouting and sudden cardiac death	American Heart Association 72nd Scientific Sessions (Atlanta, USA)	1999.11

演者名	演題名	学会名	年月
Lee MH, Ohara T, Voroshilovsky O, Hamzai A, Wang NC, Garfinkel A, et al (Cedars-Sinai Medical Center)	[一般講演]Mechanisms of wavebreak and the generation of phase singularity during ventricular fibrillation in isolated swine right ventricle	American Heart Association 72nd Scientific Sessions (Atlanta, USA)	1999.11
Lee MH, Voroshilovsky O, Ohara T, Wang NC, Garfinkel A, Weiss JN, et al (Cedars-Sinai Medical Center)	[一般講演]Effects of diacetyl monoxime on dynamics of ventricular fibrillation	American Heart Association 72nd Scientific Sessions (Atlanta, USA)	1999.11
Takayama H, Wu XY, Katoh T, Hayakawa H	[一般講演]The Influence of Amiodarone to the High Frequency Components of QRS Complex -High Resolution Analysis by Wavelet Transform-	Asian Pacific Conference on Cardiac Electrophysiology and Pacing (Hualien, Taiwan)	1999.12
Tadera T, Ino T, Maruyama M, Miyamoto S, Kawaguchi N, Nagasawa K (Dept of Internal Medicine, Tamanagayama Hospital)	[一般講演]Atrial double potentials recorded in the coronary sinus during retrograde conduction via left sided accessory pathway	Asian Pacific Conference on Cardiac Electrophysiology and Pacing (Hualien, Taiwan)	1999.12
Kim SJ, Kim YK, Kramer CM, Takagi G, et al (Weis Center for Research, Penn State College of Medicine)	[一般講演]Alteration of Ca ²⁺ handling Contributes to Impaired Contractile and Relaxation Function During Left Ventricular (LV) Remodeling	Federation of American Societies for Experimental Biology (San Diego, USA)	2000.2
Takagi G, Kim SJ, Kim YK, Vatner SF, Vatner DE (Weis Center for Research, Penn State College of Medicine)	[一般講演]Prolonged Stimulation of Muscarinic Receptors Enhances b-adrenergic Receptor Mediated Contractile Function	Federation of American Societies for Experimental Biology (San Diego, USA)	2000.2
Asai K, Takagi G, Yang GP, Kudej RK, Shen YT, et al (Weis Center for Research, Penn State College of Medicine)	[一般講演]Impaired Endothelium-Dependent Vasodilation and Endothelial Cell Apoptosis in Old Male Monkeys	Federation of American Societies for Experimental Biology (San Diego, USA)	2000.2
Yang GP, Asai K, Kudej RK, Shen YT, Takagi G, et al (Weis Center for Research, Penn State College of Medicine)	[一般講演]Aortic Stiffness is Associated with Medial Structural Alteration in Aging Primates	Federation of American Societies for Experimental Biology (San Diego, USA)	2000.2
Iwasaki Y, Miyauchi Y, Osaka M, Kobayashi Y, Morita N, Hayashi M, Sasabe N, Saitoh H, Atarashi H, Katoh T, Takano T	[一般講演]Spectral Analysis of Atrioventricular Conduction Time Variability: A New Method for Quantitative Evaluation of the Effect of Autonomic Nervous Activity on the Atrioventricular Node	American College of Cardiology 49th Annual Scientific Session	2000.3
Oikawa K, Fukuma N, Aisu N, Tsuchida T, Mabuchi K, Matusda H, Kusama Y, Munakata K, Kishida H, Takano T, Kumita S, Kumazaki T	[一般講演]Relationship Between Exercise Capacity and Peripheral Vessel Sympathetic Function Determined with ¹²³ I-met-iodobenzylguanidine(MIBG)	American College of Cardiology 49th Annual Scientific Session (Anaheim, USA)	2000.3
Couderc JP, Zareba W, Nomura A, Moss AJ (University of Rochester, Rochester, NY)	[一般講演]Index of Morphological Dissimilarity: A Novel Approach to Quantify Spatial Heterogeneity of Ventricular Repolarization Morphology	American College of Cardiology 49th Annual Scientific Session (Anaheim, USA)	2000.3
Ohara T, Cao JM, Ohara K, Armin B, Naik, A, Mandel WJ, et al (Cedars-Sinai Medical Center)	[一般講演]Loss of the relationship between refractory period and reentry period in the epicardial border zone of hearts with healed infarcts, the role of gap junctional connexins.	American College of Cardiology 49th Annual Scientific Session (Anaheim, USA)	2000.3
Omichi C, Lee MH, Ohara T, Karagueuzian HS, Chen PS (Cedars-Sinai Medical Center)	[一般講演]Pure iridium metal microelectrode for transmembrane potential recording in isolated swine right ventricle.	American College of Cardiology 49th Annual Scientific Session (Anaheim, USA)	2000.3
Lai AC, Wallner K, Cao JM, Yashima M, Ohara T, Fishbein MC, et al (Cedars-Sinai Medical Center)	[一般講演]Tenascin-X cardiac sympathetic nerve growth.	American College of Cardiology 49th Annual Scientific Session (Anaheim, USA)	2000.3

演者名	演題名	学会名	年月
愛須紀子 ¹⁾ , 高橋保裕 ¹⁾ , 野村敦宣 ¹⁾ , 清宮康嗣 ¹⁾ , 松田裕之 ¹⁾ , 今泉孝敬 ¹⁾ , 田中啓治 ²⁾ , 大塚栄芳 ²⁾ , 川口直美 ²⁾ , 他 ^{(1)千葉北総病院集中治療部, (2)同内科}	[一般講演]ハイドロライザーによる血栓吸引療法をおこなった急性肺血栓塞栓症を伴うKlippel-Trenaunay-Weber症候群(KTWS)の1例	第171回日本循環器学会関東甲信越地方会	1999.2
小野卓哉, 斎藤寛和, 岩崎雄樹, 小林義典, 本間博, 新博次, 加藤貴雄, 岸田浩, 早川弘一	[一般講演]神経調節性失神における薬理学的自律神経機能検査法(PAT)の意義	第96回日本内科学会講演会	1999.4
斎藤勉, 安武正弘, 福間長知, 草間芳樹, 岸田浩, 早川弘一	[一般講演]異型狭心症における冠トーススに対する流血中Macrophage Colony Stimulating Factorの関与	第96回日本内科学会講演会	1999.4
小林義典, 林明聰, 宮内靖史, 平山悦之, 斎藤寛和, 新博次, 加藤貴雄, 岸田浩, 早川弘一, 田中茂夫 ¹⁾ (第二外科)	[一般講演]重症心室性不整脈における植込み型除細動器の適応状況	第96回日本内科学会講演会	1999.4
大村和子 ¹⁾ , 水野杏一 ¹⁾ , 宮内靖史, 小林義典, 斎藤寛和, 新博次, 加藤貴雄, 岸田浩, 早川弘一(千葉北総病院内科)	[一般講演]I群抗不整脈薬により心房細動に移行した心房細動例の臨床的特徴	第96回日本内科学会講演会	1999.4
本間博, 草間芳樹, 大塚俊昭, 桜井薫, 内田拓実, 宗像一雄, 岸田浩, 早川弘一	[一般講演]ドプタミン負荷心エコー法とintegrated backscatterとの併用による心筋viabilityの評価	第96回日本内科学会講演会	1999.4
田中啓治, 今泉孝敬, 松田裕之, 野村敦宣(千葉北総病院集中治療部)	[一般講演]急性広範囲肺血栓塞栓症に対するカテーテルインターベンションの有用性	第96回日本内科学会総会	1999.4
稻見茂信, 今泉孝敬, 小野いすゞ, 田邊潤, 長戸孝道, 張静, 大塚栄芳, 横山真也, 富村正登, 小林利行, 松本真, 大村和子, 酒井俊太, 大国真一, 山内茂生, 水野杏一, 清宮康嗣, 松田裕之, 田中啓治(千葉北総病院内科/集中治療部)	[一般講演]種々のTranscatheter therapyを施行した慢性肺血栓塞栓症の1例	第14回日本血管インターベンション学会関東甲信越地方会	1999.4
田畠美弥子, 高山守正, 加藤浩司, 竹永清人, 高橋保裕, 徳山權一, 川端修司, 藤田進彦, 笠神慶平, 桜井薫, 上村竜太, 関戸司久, 内田高浩, 安武正弘, 草間芳樹, 宗像一雄, 高野照夫	[一般講演]経皮的中隔心筋焼灼術(PTSMA)による左室大動脈圧差減少が慢性期に消失してしまった流出路兼中流部閉塞の肥大型閉塞性心筋症の1例	第14回日本血管インターベンション学会関東甲信越地方会	1999.4
木村祐子, 加藤良人, 清水秀治, 宮内靖史, 福間長知, 上田洋一, 古明地弘和, 大須賀勝, 関山達也, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己	[一般講演]チクロビジンによると思われる肝障害経過中にアニラセタムによる肝障害が出現した1例	第254回日本消化器病学会関東支部例会	1999.5
木内要, 高野照夫, 太田眞夫, 橋本英洋, 大竹稔, 早川弘一	[一般講演]糖尿病患者における冠動脈硬化の発症、進展に対するAdvanced glycation end productsの役割	第42回日本糖尿病学会総会	1999.5
太田眞夫, 田中古登子, 藤田進彦, 福本裕子, 木内要, 橋本英洋, 高野照夫, 大竹稔, 荒牧琢己, 早川弘一	[一般講演]糖尿病合併症の進展評価におけるペントシジン測定の意義	第42回日本糖尿病学会総会	1999.5
岩崎雄樹, 小林義典, 宮内靖史, 森田典成, 林明聰, 大野則彦, 高山英男, 八島正明, 斎藤寛和, 新博次, 加藤貴雄, 岸田浩, 早川弘一	[一般講演]左冠尖からの高周波通電により焼灼に成功した特発性心室頻拍の1例	第14回日本心臓ペーシング・電気生理学会学術集会	1999.5
大野忠明 ¹⁾ , 井野威 ¹⁾ , 阿部純子 ¹⁾ , 壬生倉徹志 ¹⁾ , 丸山光紀 ¹⁾ , 宮本新次郎 ¹⁾ , 田寺長 ¹⁾ , 長澤紘一 ¹⁾ , 宮内靖史, 小林義典(多摩永山病院内科)	[一般講演]右室流出路起源心室頻拍、心房頻拍アブレーション成功部位における単極誘導局所電位の特徴—至適通電指標としてのrapid downstroke wave—	第14回日本心臓ペーシング・電気生理学会学術集会	1999.5

演者名	演題名	学会名	年月
大森裕也 ¹⁾ , 新田 隆 ¹⁾ , 矢島俊巳 ¹⁾ , 山内茂生 ¹⁾ , 山内仁紫 ¹⁾ , 別所竜藏 ¹⁾ , 山田研一 ¹⁾ , 石井庸介 ¹⁾ , 宮脇佳世 ¹⁾ , 宮本哲也 ¹⁾ , 北川彰信 ¹⁾ , 田中茂夫 ¹⁾ , 林 明聰, 宮内靖史, 小林義典, 加藤貴雄、早川弘一(第二外科)	[一般講演]ICD誤作動例の検討	第14回日本心臓ペーシング・電気生理学会学術集会	1999.5
緒方憲一, 斎藤寛和, 品田卓郎, 清水秀一, 大野則彦, 遠藤康実, 八島正明, 平山悦之, 小林義典, 新 博次, 加藤貴雄	[一般講演]活動電位持続時間はT波オルタナンスに関係するか? 一単相性活動電位での検討ー	第14回日本心臓ペーシング・電気生理学会学術集会	1999.5
吳 小怡, Sutovsky I, 高山英男, 加藤貴雄, 早川弘一	[一般講演]高分解能心電図を用いたビルジカイニドの薬理作用の検討	第14回日本心臓ペーシング・電気生理学会学術集会	1999.5
大野則彦, 斎藤寛和, 岩崎雄樹, 緒方憲一, 松本 真, 野村敦宣, 小林義典, 新 博次, 加藤貴雄, 岸田 浩, 早川弘一	[一般講演]QT間隔のtemporal dispersion の検討	第14回日本心臓ペーシング・電気生理学会学術集会	1999.5
宮本新次郎 ¹⁾ , 井野 威 ¹⁾ , 平澤泰宏 ¹⁾ , 壱生倉徹志 ¹⁾ , 丸山光紀 ¹⁾ , 大野忠明 ¹⁾ , 遠藤康実 ¹⁾ , 長澤紘一 ¹⁾ , 小林義典, 新 博次, 早川弘一(多摩永山病院内科)	[一般講演]頻拍中に心房への2:1伝導を示した上大静脈起源心房頻拍の1例	第29回臨床心臓電気生理研究会	1999.5
田畑美弥子, 清水秀治, 古明地弘和, 斎藤 勉, 関山達也, 荒牧琢己, 小谷英太郎 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 川俣博志 ²⁾ (集中治療室, 2)放射線科)	[一般講演]肝細胞癌右心室転移による切迫流出路閉塞に対しTranscoronary Chemoembolizationが有効であった1例	第35回日本肝癌研究会	1999.6
川嶋修司, 木内 要, 斎藤 勉, 斎藤寛和, 草間芳樹, 高山守正, 高野照夫	[一般講演]労作時息切れおよび胸部不快感を契機に発見された左房瘤の1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第172回学術集会	1999.6
上村竜太 ¹⁾ , 桜井 薫 ¹⁾ , 青木 聰 ¹⁾ , 酒井俊太 ¹⁾ , 李 武司 ²⁾ , 安武正弘, 草間芳樹, 高山守正(八潮循環器病院循環器内科, 同外科)	[一般講演]左回旋枝起始異常を伴う急性心筋梗塞症例に対してPTCAを施行した1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第172回学術集会	1999.6
淀川顯司, 徳山権一, 磯田麻里, 石川正也, 品田卓郎, 清宮康嗣, 松田裕之, 今泉孝敏, 田中啓治, 他(千葉北総病院集中治療部)	[一般講演]肩甲部痛で発症し, 骨格筋と心筋にgiant cellの浸潤をみとめた劇症型心筋炎の1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第172回学術集会	1999.6
竹永清人, 稲見茂信, 横山真也, 大場崇芳, 松本 真, 富村正登, 大村和子, 酒井俊太, 山内茂生, 水野杏一(千葉北総病院循環器センター)	[一般講演]β-blocker投与により冠動脈狭窄が誘発されたと推測された1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第172回学術集会	1999.6
角岡真帆, 関戸司久, 渡辺威之, 塩路豪, 笠神康平, 石井庸介, 緒方憲一, 設楽敏朗, 上村竜太, 小倉宏道, 池崎弘之, 横山広行, 木内 要, 高山守正, 高野照夫(集中治療室)	[一般講演]産褥期麻疹罹患を契機として発症した急性肺炎合併心筋炎の一例	日本循環器学会関東甲信越地方会第172回学術集会	1999.6
本間 博, 西垣龍太郎, 伊藤恵子, 菅原博子, 宗像一雄, 岸田 浩, 松崎つや子 ¹⁾ , 佐藤淳子 ¹⁾ , 水瀬 学 ¹⁾ (生理機能)	[一般講演]Integrated backscatter 解析を用いた左室心筋viability評価と心機能回復予測	日本超音波医学会第72回学術集会	1999.6
長野具雄, 佐藤良一 ¹⁾ , 松田裕之, 荒牧琢己 ¹⁾ (ノースウェスタン大学医学部薬理学部門)	[一般講演]モルモット肝細胞膜Ca ²⁺ permeable channelの活性化機構について	日本肝臓学会総会	1999.6
松田裕之, 佐藤良一 ¹⁾ , 長野具雄, 荒牧琢己 ¹⁾ (ノースウェスタン大学医学部薬理学部門)	[一般講演]ヒト肝細胞膜K ⁺ channel	日本肝臓学会総会	1999.6
愛須紀子, 福間長知, 宗像一雄, 岸田 浩, 土田貴也, 及川恵子, 馬淵浩輔, 松田裕之, 富村正登, 福間祐美子, 佐野純子, 斎藤 勉, 草間芳樹, 高野照夫, 早川弘一	[一般講演]圧受容体反射機能障害を有する心不全症例における心室性期外収縮出現の特徴	第19回ホルター心電図研究会	1999.6

演者名	演題名	学会名	年月
岩崎雄樹, 大野則彦, 藤方憲一, 宮内靖史, 小林義典, 斎藤寛和, 新 博次, 加藤貴雄, 高野照夫, 早川弘一, 田中茂夫 ¹⁾ (¹⁾ 第二外科)	[一般講演]植え込み型ホルター心電計の使用経験	第15回ホルター心電図研究会	1999.6
綱谷賢一, 中村俊彦, えび澤理人, 山口朋徳, 東海林智子, 村澤恒男, 上田征夫, 原 文男, 他(第二病院内科)	[一般講演]診断が困難であった食道平滑筋肉腫の1例	第68回日本消化器内視鏡学会関東地方会	1999.6
村澤恒男, 酒井行直, 原 文男(第二病院内科)	[一般講演]維持透析患者の血液透析に伴う加算平均心電図の変動(統報)～DM群と非DM群との比較と、データとの関連性	第42回日本腎臓学会学術総会	1999.6
村澤恒男, 綱谷賢一, 東海林智子, 中村俊彦, 山口朋徳, 酒井行直, 西垣朝裕, 原 文男(第二病院内科)	[一般講演]維持透析患者の血液透析に伴う加算平均心電図の変動(統報):遅延電位と細胞内外水分量, 除水率との関連性	第44回日本透析医学会学術集会	1999.6
綱谷賢一, 東海林智子, 中村俊彦, 山口朋徳, 西垣朝裕, 村澤恒男, 原 文男(第二病院内科)	[一般講演]維持透析患者における血液透析前後の細胞内外水分量の変化率とANP, BNPとの関連についての検討	第44回日本透析医学会学術集会	1999.6
伊佐治剛, 宜保陽介, 保倉利江, 綱谷賢一, 東海林智子, 中村俊彦, 山口朋徳, 西垣朝裕, 村澤恒男, 原 文男(第二病院内科)	[一般講演]痛風結節と四肢拘縮を伴い、血清K値が9.4mEq/Lまで上昇したにも関わらず救命し得た1症例	第44回日本透析医学会学術集会	1999.6
稻葉教彦 ¹⁾ , 門松 豊 ¹⁾ , 村澤恒男 ²⁾ (¹⁾ 第二病院人工透析室, ²⁾ 第二病院内科))	[一般講演]ポリフラックス-S(MM-13)の溶質除去性能について	第44回日本透析医学会学術集会	1999.6
相澤瑞穂, 岩崎雄樹, 森田典成, 林 明聰, 宮内靖史, 小林義典, 斎藤寛和, 新 博次, 岸田 浩, 高野照夫	[一般講演]日本医科大学付属病院におけるβ遮断薬使用実態調査—特に高齢者における使用について—	第41回日本老年医学会学術集会	1999.6
中込明裕, 山根吉人, 山本 剛, 大野忠明, 青木 啓, 雪吹周生, 藤田信輔, 田中邦夫, 鈴木 健, 長澤鉄一(千葉北総病院循環器センター・集中治療部)	[一般講演]高齢者冠嚙縮性疾患における臨床像の特徴と成因	第41回日本老年医学会	1999.6
稻見茂信, 田辺 潤, 小野いすゞ, 張 清, 横山真也, 大場崇芳, 松本 真, 大村和子, 酒井俊太, 大國真一, 山内茂夫, 水野杏一, 今泉孝教, 田中啓治(千葉北総病院循環器センター・集中治療部)	[一般講演]高齢者虚血性心疾患に対する冠動脈インターベンション治療の成績	第41回日本老年医学会学術集会	1999.6
石川正也, 磯田麻里, 品田卓郎, 松田裕之, 清宮康嗣, 今泉孝教, 田中啓治, 高野照夫(千葉北総病院集中治療部)	[一般講演]超高齢者急性大動脈解離の臨床的特徴	第41回日本老年医学会学術集会	1999.6
横山真也, 酒井俊太, 稲見茂信, 大場崇芳, 松本 真, 大村和子, 大國真一, 張 静, 水野杏一, 清宮康嗣, 松田裕之, 野村敦宣, 今泉孝教, 田中啓治(千葉北総病院内科・集中治療部)	[一般講演]血管内視鏡で観察されるSTENT-plaque protrusion-の検討	第5回日本血管内治療学会総会	1999.6
吉田博史, 吉田知永, 宗像純司, 洪 芳樹, 八田真人, 他(白十字総合病院内科)	[一般講演]小腸内視鏡検査で診断された大細胞性肺癌による空腸転移の一例	第68回日本消化器内視鏡学会関東地方会	1999.6
岩崎雄樹, 小原啓子, 斎藤 勉, 清水秀治, 古明地弘和, 大須賀勝, 関山達也, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己	[一般講演]急性肝炎様発症をした原発性胆汁性肝硬変の1例	第255回日本消化器病学会関東支部例会	1999.7
関戸司久, 上村竜太, 小谷英太郎, 桜井薰, 内田高浩, 横山広行, 安武正弘, 草間芳樹, 高山守正, 宗像一雄, 高野照夫	[一般講演]虚血性心不全の病態と急性期治療戦略(冠血行再建術を含めて)	第8回日本心血管インターベンション学会学術集会	1999.7
上村竜太, 高山守正, 小谷英太郎, 桜井薰, 関戸司久, 内田高浩, 横山広行, 安武正弘, 木内 要, 草間芳樹, 高野照夫	[一般講演]冠内圧測定によるIABP効果の検討	第8回日本心血管インターベンション学会学術集会	1999.7

演者名	演題名	学会名	年月
竹永清人, 高山守正, 関戸司久, 小谷英太郎, 上村竜太, 横山広行, 川嶋修司, 高橋保裕, 徳山権一, 笠神康平, 桜井薰, 内田高浩, 安武正弘, 本間 博, 草間芳樹, 宗像一雄, 高野照夫	[一般講演]閉塞性肥大型心筋症に対する経皮の中隔心筋焼灼術の長期成績	第8回日本心血管インターベンション学会学術集会	1999.7
上村竜太, 高山守正, 小谷英太郎, 関戸司久, 酒井俊太, 横山広行, 木内 要, 子島潤, 高野照夫, 桜井 薫, 内田高浩, 安武正弘, 富田喜文, 草間芳樹	[一般講演]非梗塞例における左室収縮能低下を生じる冠灌流圧の検討	第8回日本心血管インターベンション学会学術集会	1999.7
富村正登, 酒井俊太, 田邊 潤, 小野いすゞ, 稲見茂信, 長門孝道, 横山真也, 大場崇芳, 松本 真, 小林利行, 大村和子, 大國眞一, 張 静, 山内茂生, 水野杏一(千葉北総病院内科)	[一般講演]急性心筋梗塞の血栓溶解療法施行後の血栓の形態について	第8回日本心血管インターベンション学会学術集会	1999.7
大場崇芳, 田邊 潤, 稲見茂信, 長門孝道, 横山真也, 小林利行, 富村正登, 松本 真, 大村和子, 酒井俊太, 大國眞一, 張 静, 山内茂生, 水野杏一(千葉北総病院内科)	[一般講演]gtxステントとMultilinkステント留置の初期成績および遠隔成績	第8回日本心血管インターベンション学会学術集会	1999.7
田邊 潤, 酒井俊太, 小野いすゞ, 稲見茂信, 長門孝道, 横山真也, 大場崇芳, 松本 真, 富村正登, 小林利行, 大村和子, 大國眞一, 張 静, 山内茂生, 水野杏一(千葉北総病院内科)	[一般講演]PTCAによる冠動脈内膜の変化:血管内視鏡による検討	第8回日本心血管インターベンション学会学術集会	1999.7
横山真也, 酒井俊太, 田邊 潤, 長戸裕道, 稲見茂信, 大場崇芳, 富村正登, 松本 真, 大村和子, 大國眞一, 張 静, 山内茂生, 水野杏一, 清宮康嗣, 松田裕之, 今泉孝敏, 田中啓治(千葉北総病院内科・集中治療部)	[一般講演]急性心筋梗塞例の1ヵ月後のSTENTの新内膜被覆について。血管内視鏡での検討	第8回日本心血管インターベンション学会学術集会	1999.7
斎藤寛和 ¹⁾ , 緒方憲一, 平山悦之 ^(1)第二病院内科)	[一般講演]μ V level T wave alternansの成因と臨床的意義	第34回理論心電図研究会	1999.7
高山守正, 中村 泰 ¹⁾ , 村上幹高 ²⁾ , 林田憲明 ³⁾ , 田村 勤 ⁴⁾ , 高野照夫, 他 ^{(1)順天堂大学医学部付属順天堂医院, (2)昭和大学病院, (3)聖路加国際病院, (4)三井記念病院)}	[一般講演]日本人でも女性は急性心筋梗塞の予後不良因子か?:多施設登録例からの検討	第19回心筋梗塞研究会	1999.7
徳山権一, 田中啓治, 今泉孝敏, 淀川顕司, 松田裕之, 清宮康嗣, 酒井俊太, 水野杏一(千葉北総病院集中治療部・内科)	[一般講演]左冠動脈主幹部梗塞の病態とその対策	第19回心筋梗塞研究会	1999.7
桜井 薫, 佐野純子, 本間 博, 草間芳樹, 宗像一雄, 岸田 浩, 高野照夫, 他	[一般講演]T1201-Cl/Tc99m-sestamibiを用いたドブタミン負荷心筋シンチグラフィ短時間収集心拍同期SPECTによる心筋虚血の評価	第48回循環器負荷研究会	1999.8
高橋保裕, 吉川雅智, 安武正弘, 関戸司久, 木内 要, 小林義典, 田島廣之 ¹⁾ , 限崎達夫 ¹⁾ , 高山守正, 高野照夫 ^(1)放射線科)	[一般講演]左外腸骨動脈瘤破裂に対しDacron Covered Stentの緊急留置が有効であった1例	第8回日本集中治療医学会関東甲信越地方会	1999.8
小倉宏道 ¹⁾ , 大村和子 ¹⁾ , 石井律子 ¹⁾ , 稲見茂信 ¹⁾ , 宮城泰雄 ¹⁾ , 酒井俊太 ¹⁾ , 山内茂生 ¹⁾ , 高野照夫 ^(1)千葉北総病院循環器センター)	[一般講演]完全房室ブロックによる心不全を発症した超高齢者に対しペースメーカー植込み術を施行した1例	第8回日本集中治療医学会関東甲信越地方会	1999.8
高橋直人, 山口朋徳, 網谷賢一, 村澤恒男, 宗像一雄, 他(第二病院内科)	[一般講演]Neophyllin静注により急性増悪を繰り返したARDSの1例	第8回日本集中治療医学会関東甲信越地方会	1999.8
山科育子, 横山広行, 飯泉 匠, 木内 要, 高山守正, 清野精彦, 高野照夫, 他	[一般講演]術後発症の肺血栓塞栓症の1例:血栓溶解療法の至適容量・至適時期に関する検討	第8回日本集中治療医学会関東甲信越地方会	1999.8

演者名	演題名	学会名	年月
藤谷 仁, 設楽敏朗, 清水 亨, 池崎弘之, 高野照夫(集中治療室)	[一般講演]頸下腺腫瘍摘出術後に悪性高熱症が疑われ、集中治療管理を要した1症例	第8回日本集中治療医学会 関東甲信越地方会	1999.8
徳山權一, 今泉孝敬, 淀川顕司, 品田卓郎, 清宮康嗣, 松田裕之, 田中啓治, 大場崇芳, 酒井俊太, 水野杏一(千葉北総病院集中治療部・内科)	[一般講演]Trouser-like stentingおよびPCPSとCHDF併用によって救命した38歳LMT梗塞の1例	第8回日本集中治療医学会 関東甲信越地方会	1999.8
石井健輔, 安武正弘, 木内 要, 子島潤, 太田眞夫, 橋本英洋, 荒牧琢己, 高野照夫	[一般講演]超高齢者における血清アルブミン濃度の意義	第30回日本老年医学会関東甲信越地方会	1999.9
張 雪君, 大須賀勝, 勝田悌実, 荒牧琢己, 秋元敏雄 ¹⁾ (¹⁾ 実験動物管理室)	[一般講演]門脈圧亢進症実験モデルの動脈血酸素化に及ぼす一酸化窒素(NO)の影響	第6回日本門脈圧亢進症学会総会	1999.9
新 博次, 遠藤康実, 森田典成, 岩崎雄樹, 林 明聰, 宮内靖史, 小林義典, 高野照夫	[一般講演]新しいⅢ群抗不整脈薬sotalolの心房細動への使用経験	第7回不整脈薬物療法研究会	1999.9
相澤瑞穂, 岩崎雄樹, 森田典成, 林 明聰, 宮内靖史, 小林義典, 斎藤寛和, 新博次, 高野照夫	[一般講演]日本医科大学付属病院におけるβ遮断薬使用実態調査	第67回日本医科大学医学会総会	1999.9
中島博子 ¹⁾ , 平野公晟 ¹⁾ , 本間 博, 新博次, 岸田 浩, 高野照夫, 小林正文 ²⁾ (¹⁾ 薬剤部, ²⁾ 内科第3)	[一般講演]治験コーディネーター(CRC)業務を試行して	第67回日本医科大学医学会総会	1999.9
五十嵐亞希 ¹⁾ , 小松裕子 ¹⁾ , 関口由起子 ¹⁾ , 松崎つや子 ¹⁾ , 佐藤淳子 ¹⁾ , 水瀬 学 ¹⁾ , 石井玲子 ¹⁾ , 菅谷寿理 ¹⁾ , 斎藤公一 ¹⁾ , 黒田 雄 ¹⁾ , 西垣龍太郎, 平山悦之, 本間博, 宗像一雄, 岸田 浩, 高野照夫(¹⁾ 生理機能センター)	[一般講演]慢性心不全症例における末梢循環の評価:塩酸オルブリン負荷とair-plethysmographyを用いて	第67回日本医科大学医学会総会	1999.9
松沢一郎 ¹⁾ , 堀内和孝 ¹⁾ , 近藤幸尋 ¹⁾ , 秋元成太 ¹⁾ , 横山広行, 及川恵子, 福間長知, 高野照夫(¹⁾ 泌尿器科)	[一般講演]Sildenafil Citrate(バイアグラ)を用いた勃起不全(Erectile Dysfunction:ED)に対する治療とその問題点	第67回日本医科大学医学会総会	1999.9
伊佐治剛, 村澤恒男, 宜保陽介, 保倉利江, 網谷賛一, 山口朋樹, 酒井行直, 西垣朝裕, 原 文男, 宗像一雄(第二病院内科)	[一般講演]痛風結節と四肢拘縮を伴い, 血清K値が9.4mEq/Lまで上昇したにも関わらず救命し得た1症例	第67回日本医科大学医学会総会	1999.9
西島美輝子 ¹⁾ , 山賀節子 ¹⁾ , 越谷美由紀 ¹⁾ , 鈴木久美 ¹⁾ , 荒井誠一 ¹⁾ , 渡部紀子 ¹⁾ , 犹野貴子 ¹⁾ , 新宅孝征 ¹⁾ , 松岡和彦 ¹⁾ , 宗像一雄 ²⁾ (¹⁾ 第二病院中央検査室, ²⁾ 内科)	[一般講演]老年層の白衣高血圧と血压日内変動について	第67回日本医科大学医学会総会	1999.9
池野廣幸 ¹⁾ , 鈴木 健 ²⁾ (¹⁾ 多摩永山病院中央検査室, ²⁾ 内科)	[一般講演]呼吸器感染症の主な起因菌に対する経口セフム剤の抗菌力	第67回日本医科大学医学会総会	1999.9
中澤 宏 ¹⁾ , 相澤泰与 ¹⁾ , 渡部百合子 ¹⁾ , 恩田怜子 ¹⁾ , 池野廣幸 ¹⁾ , 鈴木 健 ²⁾ (¹⁾ 多摩永山病院中央検査室, ²⁾ 内科)	[一般講演]当院における血液学的検査基準値の設定	第67回日本医科大学医学会総会	1999.9
鈴木純子 ¹⁾ , 柴田明佳 ¹⁾ , 真下 恵 ¹⁾ , 佐藤知枝 ¹⁾ , 菊池英子 ¹⁾ , 池野廣幸 ¹⁾ , 鈴木 健 ²⁾ (¹⁾ 多摩永山病院中央検査室, ²⁾ 内科)	[一般講演]血液培養における細菌検出自動化の評価	第67回日本医科大学医学会総会	1999.9
四田千穂美 ¹⁾ , 菊池英子 ¹⁾ , 杉原秀人 ¹⁾ , 澤柳妙子 ¹⁾ , 池野廣幸 ¹⁾ , 鈴木 健 ²⁾ , 他(¹⁾ 多摩永山病院中央検査室, ²⁾ 内科)	[一般講演]虫垂炎と診断されたアーベル性大腸炎の1例	第67回日本医科大学医学会総会	1999.9
石川正也, 山科育子, 土田貴也, 小林義典, 清野精彦, 荒牧琢己, 高野照夫	[一般講演]多発性筋炎に対して免疫抑制剤投与中に甲状腺機能低下症を合併し、CPKを指標とした薬効評価が困難であった1例	第475回日本内科学会関東地方会	1999.9

演者名	演題名	学会名	年月
高橋保裕, 上田洋一, 小林義典, 清水秀治, 古明地弘和, 大須賀勝, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 他	[一般講演]肝炎症性偽腫瘍を合併した特発性門脈圧亢進症の1例	第256回日本消化器病学会 関東支部例会	1999.9
関戸司久, 小谷英太郎, 上村竜太, 横山広行, 木内要, 安武正弘, 草間芳樹, 子島潤, 宗像一雄, 高野照夫	[一般講演]心収縮機能簡便指標の確立(Pressure-Volume LoopによるEmaxとの対比)	第47回日本心臓病学会学術集会	1999.9
松本真 ¹⁾ , 大村和子 ¹⁾ , 水野杏一 ¹⁾ , 斎藤寛和, 岩崎雄樹, 大野則彦, 新博次, 加藤貴雄, 高野照夫, 早川弘一 ¹⁾ (千葉北総病院循環器センター)	[一般講演]T波オルタナנסにおける判定心拍数設定の問題点	第47回日本心臓病学会学術集会	1999.9
佐野純子, 桜井薰, 斎藤勉, 本間博, 草間芳樹, 宗像一雄, 岸田浩, 高野照夫, 渋田伸一郎 ¹⁾ , 限崎達夫 ¹⁾⁽¹⁾ (放射線科)	[一般講演]Tc-99m-Tetrofosminを用いたドブタミン負荷心筋シンチグラフィ 短時間収集心拍同期SPECTデータによる負荷時機能解析の併用	第47回日本心臓病学会学術集会	1999.9
高山守正, 高野照夫(東京都CCU連絡協議会)	[一般講演]多施設集計による急性大動脈解離の治療成績:1997年東京CCU Network報告	第47回日本心臓病学会学術集会	1999.9
及川恵子, 福間長知, 愛須紀子, 土田貴也, 草間芳樹, 宗像一雄, 岸田浩, 高野照夫, 早川弘一, 他	[一般講演]下肢骨格筋交感神經機能と運動耐容能との関係—骨格筋MIBGを用いた検討—	第47回日本心臓病学会学術集会	1999.9
中野綾香 ¹⁾ , 高原かほり ¹⁾ , 曽根原はる美 ¹⁾ , 酒井俊太 ²⁾ , 水野杏一 ²⁾ , 田中啓治 ²⁾ (¹⁾ シニック㈱CRC事業部, ²⁾ 千葉北総病院内科・集中治療部)	[一般講演]治験コーディネーターの必要性と治験患者意識の実態	第47回日本心臓病学会学術集会	1999.9
清宮康嗣, 田中啓治, 松田裕之, 今泉孝敬, 淀川顕司, 徳山権一, 石川正也, 磯田麻里, 品田卓郎(千葉北総病院集中治療部)	[一般講演]急性心筋梗塞に伴う難治性心不全に対する血液浄化法の新しい適応法	第47回日本心臓病学会学術集会	1999.9
松田裕之, 清宮康嗣, 田中啓治, 今泉孝敬, 淀川顕司, 徳山権一, 大國真一, 酒井俊太, 水野杏一(千葉北総病院内科・集中治療部)	[一般講演]左冠動脈主幹部梗塞の病態とその対策	第47回日本心臓病学会学術集会	1999.9
稻見茂信, 酒井俊太, 菊池有紀子, 土田貴也, 田邊潤, 長門孝道, 大場崇芳, 横山真也, 富村正登, 松本真, 大村和子, 山内茂生, 水野杏一(千葉北総病院内科)	[一般講演]なぜSTENTは再狭窄が少ないのか?PTCAとの比較:血管内視鏡による検討	第47回日本心臓病学会学術総会	1999.9
大場崇芳, 酒井俊太, 稲見茂信, 田邊潤, 長門孝道, 横山真也, 富村正登, 松本真, 大村和子, 山内茂生, 水野杏一(千葉北総病院内科)	[一般講演]急性冠症候群発生と感染症との関連:血管内視鏡による検討	第47回日本心臓病学会学術総会	1999.9
田邊潤, 酒井俊太, 稲見茂信, 横山真也, 大場崇芳, 松本真, 富村正登, 大村和子, 山内茂生, 水野杏一(千葉北総病院内科)	[一般講演]急性心筋梗塞に対するステント留置後の効果:血管内視鏡による内膜の経時的観察	第47回日本心臓病学会学術総会	1999.9
横山真也, 酒井俊太, 稲見茂信, 大場崇芳, 松本真, 富村正登, 大村和子, 水野杏一(千葉北総病院内科)	[一般講演]急性冠症候群における黄色プラークの濃淡と血栓の関係	第47回日本心臓病学会学術総会	1999.9
柏木睦美, 清野精彦, 本間博, 草間芳樹, 松崎つや子, 大塚俊昭, 桜井薰, 岸田浩, 高野照夫	[一般講演]心サルコイドーシスにおける心筋生化学マーカーおよび心筋Integrated backscatterの分析について	第47回日本心臓病学会学術総会	1999.9
橋方美文 ¹⁾ , 清野精彦, 島井新一郎 ²⁾ , 高野照夫(¹⁾ 第二病院内科, ²⁾ 島井内科小児科クリニック)	[一般講演]第二世代心筋Troponin T測定による慢性腎透析症例における潜伏性心筋傷害の診断と長期予後の分析	第47回日本心臓病学会学術総会	1999.9
掃部弘行	[一般講演]急性心筋梗塞に伴う虚血性不整脈に対するカリウムチャネル遮断薬MS-551の有用性	第12回心臓性急死研究会	1999.9

演者名	演題名	学会名	年月
池崎弘之, 設楽敏朗, 竹田晋浩 ¹⁾ , 中西一浩 ¹⁾ , 高野照夫, 小川 龍 ¹⁾ (¹⁾ 麻酔科)	[一般講演]当院集中治療室におけるNOガス利用の現状、応用	第3回日本医療ガス学会総会	1999.9
清宮康嗣, 大場崇芳, 田邊 潤, 稲見茂信, 横山真也, 松本 真, 富村正登, 小倉宏道, 大村和子, 酒井俊太, 山内茂生, 水野杏一(千葉北総病院内科)	[一般講演]非責任冠動脈にも血栓が認められた1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第173回学術集会	1999.9
木村祐子, 徳山権一, 磯田麻里, 石川正也, 品田卓郎, 清宮康嗣, 松田裕之, 今泉孝敏, 田中啓治(千葉北総病院集中治療部)	[一般講演]新東京国際空港で発症した4例の急性肺血栓塞栓症の検討	日本循環器学会関東甲信越地方会第173回学術集会	1999.9
高橋直人, 山口朋禎, 網谷實一, 内田高浩, 柳方美文, 斎藤寛和, 宗像一雄(第二病院内科)	[一般講演]発症経過中に全く心電図変化を示さなかった急性心筋梗塞の1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第173回学術集会	1999.9
丸山光紀, 井野 威, 田寺 長, 川口直美, 宮本新次郎, 菊池有希子, 鈴木 健, 長澤紘一, 高野照夫 ¹⁾ (多摩永山病院内科)	[一般講演]三尖弁輪後側壁に起源を有する自動性心房頻拍の1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第173回学術集会	1999.9
谷口宏史, 宮内靖史, 桜井 薫, 森田典成, 岩崎雄樹, 林 明聰, 小林義典, 清野精彦, 高野照夫	[一般講演]EPSを契機に発見された重複下大動脈の2症例	日本循環器学会関東甲信越地方会第173回学術集会	1999.9
小島康正 ¹⁾ , 緒方憲一 ¹⁾ , 増谷佑人 ¹⁾ , 渡辺綾子 ¹⁾ , 山口 寛 ¹⁾ , 大野則彦 ¹⁾ , 笠神 康平 ¹⁾ , 設楽敏朗 ¹⁾ , 上村竜太 ¹⁾ , 関戸司久 ¹⁾ , 横山広行 ¹⁾ , 池崎弘之 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 清野精彦, 高野照夫(集中治療室) 新 博次	[一般講演]先天性Protein S欠損に伴う肺血栓塞栓症の2例	日本循環器学会関東甲信越地方会第173回学術集会	1999.9
新 博次, 井上 博	[一般講演]H-FABP迅速検出試薬が有効であった急性心筋梗塞の3例	日本循環器学会関東甲信越地方会第173回学術集会	1999.9
水野杏一	[一般講演]心室頻拍を伴う右脚ブロック心電図の時間周波数解析	第16回日本心電学会学術集会	1999.10
大場崇芳, 水野杏一, 稲見茂信, 清宮康嗣, 松田裕之, 横山真也, 松本 真, 野村敦宣, 大村和子, 酒井俊太, 今泉孝敏, 大国真一, 張 静, 田中啓治(千葉北総病院集中治療部・内科)	[一般講演]肥大型心筋症における心電図微小高周波成分の変化と心室頻拍発生の関連性	第16回日本心電学会学術集会	1999.10
小林義典, 森田典成, 岩崎雄樹, 林 明聰, 大野則彦, 高山英男, 宮内靖史, 八島正明, 斎藤寛和, 新 博次, 加藤貴雄, 高野照夫, 早川弘一, 他	[一般講演]血中BNP濃度は心室性不整脈の重症度を反映する	第16回日本心電学会学術集会	1999.10
清水秀一, 緒方憲一, 八島正明, 平山悦之, 大坂元久, 小林義典, 斎藤寛和, 新 博次, 高野照夫	[一般講演]心内電極位置の三次元認識システム"LocalLisa"の使用経験	第16回日本心電学会学術集会	1999.10
淀川顕司, 高山英男, 加藤貴雄	[一般講演]心房細動停止過程における細動波の周波数解析	第16回日本心電学会学術集会	1999.10
清水秀治, 長戸孝道, 古明地弘和, 長野具雄, 上田洋一, 寺田秀人, 関山達也, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 奥村英正 ¹⁾ (¹⁾ 東京白十字病院)	[一般講演]ウェーブレット変換を用いた心電図QRS高周波微小成分の検討一心筋症における心室頻拍との関連一	第15回心電図信号情報処理ワークショップ	1999.10
大須賀勝, 長戸孝道, 張 雪君, 清水秀治, 長野具雄, 古明地弘和, 上田洋一, 寺田秀人, 関山達也, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己	[一般講演]超高齢者の肝機能に関する検討	第3回日本肝臓学会大会	1999.10
	[一般講演]女性におけるNon-alcoholic steatohepatitis (NASH)と脂肪肝の異同	第3回日本肝臓学会大会	1999.10

演者名	演題名	学会名	年月
相澤瑞穂, 小林義典, 阿部純子, 森田典成, 岩崎雄樹, 林 明聰, 宮内靖史, 平山悦之, 斎藤寛和, 新 博次, 加藤貴雄, 高野照夫	[一般講演]心房不応期に対する短時間高頻度刺激の影響—特に自立神経の関与について—	第36回日本臨床生理学会総会	1999.10
張 雪君, 本間 博, 清水秀治, 上田洋一, 古明地弘和, 大須賀勝, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己	[一般講演]慢性肝疾患における低酸素血症と肺循環時間	第36回日本臨床生理学会総会	1999.10
岡松健太郎 ¹⁾ , 稲見茂信 ¹⁾ , 横山真也 ¹⁾ , 大場崇芳 ¹⁾ , 松本 真 ¹⁾ , 富村正登 ¹⁾ , 小倉宏道 ¹⁾ , 大村和子 ¹⁾ , 酒井俊太 ¹⁾ , 大國眞一 ¹⁾ , 水野杏一 ¹⁾ , 高野照夫 ¹⁾ (千葉北総病院内科)	[一般講演]血管内エコー(IVUS)による動脈硬化とCoronary Artery Distensibility(DIST)との関連	第36回日本臨床生理学会総会	1999.10
高山英男, 小林義典, 清野精彦, 勝田悌実, 高野照夫, 他	[一般講演]肝右葉に初発し区域切除後、両側副腎に再発した炎症性偽腫瘍の1例	第476回日本内科学会関東地方会	1999.10
斎藤寛和 ¹⁾ , 岩崎雄樹, 大野則彦, 緒方憲一 ¹⁾ , 松本 真, 平山悦之, 宗像一雄 ¹⁾ (第二病院内科)	[一般講演]T波変動解析:T wave alternans(TWA)を中心に	第13回日本エム・イー学会秋季大会	1999.10
斎藤寛和	[一般講演]発作性心房細胞の薬物治療	第17回東京不整脈シンポジウム	1999.10
小林由子 ¹⁾ , 村上隆介 ¹⁾ , 小倉順子 ¹⁾ , 玉井 仁 ¹⁾ , 山本 鼎 ¹⁾ , 田中古登子 ²⁾ , 藤田信輔 ²⁾ , 長澤紘一 ²⁾ , 他 ¹⁾ (多摩永山病院放射線科, ²⁾ 同内科)	[一般講演]心膜中皮腫の1例	第13回胸部放射線研究会	1999.10
内田高浩, 小谷英太郎, 関戸司久, 藤田進彦, 桜井 薫, 高橋保裕, 石川正也, 山本 剛, 笠神康平, 上村竜太, 藤岡幹雄, 佐藤直樹, 中込明裕, 安武正弘, 草間芳樹, 高山守正, 高野照夫, 宗像一雄	[一般講演]Multi-Link Stentのデリバリー困難後のステント離脱に, Low profile Balloonを用い離脱ステント通過により標的病変治療に成功した2例	第15回日本心血管インターベンション学会関東甲信越地方会	1999.10
池崎弘之, 設楽敏朗, 竹田晋浩 ¹⁾ , 木内要, 高山守正, 小川 龍 ¹⁾ , 高野照夫 ¹⁾ (麻酔科)	[一般講演]急性心不全における非侵襲的人工呼吸器BiPAPR利用の現状および有用性	第37回日本人工臓器学会大会	1999.10
高野雅充, 酒井俊太, 平澤泰宏, 田邊潤, 清宮康嗣, 横山真也, 大場崇芳, 富村正登, 小倉宏道, 水野杏一(千葉北総病院内科)	[一般講演]Cutting balloon angioplastyにおける血管内エコーの有用性	13回心臓血管内視鏡レーザー形成術研究会	1999.10
石川正也 ¹⁾ , 上村竜太 ¹⁾ , 植木信江 ¹⁾ , 高井恵美子 ¹⁾ , 佐々木孝 ¹⁾ , 信士陽子 ¹⁾ , 石井庸介 ¹⁾ , 大野則彦 ¹⁾ , 笠神康平 ¹⁾ , 設楽敏朗 ¹⁾ , 緒方憲一 ¹⁾ , 関戸司久 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 池崎弘之 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 森田典成、藤岡幹雄、清野精彦、高野照夫 ¹⁾ (集中治療室)	[一般講演]多枝冠動脈が誘発された”たこつぼ型心筋症”的2例	日本循環器学会関東甲信越地方会第174回学術集会	1999.11
愛須紀子, 雪吹周生, 川嶋修司, 土田貴也, 大塚俊昭, 山根吉人, 青木 聰, 田寺 長, 藤田信輔, 井野 威, 鈴木 健, 長澤紘一(多摩永山病院内科)	[一般講演]広範囲に異常Q波が出現し, 多彩な刺激伝導傷害を呈するも経過中心収縮能は正常に保たれた心筋炎の1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第174回学術集会	1999.11
吉川雅智, 伊佐治剛, 石川正也, 岩田卓郎, 掃部弘行, 今泉孝敬, 田中啓治, 清宮康嗣, 酒井俊太, 水野杏一(千葉北総病院集中治療部・内科)	[一般講演]人工弁に由来すると考えられた可動性円形塞栓により切迫梗塞をきたした1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第174回学術集会	1999.11
田中古登子, 椎葉邦人, 古明地弘和, 斎藤 勉, 清野精彦, 高野照夫	[一般講演]マルファン症候群に甲状腺機能亢進症を合併した1例	第477回日本内科学会関東地方会	1999.11

演者名	演題名	学会名	年月
岩崎雄樹, 斎藤寛和 ¹⁾ , 井野 咲 ²⁾ , 小野 いすず, 小野卓哉, 小林義典, 本間 博, 新 博次, 高野照夫(¹⁾ 第二病院内科, ²⁾ 多摩永山病院内科)	[一般講演]神経關節性失神の精神的側面—パニック障害を誘因とした1例—	第52回日本自律神経学会 総会	1999.11
山根吉人, 川嶋修司, 雪吹周生, 土田貴也, 大塚俊昭, 青木 啓, 藤田信輔, 鈴木 健, 長澤紘一(多摩永山病院内科)	[一般講演]急性心筋梗塞に対する再灌流療法の医療経済的效果	日本医科大学医学会第99回例会	1999.11
高山守正, 高野照夫	[一般講演]東京都におけるCCUネットワークの利用状況	第19回CCU研究会	1999.11
大野則彦, 笠神康平, 高山守正, 池崎弘之, 殿東敏朗, 上村竜太, 関戸司久, 佐藤直樹, 安武正弘, 高野照夫(集中治療室)	[一般講演]高齢者急性冠症候群の急性期治療と退院後の活動について	第19回CCU研究会	1999.11
山科育子 ¹⁾ , 横山広行 ¹⁾ , 飯泉 匡 ¹⁾ , 木内 要 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 清野精彦, 高野照夫, 他(¹⁾ 集中治療室)	[一般講演]術後早期発症の肺血栓症に対する線溶療法の用量・投与時期に関する検討	第6回肺塞栓症研究会	1999.11
美浦和代, 加藤浩司, 宮内靖史, 清水秀治, 上田洋一, 古明地弘和, 大須賀勝, 関山達也, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己	[一般講演]興味ある臨床像、組織所見を呈したnon-alcoholic statohepatitis(NASH)の1例	第257回日本消化器病学会 関東支部例会	1999.12
大野則彦, 斎藤寛和, 加藤貴雄, 立野政雄 ¹⁾ , 中村 幹 ¹⁾ , 田頭 熊 ¹⁾ , 小林真一 ²⁾ , 長澤紘一 ³⁾ (¹⁾ 新座志木中央総合病院臨床薬理センター, ²⁾ 聖マリアンナ医大薬理学, ³⁾ 多摩永山病院内科)	[一般講演]健常成人におけるモサブリド単独およびエリスロマイシン併用時の心電図に及ぼす影響	第20回日本臨床薬理学会 大会	1999.12
横山広行, 及川恵子, 福間長知, 安武正弘, 高野照夫, 早川弘一, 他	[一般講演]Phosphodiesterase 5阻害薬シルデナフィル適応勃起不全例における冠危険因子と潜在的虚血性心疾患の検討	第20回日本臨床薬理学会 大会	1999.12
西垣龍太郎, 本間 博, 平山悦之, 宗像一雄, 高野照夫	[一般講演]慢性心不全例における末梢循環の評価—塩酸オルブリノン負荷とsir-plethysmographyを用いて—	第20回日本臨床薬理学会 大会	1999.12
山本 剛, 中込明裕, 山根吉人, 川嶋修司, 大野忠明, 青木 啓, 雪吹周生, 田中邦夫, 鈴木 健, 長澤紘一(多摩永山病院内科)	[一般講演]糖尿病患者の冠動脈病変は漸進性動脈硬化性病変が多い	第40回日本脈管学会総会	1999.12
畠 典武, 豊田隆志, 三浦洋司, 鈴木雄一朗, 泽川顯司, 稲見茂信(国立横須賀病院循環器科)	[一般講演]虚血性心疾患における接着分子の臨床的意義についての検討	第40回日本脈管学会総会	1999.12
田邊 潤, 酒井俊太, 稲見茂信, 横山真也, 大場崇芳, 松本 真, 富村正登, 大村和子, 山内茂生, 水野杏一, 清宮康嗣, 松田宏之, 今泉孝敏, 田中啓治(千葉北総病院集中治療部・内科)	[一般講演]急性心筋梗塞に対するステント留置後の内膜の経時的観察	7回心血管内イメージング研究会	1999.12
稻見茂信, 田邊 潤, 平澤泰宏, 高野雅充, 清宮康嗣, 大場崇芳, 横山真也, 富村正登, 小倉宏道, 酒井俊太, 山内茂生, 畠 典武, 水野杏一(千葉北総病院集中治療部・内科)	[一般講演]感染症やホモシステインが虚血性心疾患の病態にいかに関与するか?	第13回日本冠疾患学会	1999.12
清宮康嗣, 水野杏一, 平澤泰宏, 田邊 潤, 稲見茂信, 高野雅充, 横山真也, 大場崇芳, 富村正登, 小倉宏道, 酒井俊太, 山内茂生(千葉北総病院集中治療部・内科)	[一般講演]急性冠症候群におけるブラークの破綻部位の検討	第13回日本冠疾患学会	1999.12

演者名	演題名	学会名	年月
大場崇芳, 酒井俊太, 品田卓郎, 平澤泰宏, 田邊潤, 稲見茂信, 掃部弘行, 清宮康嗣, 高野雅充, 横山真也, 富村正登, 小倉宏道, 山内茂生, 草間芳樹, 水野杏一(千葉北総病院集中治療部・内科)	[一般講演]血管内エコーによりステント留置後再狭窄はどの程度減らせるか?	第13回日本冠疾患学会	1999.12
掃部弘行 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 小原俊彦 ¹⁾ , 今泉孝敬 ¹⁾ , 高山英男, 加藤貴雄, 高野照夫 ^(1)千葉北総病院集中治療部)	[一般講演]急性心筋梗塞に伴う虚血性不整脈に対するカリウムチャネル遮断薬MS-551の有用性	第12回心臓性死研究会	1999.12
田中古登子, 藤田進彦, 藤岡幹雄, 斎藤勉, 太田真夫, 橋本英洋, 高野照夫	糖尿病の発症により診断した著明な脾石、石灰化を伴う特発性慢性脾炎の一例	第37回日本糖尿病学会関東甲信越地方会	2000.1
山根吉人, 川嶋修司, 雪吹周生, 土田貴也, 大塚俊昭, 青木聰, 藤田信輔, 鈴木健, 長澤紘一(多摩永山病院内科)	[一般講演]急性心筋梗塞に対する再灌流療法の医療経済的効果	第34回日本成人病学会	2000.1
清宮康嗣, 横山真也, 平澤泰宏, 田邊潤, 高野雅充, 大場崇芳, 富村正登, 小倉宏道, 酒井俊太, 水野杏一, 吉川雅智, 伊佐治剛, 石川正也, 品田卓郎, 掃部弘行, 今泉孝敬, 田中啓治(千葉北総病院集中治療部・内科)	[一般講演]人工弁由来血栓塞栓症の診断および治療方針決定に血管内視鏡が有用であった切迫梗塞の1例	日本心血管インターベンション学会第8回ウインターミーティング	2000.1
田邊潤, 酒井俊太, 平澤泰宏, 高野雅充, 清宮康嗣, 横山真也, 大場崇芳, 富村正登, 小倉宏道, 山内茂生, 水野杏一, 品田卓郎, 掃部弘行, 今泉孝敬, 田中啓治(千葉北総病院集中治療部・内科)	[一般講演]内膜の経時的観察による急性心筋梗塞に対するステント療法の有用性の検討	日本心血管インターベンション学会第8回ウインターミーティング	2000.1
川口直美, 井野威, 丸山光紀, 宮本新次郎, 田寺長, 鈴木健, 長澤紘一, 他(多摩永山病院内科)	[一般講演]Verapamil投与により頻拍中にAV deissoiationを呈したslow-slow型房室結節リエントリー頻拍の一例	第12回臨床不整脈研究会	2000.1
高山英男, 淀川顯司, 吳小怡, 加藤貴雄	[一般講演]高分解能心電図を用いた抗不整脈薬・薬理作用の薬効力学的分析	第10回体表心臓微小電位研究会	2000.2
緒方憲一, 清水秀一, 八島正明, 平山悦之, 小林義典, 新博次, 加藤貴雄, 高野照夫, 斎藤寛和 ^(1)第二病院内科)	[一般講演]持続性T波オルタナスの出現機序一筋小胞体Calcium cyclingの影響	第10回体表心臓微小電位研究会	2000.2
堀江格, 宮内靖史, 木内要, 斎藤勉, 高山守正, 清野精彦, 高野照夫, 橋本綱子, 山田宣孝, 田村浩一, 山中宣昭	[一般講演]Fibromuscular dysplasiaに伴う上腸間膜動脈閉塞症により急性循環不全をきたした1剖検例	日本循環器学会関東甲信越地方会第175回学術集会	2000.2
宜保陽介, 楠方美文, 綱谷賢一, 山口朋禎, 高橋直人, 内田高浩, 内田拓実, 斎藤寛和, 宗像一雄	[一般講演]頭痛・発熱を主訴に発症し, 広範囲に脳血栓を来たした感染性心内膜炎の一例	日本循環器学会関東甲信越地方会第175回学術集会	2000.2
小林肇, 植戸律子, 石井庸介, 大野則彦, 笠神康平, 上村竜太, 関戸司久, 佐藤直樹, 安武正弘, 高山守正, 田中啓治, 清野精彦, 高野照夫	[一般講演]急性心膜炎の臨床像:心のう液貯留の有無からみた検討	日本循環器学会関東甲信越地方会第175回学術集会	2000.2
富村正登, 田邊潤, 平澤泰宏, 品田卓郎, 高野雅充, 清宮康嗣, 掃部弘行, 大場崇芳, 横山真也, 小倉宏道, 酒井俊太, 今泉孝敬, 草間芳樹, 山内茂生, 水野杏一(千葉北総病院内科・集中治療部)	[一般講演]Cutting balloon後, 大きなflapとなった血管内xanthomaの1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第175回学術集会	2000.2
山本剛, 上田洋一, 古明地弘和, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 高野照夫, 他	[一般講演]高度胆汁うつ滞を伴い先天性汗腺維症が疑われた興味ある1例	日本消化器病学会関東支部第258回支部例会	2000.3
山口朋禎, 保倉利江, 綱谷賢一, 中村俊彦, えび澤理人, 寺田秀人, 斎藤寛和, 村澤恒男, 北村伸, 宗像一雄	[一般講演]特発性門脈圧亢進症にオリーブ橋小脳変性症を合併した1例	第480回日本内科学会関東地方会	2000.3
山科育子, 横山広行, 安武正弘, 木内要, 高山守正, 清野精彦, 高野照夫, 他	[一般講演]術後早期発症の急性肺血栓塞栓症に対する戦線療法の有効性と合併症に関する検討	第27回日本集中治療医学年会総会	2000.3

演者名	演題名	学会名	年月
石川正也, 森田典成, 高山守正, 石井健輔, 進士陽子, 上村竜太, 設楽敏朗, 緒方憲一, 関戸司久, 佐藤直樹, 池崎弘之, 安武正弘, 高野照夫	[一般講演]術中に発症した"たこつぼ型心筋症"の回復後に肺血栓塞栓症を発症した1例	第27回日本集中治療医学 会総会	2000.3
緒方憲一 ¹⁾ , 石井庸介 ¹⁾ , 上村竜太 ¹⁾ , 設 楽敏朗 ¹⁾ , 関戸司久 ¹⁾ , 池崎弘之 ¹⁾ , 安武 正弘 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 山科育子, 横山広 行, 木内 要, 高野照夫, 他 ^(1)集中治療 室)	[一般講演]急性肺血栓塞栓症に対する經 カテーテル肺動脈血栓吸引術の効果	第27回日本集中治療医学 会総会	2000.3
高山守正, 上村竜太, 高野照夫	[一般講演]急性心筋梗塞の冠血行動態と 左室機能維持効果について:急性期冠内 圧評価	第27回日本集中治療医学 会総会	2000.3
上村竜太, 笠神康平, 大野則彦, 石井庸 介, 緒方憲一, 設楽敏朗, 関戸司久, 佐 藤直樹, 池崎弘之, 安武正弘, 高山守 正, 高野照夫(集中治療室)	[一般講演]CHDFの効果と限界	第27回日本集中治療医学 会総会	2000.3
池崎弘之, 設楽敏朗, 後藤吉次, 渡辺朋 子, 佐藤直樹, 安武正弘, 高山守正, 高 野照夫, 他)(集中治療室)	[一般講演]当院集中治療室における precussion ventilator利用の現状, その効 果	第27回日本集中治療医学 会総会	2000.3
設楽敏朗, 関戸司久, 佐藤直樹, 池崎弘 之, 安武正弘, 高山守正, 高野照夫, 他 (集中治療室)	[一般講演]肺炎患者に対する伏臥位療法 の効果について	第27回日本集中治療医学 会総会	2000.3
後藤吉次, 上村竜太, 石井庸介, 田中久 美, 安武正弘, 高山守正, 高野照夫(集 中治療室)	[一般講演]IABPバルーンの部分破裂によ りバルーンが抜去不能となった1症例	第27回日本集中治療医学 会総会	2000.3
峯 克也, 関戸司久, 笠神康平, 大野則 彦, 石井庸介, 緒方憲一, 設楽敏朗, 上 村竜太, 佐藤直樹, 池崎弘之, 安武正 弘, 高山守正, 高野照夫(集中治療室)	[一般講演]急性大動脈解離発症に遅延 する低酸素血栓病態の分析	第27回日本集中治療医学 会総会	2000.3
中村欣久, 杉本忠彦, 高野雅充, 松山小 太郎, 岩原信一郎, 他(海老名総合病院 附属東病院循環器センター)	[一般講演]心肺停止で来院した若年者急 性心筋梗塞に対して、PCPSによる補助循 環で救命できた2症例	第27回日本集中治療医学 会総会	2000.3

2000 年度研究業績

(2000.4.1～2001.3.31)

著者・所属	論文名	雑誌名	年	巻号	ページ
Miyauchi Y, Kobayashi Y, Ino T, Atarashi H	[原著]Identification of the Slow Conduction Zone in Idiopathic Left Ventricular Tachycardia	PACE	2000.4	23(4)	481-7
Endo T, Katoh T, Kiuchi K, Katsuta Y, Shimizu S, Takano T	[原著]Famotidine and Acquired Long QT Syndrome	Am J Med	2000.4	108	438-9
Nakagomi A, Freedman SB, Geczy CL (School of Pathology, University of New South Wales, Concord Hospital)	[原著]Interferon- γ and Lipopolysaccharide potentiate monocyte tissue factor induction by C-reactive protein: Relationship with age, sex and hormone replacement treatment	Circulation	2000.4	101(15)	1785-91
Ino T, Miyamoto S, Ohno T, Tadera T (Department of Internal Medicine, Tama-Nagayama Hospital)	[原著]Exit block of focal repetitive activity in the superior vena cava masquerading as a high right atrial tachycardia	J Cardiovasc Electrophysiol	2000.4	11(4)	480-3
Cao JM, Chen LS, KenKnight BH, Ohara T, Lee MH, et al (Division of Cardiology, Cedars-Sinai Medical Center)	[原著]Nerve sprouting and sudden cardiac death	Circ Res	2000.4	86(7)	816-21
Vatner DE, Yang GP, Geng YJ, Asai K, Yun JS, et al (Cardiovascular Research Institute, University of Medicine and Dentistry of New Jersey)	[原著]Determinants of the Cardiomyopathic Phenotype in Chimeric Mice Overexpressing Cardiac Gs α	Circ Res	2000.4	86	802-6
Ishikawa Y, Grant BS, Okumura S, Schwencen C, Yamamoto M (Weis Center for Research, Department of Molecular and Cellular Physiology, Pennsylvania State Medical College)	[原著]Immunodetection of adenylyl cyclase protein in tissues	Mol Cell Endocrinol	2000.4	162(1-2)	107-12
Hayashi M, Kobayashi Y, Miyauchi Y, Morita N, Iwasaki Y, Yashima M, Atarashi H, Takano T, Nitta T ¹ , Tanaka S ¹ (¹ The Second Department of Surgery)	[原著]Analysis of Posterior Mitral Annular Activation During Entrainment and Catheter Ablation of Mitral Isthmus Ventricular Tachycardia Using a Coronary Sinus Catheter	J Interven Cardiac Electrophysiol	2000.6	4(2)	427-434
Yashima M, Ohara T, Cao JM, Rim YH, Fishbein MC, et al (Department of Medicine, Cedars-Sinai Medical Center)	[原著]Nicotine increases ventricular vulnerability to fibrillation in hearts with healed myocardial infarction	Am J Physiol	2000.6	278(6)	H2124-33
Asai K, Kudej RK, Shen YT, Yang GP, Takagi G, Kudej AB, Geng YJ, Sato N, et al (Cardiovascular Research Institute, University of Medicine and Dentistry of New Jersey)	[原著]Peripheral vascular endothelial dysfunction and apoptosis in old monkeys	Arterioscler Thromb Vasc Biol	2000.6	20(6)	1493-9
Takagi G, Kiuchi K, Endo T, Yamamoto T, Sato N, Nejima J, Takano T	[原著]Alpha-human atrial natriuretic peptide, carperitide, reduces infarct size but not arrhythmias after coronary occlusion/reperfusion in dogs	J Cardiovasc Pharmacol	2000.7	36(1)	22-30
Shimizu S, Kobayashi Y, Miyauchi Y, Ohmura K, Atarashi H, Takano T	[原著]Temporal and spatial dispersion of repolarization during premature impulse propagation in human intact ventricular muscle: Comparison between single vs double premature stimulation	Europace	2000.7	2	201-6
Atarashi H ¹ , Kuruma A, Yashima M, Saitoh H ² , Ino T ¹ , Endoh Y ¹ , Hayakawa H ¹ (¹ Department of Internal Medicine, Tamanagayama Hospital, ² Daini Hospital)	[原著]Pharmacokinetics of landiolol hydrochloride, a new ultra-short-acting β -blocker, in patients with cardiac arrhythmias	Clin Pharmacol Ther	2000.8	68(8)	143-50
Athill CA, Wu TJ, Yashima M, Kim YH, Weiss JN, et al (Division of Cardiology, Cedars-Sinai Medical Center)	[原著]Influence of wavefront dynamics on transmembrane potential characteristics during atrial fibrillation	J Cardiovasc Electrophysiol	2000.8	11(8)	913-21

著者・所属	論文名	雑誌名	年	巻号	ページ
Yokoyama H, Gunasegaran S, Harding SE, Avkiran M (Center for Cardiovascular Biology and Medicine, King's College London, The Rayne Institute, St. Thomas' Hospital)	[原著] Sarcolemmal Na ⁺ /H ⁺ exchange activity and expression in human ventricular myocardium	JACC	2000.8	36(2)	534-40
Endo T, Katsuta Y, Kimura Y ¹⁾ , Kikuchi A ¹⁾ , Aramaki T, Takano T, Tajima H ²⁾ , Fukuda Y ²⁾ , Sugisaki Y ²⁾ ^{(1)Department of Radiology, (2)Department of Pathology)}	[原著] A Variant form of Churg-Strauss Syndrome: Initial Temporal Non-Giant Cell Arthritis Followed by Asthma—is this a distinct clinicopathologic Entity?	Human Pathology	2000.9	31(9)	1169-71
Saitoh H, Ogata K, Nomura A, Hirayama Y, Atarashi H ¹⁾ , Munakata K ^(1)Dept. of Internal Med.Tama-Nagayama Hospital)	[原著] Mechanism of constant u-volt level T-wave alternans—role of intracellular calcium cycling regulated by sarcoplasmic reticulum-	Jpn J Electrocardiol	2000.9	20	73-5
Shinmura K, Tang XL, Wang Y, Xuan YT, Liu SQ, Takano T, et al (Center for Cardiovascular Biology and Medicine, King's College London, The Rayne Institute, St. Thomas' Hospital)	[原著] Cytochrome c mediates the cardioprotective effects of the late phase of ischemic preconditioning in conscious rabbits	Pro Natl Acad Sci USA	2000.9	97	10197-202
Voroshilovsky O, Qu Z, Lee MH, Ohara T, et al (Department of Medicine, Cedars-Sinai Medical Center)	[原著] Mechanisms of ventricular fibrillation induction by 60-Hz alternating current in isolated swine right ventricle	Circulation	2000.9	102(13)	1569-74
Yoshida T, Kiuchi K, Nejima J, Kudo M, Asano G ¹⁾ , Takano T ^(1)Department of Pathology)	[原著] Expression of Endothelin-1 After Endothelial Denudation of Thoracic Aortas in Experimental Hypercholesterolemic Rats	J Nippon Med Sch	2000.10	67(5)	342-51
Avkiran M, Yokoyama H (Center for Cardiovascular Biology and Medicine, King's College London, The Rayne Institute, St. Thomas' Hospital)	[原著] Adenosine A1 receptor stimulating inhibits α -adrenergic activation of the cardiac sarcolemmal Na ⁺ /H ⁺ exchanger	Brit J Pharmacol	2000.10	131(4)	659-62
Inoue H ¹⁾ , Atarashi H ^(1)The Second Department of Internal Medicine, Toyama Medical and Pharmaceutical University)	[原著] Risk factors for thromboembolism in patients with paroxysmal atrial fibrillation	Am J Cardiol	2000.10	86	852-5
Fukushima M, Seino Y, Yoshikawa M, Ueda Y, Takano T	[原著] A Case of Penetrating Aortic Atherosclerotic Ulcer with Hemoptysis	Jpn Heart J	2000.11	41(6)	781-5
Takano H, Tang XL, Bolli R (Center for Cardiovascular Biology and Medicine, King's College London, The Rayne Institute, St. Thomas' Hospital)	[原著] Differential role of K(ATP) channels in late preconditioning against myocardial stunning and infarction in rabbits	Am J Physiol	2000.11	279	H2350-9
Xuan YT, Tang XL, Qiu Y, Banerjee S, Takano H, Bolli R (Center for Cardiovascular Biology and Medicine, King's College London, The Rayne Institute, St. Thomas' Hospital)	[原著] Biphasic response of cardiac NO synthase isoforms to ischemic preconditioning in conscious rabbits	Am J Physiol	2000.11	279	H2360-71
Kuruma A, Hirayama Y, Hartzell HC (Department of Cell Biology, Emory University School of Medicine)	[原著] A hyperpolarization- and acid-activated nonselective action current in Xenopus oocytes	Am J Physiol Cell Physiol	2000.11	279	1401-13
Valderrabano M, Kim YH, Yashima M, Wu TJ, et al (Department of Medicine, Cedars-Sinai Medical Center)	[原著] Obstacle-induced transition from ventricular fibrillation to tachycardia in isolated swine right ventricles: insights into the transition dynamics and implications for the critical mass	J Am Coll Cardiol	2000.11	36(6)	2000-8
Takano H, Tang XL, Kodani E, Bolli R (Center for Cardiovascular Biology and Medicine, King's College London, The Rayne Institute, St. Thomas' Hospital)	[原著] Late preconditioning enhances recovery of myocardial function after infarction in conscious rabbits	Am J Physiol	2000.12	279(5)	H2372-81
Omichi C, Lee MH, Ohara T, Naik AM, et al (Department of Medicine, Cedars-Sinai Medical Center)	[原著] Comparing cardiac action potentials recorded with metal and glass microelectrodes	Am J Physiol	2000.12	279(6)	H3113-7

著者・所属	論文名	雑誌名	年	巻号	ページ
Kudej RK, Zhang XP, Ghaleh B, Huang CH, Jackson JB, Kudej AB, Sato N, Sato S, et al (Cardiovascular Research Institute, University of Medicine and Dentistry of New Jersey)	(原著) Enhanced cAMP-induced nitric oxide-dependent coronary dilation during myocardial stunning in conscious pigs	Am J Physiol	2000.12	279(6)	12967-74
Chang CM, Wu TJ, Zhou S, Doshi RN, Lee MH, Ohara T, et al (Department of Medicine, Cedars-Sinai Medical Center)	(原著) Nerve sprouting and sympathetic hyperinnervation in a canine model of atrial fibrillation produced by prolonged right atrial pacing	Circulation	2001.1	103(1)	22-5
Nishiyama Y, Nejima J, Watanabe A, Kotani E, Sakai N, Hatamochi A, Shinkai H, Kiuchi K, Tamura K, Shimada T, Takano T, Katayama Y	(原著) Ehlers-Danlos syndrome type IV with a unique point mutation in COL3A1 and familial phenotype of myocardial infarction without organic coronary stenosis	J Intern Med	2001.1	249(1)	103-108
Asai K, Kudej RK, Takagi G, Kudej AB, Natividad F, et al (Cardiovascular Research Institute, University of Medicine and Dentistry of New Jersey)	(原著) Paradoxically enhanced endothelia-B Receptor-Mediated Vasoconstriction in Conscious Old Monkeys	Circulation	2001.1	103	2382-6
Shimizu S, Osaka M, Saithoh H, Atarashi H ¹⁾ , Takano T ¹⁾ (Department of Internal Medicine, Tama-Nagayama Hospital)	(原著) Mutual information discloses organization of multiple wavelets toward the termination of atrial fibrillation	Jpn Circ J	2001.2	65	111-6
Wu TJ, Ong JJ, Chang CM, Doshi RN, Yashima M, et al (Department of Medicine, Cedars-Sinai Medical Center)	(原著) Pulmonary veins and ligament of Marshall as sources of rapid activations in a canine model of sustained atrial fibrillation	Circulation	2001.2	103(8)	1157-63
Hirayama Y, Kuruma A, Hiraoka M, Kanano J (Department of Cardiovascular Disease, Medical Research Institute, Tokyo Medical and Dental University)	(原著) Beat Dependent alteration of Ca ²⁺ -activated Cl ⁻ current during rapid stimulation in rabbit ventricular myocytes	Jpn Heart J	2001.3	42(2)	207-19
Taniguchi H, Miyachi Y, Kobayashi Y, Seino Y, Takano T	(原著) Pulmonary Embolism from Thrombosis in a Duplicated Inferior Vena Cava Developing After an Electrophysiologic Procedure	J Interven Cardiac Electrophysiol	2001.3	5	75-9
Takano H, Bolli R, Black RG, Jr, Kodani E, et al (Center for Cardiovascular Biology and Medicine, King's College London, The Rayne Institute, St. Thomas' Hospital)	(原著) A1 or A3 adenosine receptors induce late preconditioning against infarction in conscious rabbits by different mechanisms	Circ Res	2001.3	88(5)	520-528
Ohara T, Ohara K, Cao JM, Lee MH, et al (Department of Medicine, Cedars-Sinai Medical Center)	(原著) Increased wave break during ventricular fibrillation in the epicardial border zone of hearts with healed myocardial infarction	Circulation	2001.3	103(10)	1465-72
Mizuno K, Sakai S, Yokoyama S, Ohba T, Uemura R, Seimiya Y, Takano M, Tanabe J, Tomimura M, Imaizumi T, Ma Shu M, Inami S, Okamatsu K, Hata N (Internal Medicine, Chiba Hokusoh Hospital)	(原著) Percutaneous Transluminal Angioscopy during Coronary Intervention	Diagnostic and Therapeutic Endoscopy	2001	7	15-20
小林義典	(原著) 心房細動における薬物および非薬物併用療法、いわゆるHybrid Therapyについて	J Nippon Med Sch	2000.4	67(2)	156-7
岩崎雄樹, 小林義典, 宮内靖史, 森田典成, 林明聰, 大野則彦, 高山英男, 八島正明, 平山悦之, 斎藤寛和, 新博次, 加藤貴雄, 高野照夫	(原著) 左冠尖からの高周波通電により焼灼に成功した特発性心室頻拍の1例	不整脈	2000.4	16(4)	514-7
上村竜太 ¹⁾ , 高山守正, 関戸司久 ¹⁾ , 木内 要, 高野照夫 ¹⁾ (集中治療室)	(原著) 急性心筋梗塞における責任冠動脈内圧測定の意義:慢性期左室機能の回復に関与する因子の検討	J Cardiol	2000.4	35(4)	247-55

著者・所属	論文名	雑誌名	年	巻号	ページ
西垣龍太郎, 工藤光洋 ¹⁾ , 横山宗伯 ¹⁾ , 内藤善哉 ¹⁾ , 山田宣孝 ¹⁾ , 浅野伍朗 ¹⁾ , 菅沼真澄 ²⁾ , 七戸和博 ²⁾ , 荒牧琢己 ⁽¹⁾ 病理学教室, ⁽²⁾ 実験動物管理室)	[原著]ストレプトゾトシン投与後の大動脈におけるAdvanced glycation end products, Receptor of AGEs, Nitric oxide synthaseの免疫組織化学的局在	脈管学	2000.4	40(4)	219-25
新 博次 ¹⁾ , 遠藤康実 ¹⁾ , 小林義典, 早川弘一 ⁽¹⁾ 多摩永山病院内科)	[原著]新しいⅢ群抗不整脈薬Sotalolの心房細動への使用経験	Ther Res	2000.4	21	912-4
高野雅充, 水野杏一(千葉北総病院内科)	[原著]急性心筋梗塞に対する冠動脈ステント留置直後にno reflow現象をきたし, その診断に血管内視鏡が有用であった1例	The Circulation Frontier	2000.4	4(4)	54-57
岡島史宣, 江本直也, 石井新哉, 小野瀬裕之, 植原善之, 吉澤雅史, 若林一二, 横山真也, 水野杏一, 今泉孝敬, 田中啓治	[原著]心不全と高度肝機能障害を呈し甲状腺クリーゼと考えられた1例	医学と薬学	2000.4	44(2)	265-9
新 博次 ¹⁾ , 遠藤康実 ¹⁾ , 野村敦宣, 松本真, 小野寺威夫, 北山活気, 井上博 ²⁾ (¹⁾ 多摩永山病院内科, ²⁾ 富山医科大学第二内科)	[原著]アスピリンを投与された心房細動例の血栓梗塞症の危険因子:多施設共同後ろ向き調査	J Cardiol	2000.5	35(5)	373-9
宮本新次郎 ¹⁾ , 井野威 ²⁾ , 平澤泰宏 ¹⁾ , 壬生倉徹志 ¹⁾ , 丸山光紀 ¹⁾ , 大野忠明 ¹⁾ , 遠藤康実 ¹⁾ , 田寺 長 ¹⁾ , 長澤紘一 ¹⁾ , 小林義典, 新 博次 ¹⁾ , 早川弘一(多摩永山病院内科)	[原著]頻拍中の心房への2:1伝導を示した上大静脈起源心房頻拍の1例	臨床心臓電気生理	2000.5	23	149-155
林 明聰, 小林義典, 相澤瑞穂, 阿部純子, 森田典成, 岩崎雄樹, 宮内靖史, 斎藤寛和 ¹⁾ , 新 博次 ²⁾ , 加藤貴雄, 高野照夫, 早川弘一(¹⁾ 第二病院内科, ²⁾ 多摩永山病院内科)	[原著]心臓電気生理学的検査による致死性心室不整脈誘発性の経時的変動と自然発症との関係	臨床心臓電気生理	2000.5	23	85-92
柴田明佳 ¹⁾ , 田所久子 ¹⁾ , 鈴木純子 ¹⁾ , 佐藤知枝 ¹⁾ , 池野廣幸 ¹⁾ , 鈴木 健, 他(¹⁾ 多摩永山病院中央検査室, ²⁾ 同内科)	[原著]酵母様真菌選択分離培養地の有用性	医学検査	2000.5	49(5)	808-813
掃部弘行, 品田卓朗, 小原俊彦, 今泉孝敬, 畑典武, 田中啓治 ¹⁾ , 加藤貴雄 ¹⁾ , 高野照夫 ¹⁾ (1)内科第1)	[原著]Ⅲ群抗不整脈薬塩酸ニフェカラントが急性心筋梗塞患者の血行動態に及ぼす影響	心臓	2000.5	32(5)	124-30
網谷賢一, 山口朋貞, 高橋直人, 内田高浩, 櫛方美文, 宗像一雄, 他(第二病院内科)	[原著]心筋ブリッジ心筋虚血に関与した2症例	J Nippon Med Sch	2000.6	67(3)	206-9
高野照夫, 太田真夫, 馬淵浩輔, 高山守正, 安武正弘 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 他(¹⁾ 集中治療室)	[原著]急性心筋梗塞患者におけるprehospital careの進歩:東京都CCUネットワーク(1982年~1998年)における検討	心臓	2000.10	32(10)	763-72
斎藤寿一 ¹⁾ , 村井和夫 ²⁾ , 井上洋西 ²⁾ , 横山英明 ¹⁾ , 吉田謙一郎 ³⁾ , 松岡博昭 ³⁾ , 堀江考至 ⁴⁾ , 荒牧琢己, 他(¹⁾ 自治医科大学, ²⁾ 岩手医科大学, ³⁾ 獨協医科大学, ⁴⁾ 日本大学医学部)	[原著]医科大学提出試験問題の医師国家試験での利用についての基礎検討:フィールド試験結果の解析	医学教育	2000	16(4)	514
高山守正, 田中啓治, 河口正雄, 林田憲明, 住吉徹哉, 白生川恵一, 斎藤徹, 中村 泰, 斎藤克己, 田村 勤, 坂井 誠, 村上幹高, 長尾建, 内山隆史, 本江純子, 吉野秀郎, 木村 満, 一色高明, 相良耕一, 本宮武司, 山口 徹, 中西成元, 笠貫 宏, 木村佑介, 高野照夫(東京都CCU連絡協議会)	[原著]東京都CCUネットワークの1998年実績報告:現在の問題点とその解決について	Ther Res	2000.10	21(10)	2385-91
大野則彦, 笠神康平 ¹⁾ , 高山守正, 上村竜太, 設楽敏郎 ¹⁾ , 関戸司久 ¹⁾ , 池崎弘行 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 高野照夫(¹⁾ 集中治療室)	[原著]高齢者急性心筋梗塞の急性期治療と退院後の活動性について	Ther Res	2000.10	21(10)	2443-47

著者・所属	論文名	雑誌名	年	巻号	ページ
荒尾正人 ¹⁾ , 説田浩一 ¹⁾ , 清野精彦, 高野照夫 ^{(1)東京都立駒込病院循環器内科}	【原著】シビリダモール負荷心筋シンチグラフィーにおける洗い出し率の不均一性に関する臨床的検討: 冠動脈インターーション適応判定のための新指標	J Cardiol	2000.11	36	285-93
田中啓治, 佐藤直樹(集中治療室)	【原著】急性心不全の新たな治療戦略とhANP	心臓	2001.1	33(1)	55-59
山本 剛, 中込明裕, 大野忠明, 川嶋修司, 山根吉人, 青木聰, 雪吹周生, 田中邦夫, 鈴木健, 長澤紘一, 高野照夫	【原著】糖尿病患者の肝動脈病変はびまん性動脈硬化性病変が多い—新しいextent scoreを用いた検討—	脈管学	2001.2	41	75-80
畑 典武	【原著】発症早期の冠動脈再灌流療法が奏効し, 心機能障害を最小限に抑制できた急性冠症候群の50歳, 男性	Cardio	2001.3	3(3)	2-6
Saitoh H	【総説】Biorhythms in ischemic heart disease, cardiac sudden death and arrhythmia	Asian Med Jl	2000	40(9)	639
大場崇芳, 水野杏一(千葉北総病院内科)	【総説】血管内視鏡による血管内腔表面ブラーク像の評価	日本臨床増刊号(高脂血症)	2000	上	863
酒井俊太, 水野杏一(千葉北総病院内科)	【総説】血管内視鏡: 血管内超音波法	循環器専門医	2000.4	17(4)	13-18
横山広行, 高山守正	【総説】薬物療法と問題点(特集: 急性心筋梗塞: 高齢者の特徴)	ICUとCCU	2000.4	24(1)	31-6
齊藤寛和(第二病院内科)	【総説】発作性心房細動の薬物治療	Ther Res	2000.4	21(3)	508-15
山本 剛, 高野照夫	【総説】経口カテコラミン製剤(基本的な薬の使い方)	診断と治療	2000.4	41	68-70
田中啓治(集中治療室)	【総説】指標の正しい使い方. CVP, PCWP	救急医	2000.5	24(1)	384
田中啓治 ¹⁾ , 石井廉介 ²⁾ (¹ 集中治療室、 ² 外科第2)	【総説】心原性ショックの集中治療, PCPS	Heart View	2000.5	4(3)	88-93
田中啓治 ¹⁾ , 関戸司久, 高野照夫 ^{(1)集中治療室}	【総説】初期治療と循環器医へのコンサルティングのタイミング(透析患者における心合併症, 虚血性心疾患)	腎と透析	2000.5	48(3)	325-29
田中啓治, 安武正弘(集中治療室)	【総説】急性心不全の管理, 基本的治療	レジデントノート	2000.5	2(3)	22-30
佐藤直樹 ¹⁾ , 高山守正 ^{(1)集中治療室}	【総説】急性・慢性病態における対応の実際(心不全の診断・治療の要点とピットフォール)	レジデントノート	2000.5	2(3)	31-38
田中啓治, 藤井正大(集中治療室)	【総説】補助循環:IABPとPCPS	循環器科	2000.5	49	28-34
高野雅充, 水野杏一(千葉北総病院内科)	【総説】冠動脈疾患合併症時の治療	治療	2000.5	82(5)	136-40
加藤貴雄	【総説】Critical CareにおけるSicilian Gambitの適用(特集: 不整脈—新しい治療戦略)	集中治療	2000.5	12(5)	477-87
清野精彦	【総説】急性心不全に強心薬をどう使うか	心臓	2000.5	32(5)	455-7
新 博次(多摩永山病院内科)	【総説】PDE-III阻害薬(Cilostazol)の抗徐脈作用と房室伝導に及ぼす効果	心電図	2000.5	20(Supp 12)	32-41
新 博次(多摩永山病院内科)	【総説】心房細動の薬物治療	臨床成人病	2000.5	30	583-7
新 博次(多摩永山病院内科)	【総説】洞不全症候群	臨床医	2000.5	26	918-9
田島廣之 ¹⁾ , 限崎達夫 ²⁾ , 村田智 ¹⁾ , 川俣博志 ¹⁾ , 岡島雄史 ¹⁾ , 市川和雄 ¹⁾ , 高山守正, 田中啓治 ¹⁾ , 高野照夫 ^{(1)集中治療室、²射線科}	【総説】血栓溶解療法とthrombectomy: 急性肺血栓栓症を中心として	臨床放射線	2000.5	45(6)	719-24

著者・所属	論文名	雑誌名	年	巻号	ページ
安武正弘 ¹⁾ , 高野照夫 ^{(1)集中治療室}	[総説]心筋梗塞(急性期)治療のガイドライン	治療学	2000.6	34(6)	623-32
松本 真, 斎藤寛和 ¹⁾ , 加藤貴雄, 高野 照夫 ^{(1)第二病院内科}	[総説]T wave alternans	臨床検査	2000.6	44(6)	602-7
加藤貴雄, 森田典成	[総説]右脚ブロック+ST上昇(いわゆる Brugada型心電図?)	Jpn J Electrocardiol	2000.6	20(6)	643-5
斎藤寛和(第二病院内科)	[総説]T wave alternans	臨床検査	2000.6	44(6)	602-7
新 博次(多摩永山病院内科)	[総説]心房性不整脈	循環器科	2000.6	47(6)	488-9
水野杏一(千葉北総病院内科)	[総説]急性冠症候群:国際的視野に立った展望	Mebio	2000.7	17(7)	90-91
栗田明 ¹⁾ , Chaitman BR ²⁾ , 水野杏一 ³⁾ , 藤田正俊 ³⁾ , 高瀬凡平 ¹⁾⁽¹⁾ (防衛医科大学, ²⁾ セントルイス大学, ³⁾ 千葉北総病院内科)	[総説]21世紀における虚血性心疾患の治療戦略	Mebio	2000.7	17(7)	100-3
草間芳樹, 本間 博, 高橋直人, 清宮 康嗣, 酒井俊太, 斎藤 勉, 宗像一雄, 岸田 浩	[総説]ドブタミン負荷心エコー法の有用性と問題点:有意冠動脈病変の検出能, 梗塞部壁運動改善予測能について	心臓	2000.7	32(Supp 12)	42-44
平盛勝彦 ¹⁾ , 岸田 浩 ^{(1)岩手医科大学 第二内科}	[総説]長期薬物療法をいつ中止するか(虚血性心疾患におけるうつ血心不全の治療)	心臓	2000.7	32(7)	598-600
岸田 浩, 山中博之 ¹⁾ , 鈴木 健 ¹⁾ , 草間芳樹 ^{(1)多摩永山病院内科}	[総説]日本における抗狭心症薬開発の現状と臨床試験について	Jpn J Clin Pharmacol Ther	2000.7	31(4)	547-55
新 博次(多摩永山病院内科)	[総説]薬剤選択の基本と実際 ③不整脈	薬のサイエンス	2000.7	5(7)	70-72
加藤貴雄	[総説]労作性狭心症と不整脈(虚血性心疾患の不整脈とその対策)	心臓	2000.8	32(8)	671-2
新 博次(多摩永山病院内科)	[総説]新薬の開発状況	治療	2000.8	82(8)	Apr-81
新 博次(多摩永山病院内科)	[総説]Naチャンネル遮断薬(I群薬)	medicina	2000.8	37(8)	1359-61
清野精彦	[総説]心不全治療におけるEBM(特集: Common diseaseのEvidence based-MedicineとExperience-based Medicine)	臨床成人病	2000.10	30(10)	1323-28
三浦洋司, 木内 要, 高野照夫	[総説]急性心不全の強心薬治療ホスホジエステラーゼⅢ阻害薬の役割と限界	Current Topics in Cardiology	2000.10	25	2-12
清野精彦	[総説]マルファン症候群と妊娠(特集:妊娠と他科連携)	日本医師会雑誌	2000.10	124(7)	1012
小林義典	[総説]植え込み型除細動器(不整脈治療の実際)	診断と治療	2000.10	88(10)	1881-7
清野精彦	[総説]心不全治療における静注強心薬について(特集:心不全の薬物療法:患者QOLを重視した治療とは?)	今月の治療	2000.10	8(11)	114-9
水野杏一(千葉北総病院内科)	[総説]心臓病治療の最前線	Heart Net	2000.10	1-3	323
高山守正, 清水 淳 ^{(1)麻酔科学}	[総説]非心臓手術における冠動脈疾患評価	Lisa	2000.11	7(11)	1064-8
斎藤寛和(第二病院内科)	[総説]T波オルタナנסの現状と展望	循環器情報処理	2000.11	15	97-105
斎藤寛和(第二病院内科)	[総説]循環系とアデノシン・ATP受容体	LiSA	2000.12	7(12)	1178-81
新 博次(多摩永山病院内科)	[総説]心房細動に対する抗不整脈薬の使い分け	ハートナーシング	2000.12	13	1616-19

著者・所属	論文名	雑誌名	年	巻号	ページ
山本剛 ⁽¹⁾ , 高山守正 ⁽¹⁾ 集中治療室	【総説】心循環系のモニタリング: 中心静脈圧・Swan-Ganzカテーテル・動脈圧モニタリングによる診断(救急・集中治療における低侵襲的診断法・治療法)	集中治療	2000.12	12	13-21
岡松健太郎, 水野杏一(千葉北総病院内科)	【総説】心血管インターベンションをガイドするC.心血管内視鏡	Heart View	2000.12	4(12)	20-24
高山守正	【総説】[感染性心内膜炎]予防, 病態, 内科治療(特集: 心臓弁膜症<弁膜疾患の診断・治療・予後>)	内科	2001.1	87(1)	103-9
清野精彦, 池田眞人, 清水秀治, 高木啓倫, 説田浩一 ⁽¹⁾ (東京都立駒込病院循環器科)	【総説】Ongoing Myocardial Damage(特集: うつ血性心不全の治療—新世紀への展開)	Heart View	2001.1	15(1)	86-91
高野照夫	【総説】21世紀の集中治療医学: とくに心疾患者治療の新しい方向(特集: 集中治療医学21世紀の展望)	ICUとCCU	2001.1	25(1)	21-24
新 博次(多摩永山病院内科)	【総説】上室性頻脈性不整脈の薬物療法	Current Topics in Cardiol	2001.1	26	42-49
佐藤直樹(集中治療室)	【総説】難治性心不全の薬物治療戦略	循環器科	2001.1	49	7-14
横山真也, 水野杏一(千葉北総病院内科)	【総説】局在病変を観察する: 治療で何が変わったか	Heart View	2001.2	5(2)	18-26
小林義典	【総説】心臓突然死の予防: 植え込み型除細動器とは?	Medical Practice	2001.2	18(2)	245-250
田島廣之 ⁽¹⁾ , 限崎達夫 ⁽¹⁾ , 高野照夫 ⁽¹⁾ (放射線科)	【総説】診断の進歩 肺動脈造影(特集: 急性肺動脈血栓梗塞症)	日内誌	2001.2	90(2)	64-67
猪方憲一, 斎藤寛和, 龜山幹彦, 丸山光紀, 清水秀一, 大野則彦, 松本 真, 平山悦之, 小林義典, 新 博次, 加藤貴雄, 高野照夫	【総説】T wave alternansの機序(細胞内カルシウムサイクリングの影響)	心臓	2001.2	33(Supp. 1.1)	26-31
高野照夫	【総説】急性肺動脈血栓梗塞症(特集: 急性肺動脈血栓梗塞症)	日内誌	2001.2	90(2)	1-2
岸田 浩	【総説】患者携帯型心電計に纏わる話し	心電図	2001.2	21(2)	206-8
加藤貴雄	【総説】QT延長症候群のメカニズムとマクロライド	Jpn J Antibiotics	2001.2	54(Supp. I.A)	118-122
丸山光紀, 新 博次(多摩永山病院内科)	【総説】電気的除細動と薬理学的除細動	循環器科	2001.2	19	130-134
横山真也、水野杏一(千葉北総病院内科)	局在病変を観察する—治療で何が変わったか(狭窄症—治療のNew	Heart View	2001.2	5(2)	18-23
清野精彦	【総説】急性心筋梗塞の全血迅速診断法: 外来で簡単にできる生化学検査(特集: 急性心筋梗塞: プレホスピタルケアからCCU搬送まで)	日本医師会雑誌	2001.3	125(5)	679-82
加藤貴雄	【総説】薬剤選択とCD-ROM版ガイドラインの有効利用(特集: 日常診療における不整脈: ガイドラインに基づいた薬物治療の実践)	Current Therapy	2001.3	19(3)	55-62
小林義典	【総説】心房細動のレートをいかにコントロールするか(特集: 心房細動: 治療の最前線)	Heart View	2001.3	5(3)	78-84
草間芳樹, 馬淵浩輔, 酒井俊太, 本間博, 高野照夫	【総説】心筋梗塞領域誘導での運動誘発ST上昇の原因および上昇パターンの分析による検討	心電図	2001.3	21(3)	263-9
斎藤寛和(第二病院内科)	【総説】T波オルタナス	別冊・医学のあゆみ 循環器疾患—state of arts Ver.2	2001.3		234-236

著者・所属	論文名	雑誌名	年	巻号	ページ
新 博次, 丸山光紀(多摩永山病院内科) 掃部弘行, 番典武, 高野照夫1)(1)内科第1)(千葉北総病院内科)	[総説]警告不整脈の判定 [総説]急性心筋梗塞による急性肺水腫: 肺水腫発生のメカニズムと呼吸管理について [総説]新しい方法による動脈硬化診断	カレントテラピー 集中治療 循環器疾患-state of arts-(別冊, 医学のあゆみ) Jpn Circ J	2001.3 2001.3 2001.3	19(3) 13(3) 64(Supp IV)	16-19 310-6 325-7
水野杏一(千葉北総病院内科)	[研究報告書]慢性虚血性心疾患の診断と病態把握のための検査法の選択基準に関するガイドライン				1285-1387
横山光宏 ¹⁾ , 杉下靖郎 ²⁾ , 増田善昭 ³⁾ , 友池仁暢 ⁴⁾ , 中野赳 ⁵⁾ , 玉木長良 ⁶⁾ , 野原隆司 ⁷⁾ , 中嶋憲一 ⁸⁾ , 岸田 浩, 他 ⁽¹⁾ 神戸大学第一内科, ²⁾ 筑波記念病院, ³⁾ 千葉大学第三内科, ⁴⁾ 山形大学第一内科, ⁵⁾ 三重大学第一内科, ⁶⁾ 北海道大学大学院医学研究科核医学科, ⁷⁾ 京都大学大学院医学研究科循環器病態学, ⁸⁾ 金沢大学核医学講座)	[研究報告書]運動負荷試験実施のガイドラインに関する委員会報告: 外見上健常者における運動負荷心電図評価法の指針	Jpn J Electrocardiol	2001.2	21(2)	215-226
岸田浩, 草間芳樹, 川久保清 ¹⁾ , 久保田功 ²⁾ , 中屋豊 ³⁾ , 他 ⁽¹⁾ 東京大学大学院医学系研究科健康増進科学, ²⁾ 山形大学医学部第一内科, ³⁾ 徳島大学医学部特殊栄養学)					

著者・所属	論文名	図書名	出版社	年	ページ
Honma H, Hayakawa H	Non-Invasive Quantification/Localization of Myocardial Ischemia	Advances in Noninvasive Electrocardiographic Monitoring Techniques (Osterhues HH., Hombach V, Moss AJ)	Kluwer Academic Publishers	2000	211-5
安武正弘 ¹⁾ , 高野照 夫(¹⁾ 集中治療室)	[分担]心筋梗塞急性 期治療薬としてのβ遮 断薬	β遮断薬のすべて(編集:荻 原俊男, 築山久一郎, 横山光 宏)	先端医学社	2000	198-203
加藤貴雄	[共著]心室期外収縮	不整脈(井上 博、大江 透、 小川 聰、笠貫 宏)	New & Views	2000.4	18-19
田中啓治 ¹⁾ , 高野照 夫(¹⁾ 集中治療室)	[分担]内科医からみ たIABPの適応とその応 用	IABPに関するABC (IABP研 究会)	エムイータイムス	2000.5	39-51
田中啓治(集中治 療室)	[分担]不整脈	救急治療ハンドブック(黒川 顕編)	中外医学社	2000.5	159-67
田中啓治(集中治 療室)	[分担]肺水腫	救急治療ハンドブック(黒川 顕編)	中外医学社	2000.5	168-78
黒沢 尚、田中啓治 (集中治療室)	虚血性心疾患の精神 症状:その理解と対応	心筋梗塞の経過と精神症状	ヘルス出版	2000.5	3-5
齋藤寛和(第二病 院内科)	[分担]電解質異常と 不整脈	不整脈を読み解く(井上 博)	文光堂	2000.8	134-40
新 博次(多摩永山 病院内科)	[分担]メナテトレノンと ワルファリン	この薬の多剤併用副作用 第 2版(松田重三)	医薬学出版	2000.8	320-3
新 博次(多摩永山 病院内科)	[分担]心房細動	不整脈を読み解く(井上 博)	文光堂	2000.8	19-23
加藤貴雄	[分担]不整脈:加算平 均心電図法	改定版 目でみる循環器病シ リーズ(笠貫 宏)	メジカルレビュー社	2000.9	94-102
齋藤寛和(第二病 院内科)	[分担]T-wave Alternans	不整脈(笠貫 宏)	メジカルレビュー社	2000.9	124-9
高野照夫, 西松能 子 ¹⁾ , 黒澤 尚 ¹⁾⁽²⁾ 神 経科)	[分担]心筋梗塞症状 の合併症 CCUにおける 急性心筋梗塞患者 の精神症状	改訂版 目でみる循環器病シ リーズ3 心筋梗塞症(平盛勝 彦)	メジカルレビュー社	2000.12	155-63
清野精彦	[分担]心不全	認定医・専門医のための内科 学レビュー2001(酒井 紀, 早 川弘一, 西崎 統, 小林祥泰, 福井次矢)	総合医学社	2001.1	40-44
高野照夫	[分担]不安定狭心 症, 非Q波梗塞	今日の治療指針2001年版(多 賀須幸男, 尾形悦郎, 山口 徹, 北原光夫)	医学書院	2001.1	353-5
岸田 浩(多摩永山 病院内科)	[分担]無症候性心筋 虚血	今日の治療指針2001年版(多 賀須幸男, 尾形悦郎, 山口 徹, 北原光夫)	医学書院	2001.1	358-9

著者・所属	論文名	図書名	出版社	年	ページ
新 博次(多摩永山病院内科)	[分担]不整脈	内科学レビュー2001(酒井紀, 早川弘一, 西崎 統, 小林祥泰, 福井次矢)	総合医学社	2001.1	35-39
加藤貴雄	[分担]動悸・脈拍異常	診察の技法と考え方(寺本民生, 秋葉 隆)	中外医学社	2001.2	296-8
加藤貴雄, 高野照夫	[分担]特発性心室頻拍	別冊・医学のあゆみ 循環器疾患—state of arts ver.2(矢崎義雄, 島田和幸, 井上 博, 永井良三)	医歯薬出版	2001.3	581-3
清野精彦	[分担]虚血性心疾患の新しい生化学的診断法	別冊・医学のあゆみ 循環器疾患—state of arts ver.2(矢崎義雄, 島田和幸, 井上 博, 永井良三)	医歯薬出版	2001.3	262-4
木内要, 高野照夫	[分担]急性心筋梗塞: ショック・心不全合併例	別冊・医学のあゆみ 循環器疾患—state of arts ver.2(矢崎義雄, 島田和幸, 井上 博, 永井良三)	医歯薬出版	2001.3	502-4
水野杏一(千葉北総病院内科)	[分担]冠攢縮と冠血管モデリング	別冊・医学のあゆみ 循環器疾患—state of arts ver.2(矢崎義雄, 島田和幸, 井上 博, 永井良三)	医歯薬出版	2001.3	84-87

演者名・所属	演題名	学会名	年月
早川弘一	[特別講演]体表心臓微小電位研究会を振り返って	第11回体表心臓微小電位研究会	2001.2
高野照夫	[特別講演]21世紀に向けての急性心筋梗塞の診断と治療	第28回日本集中治療医学会総会	2001.3
新 博次(多摩永山病院内科)	[教育講演]心房細動と血栓塞栓症	第15回日本心臓ペーシング・電気生理学会	2000.5
Hata N, Takano M, Miura H, Toyota T, Yodogawa K ¹⁾ , Inami S, Matsuda H ¹⁾ , Suzuki Y ¹⁾ , Kunimi T ¹⁾ , Kishida H ¹⁾ , Takano T ¹⁾ (¹ 1st Dept of Internal Medicine, Nippon Medical Hospital)	[シンポジウム]Clinical significance of ATP-sensitive K ⁺ channel; Nicorandil and sulfonylurea in diabetic angina pectoris (Acute Coronary Syndrome)	7th World Conference on Clinical Pharmacology and Therapeutics (Florence)	2000.7
Seino Y	[シンポジウム]Pathophysiology of Acute Heart Failure	7th Indonesian International Symposium on Shock and Critical Care (Bali, Indonesia)	2000.8
清野精彦, 池田真人, 柏木睦美, 緒方憲一, 安武正弘, 木内 要, 富田喜文, 高野照夫, 脱田浩一(1)都立駒込病院循環器科)	(シンポジウム)重症心不全におけるon-going myocardial damageの検出と治療strategy(重症心不全治療の新たな展開)	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
小原俊彦, チェンベン・シェン ¹⁾ , カラグジアン・ハライヤ ¹⁾ , 八島正明, 加藤貴雄, 高野照夫, 早川弘一(¹ Cedars-Sinai Medical Center, Cardiology)	(シンポジウム)陳旧性心筋梗塞における心室細動の発生機序とその維持について—Restitution Theoryに基づく心室局所のvulnerabilityの評価と心室Gap Junction構成蛋白Connexin 45, 43の発現抑制が果たす役割—(重症心室性不整脈の基礎と臨床)	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
田中啓治 ¹⁾ , 高野照夫(¹ 集中治療室)	[シンポジウム]重症心不全治療の進歩 補助循環と心臓置換(経皮的心肺補助法(PCPS)無効あるいは依存の極めて難治な心不全の病態と対策)	第21回日本循環制御医学会総会	2000.5
草間芳樹, 福間祐美子, 及川恵子, 塚田弥生, 佐野純子, 福間長知, 岸田 浩, 高野照夫	[シンポジウム]先行虚血発作による後続発作に対する虚血重症度軽減効果:異型狭心症における検討(虚血性心疾患の診断と治療におけるホルター心電図の有用性とその限界)	第21回ホルター心電図研究会	2000.6
高野雅充, 酒井俊太, 平澤泰宏, 田邊 潤, 稲見茂信, 掃部弘行, 清宮康嗣, 大場崇芳, 横山真也, 富村正登, 小倉宏道, 今泉孝敬, 草間茂樹, 山内茂生, 水野杏一(千葉北総病院内科)	[シンポジウム]冠動脈インターベンション後のブラークの安定化	第6回日本血管内治療学会総会	2000.7
池崎弘之 ¹⁾ , 竹田晋浩 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 井上哲夫 ²⁾ , 小川龍 ³⁾ (¹ 付属病院集中治療室, ²⁾ 千葉北総病院麻酔科, ³⁾ 付属病院麻酔科)	[シンポジウム]危機的呼吸障害患者の管理心不全時の低酸素症(心原性肺水腫, 低酸素症)	第22回日本呼吸療法医学会学術総会	2000.6
水野杏一(千葉北総病院内科)	[シンポジウム]内視鏡で動脈硬化を診る	第48回日本心臓病学会学術集会	2000.9
草間芳樹, 馬渕浩輔, 酒井俊太, 岸田 浩, 高野照夫	[シンポジウム]心筋梗塞領域誘導での運動負荷時ST上昇の成因およびST上昇パターンの分析による検討	第17回日本心電学会学術集会	2000.10
横山真也, 酒井俊太, 清宮康嗣, 高野雅充, 大場崇芳, 富村正登, 上村竜太, 水野杏一(千葉北総病院内科)	[シンポジウム]冠動脈インターベンションにおける血管内視鏡の寄与	第14回日本心臓血管内視鏡学会	2000.10
安武正弘(集中治療室)	[シンポジウム]切迫梗塞の病態と治療(不安定狭心症と非Q波梗塞の診断と治療)	第20回CCU研究会	2000.11
水野杏一	[シンポジウム]虚血性心疾患に対するレーザーを含む血管内治療	第21回日本レーザー医学会総会	2000.11
高野雅充, 酒井俊太, 田邊 潤, 平澤泰宏, 清宮康嗣, 横山真也, 大場崇芳, 富村正登, 上村竜太, 馬 淑梅, 煙 典武, 井野威, 水野杏一(千葉北総病院内科・集中治療部)	[シンポジウム]血管内視鏡による冠動脈インターベンション時合併症とその対策	第41回日本脈管学会総会	2000.11

演者名・所属	演題名	学会名	年月
Takayama M, Takano T	[シンポジウム] A Current Role of Coronary Thrombolysis and PTCA in Reperfusion Therapy for Acute Myocardial Infarction: Analysis of Patients Registry in Tokyo CCU Network	第65回日本循環器学会総会	2001.3
中西一浩 ¹⁾ , 清水 淳 ¹⁾ , 池崎弘之 ²⁾ , 竹田晋浩 ²⁾ , 安武正弘 ²⁾ , 本間 博, 高山守正, 田中啓治 ²⁾ , 小川 龍 ¹⁾ , 高野照夫(¹⁾ 麻醉科, ²⁾ 集中治療室)	[パネルディスカッション] 周期循環変動に対するドブタミン負荷心エコー法の有用性(心疾患者の非心臓手術)	第28回日本集中治療医学会総会	2001.3
畠 典武 ¹⁾ , 今泉孝敬 ¹⁾ , 田中啓治 ²⁾ , 草間芳樹, 水野杏一 ¹⁾ , 小原俊彦 ¹⁾ , 大場崇芳 ¹⁾ , 掃部弘行 ¹⁾ , 品田卓郎 ¹⁾ , 高野照夫(¹⁾ 千葉北総病院循環器センター, ²⁾ 付属病院集中治療室)	[パネルディスカッション] Economy Class Syndromeの集中治療と長期予後(肺血栓塞栓症への対策)	第28回日本集中治療医学会総会	2001.3
水野杏一(千葉北総病院内科)	[パネルディスカッション] 急性冠症候群の病態と化学迅速診断法:急性冠症候群の病態について	第28回日本集中治療医学会総会	2001.3
山本 剛 ¹⁾ , 笠神康平 ¹⁾ , 高山英男 ¹⁾ , 大野則彦, 坪 宏一 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 高山守正, 高野照夫, 田島廣之 ²⁾ , 限崎達夫 ²⁾ (¹⁾ 集中治療室, ²⁾ 放射線科)	[ラウンドテーブルディスカッション] 血栓の色調からみた急性肺血栓塞栓症の臨床的特長	第41回日本脈管学会総会	2000.11
高山守正	(コロキウム)閉塞性肥大型心筋症のカテーテル治療:経皮的中隔心筋焼灼術(PTSMA)(閉塞性肥大型心筋症の治療)	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
田中啓治	[セミナー]重症心不全の最新の治療	第48回日本心臓病学会学術集会	2000.9
水野杏一	[セミナー]血管内視鏡からみた不安定plaquer	第28回日本救急医学会総会	2000.11
磯田麻里, 里村克章, 荒牧琢巳	[ワークショップ] 急性肝炎(AH)様発症を示す原発性胆汁性肝硬変(PBC)3例に関する臨床病理学的検討	第4回日本肝臓学会大会	2000.10
池崎弘之 ¹⁾ , 竹田晋浩 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 高野照夫, 小川龍 ²⁾ , 田中啓治 ¹⁾ (¹⁾ 集中治療室, ²⁾ 麻醉科)	[ワークショップ] 背側肺障害に対するIntrapulmonary Percussion Ventilationの効果(急性肺循環)	第28回日本集中治療医学会総会	2001.3
笠神康平 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 山本 剛 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 高山英男 ¹⁾ , 坪 宏一 ¹⁾ , 亀山幹彦 ¹⁾ , 竹田晋浩 ¹⁾ , 池崎弘之 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 高山守正, 清野精彦, 高野照夫(¹⁾ 集中治療室)	[ワークショップ] 重症心不全例のドブタミン, 塩酸コルホルシングドロハートに対する反応:治療指針の指標として(心不全の治療)	第28回日本集中治療医学会総会	2001.3
佐藤直樹 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 山本 剛 ¹⁾ , 笠神康平 ¹⁾ , 高山英男 ¹⁾ , 坪 宏一 ¹⁾ , 高野照夫(¹⁾ 集中治療室)	[ワークショップ] 難治性心不全に対する成長ホルモン急性投与の効果(心不全の治療)	第28回日本集中治療医学会総会	2001.3
福間長知	[ミニレクチャー] 心拍応答と交感神経(運動心臓病学)	第6回日本心臓リハビリテーション学会	2000.9
Takayama H ¹⁾ , Tanaka K ¹⁾ , Katoh T, Takano T, Hayakawa H(¹⁾ Coroary Care Unit)	[Featured Research Session] Usefulness of nifekalant, a new lkr blocker, for refractory, life-threatening arrhythmias	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Nakagomi A, Yamane Y, Fujita N, Fujioka M, Kusama Y, Takayama M, Kishida H, Takano T	[Featured Research Session] Upregulated monocyte tissue factor induction by C-Reactive Protein contributes to the exacerbation into acute coronary syndrome from stable angina pectoris	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Ohara K, Miyauchi Y ¹⁾ , Cao JM ¹⁾ , Lee MH, Mandel WJ ¹⁾ , Chen PS ¹⁾ , Karagueuzian H ¹⁾ , Ohara T ²⁾ , et al (¹⁾ Division of Cardiology, Cedars-Sinai Research Institute, ²⁾ Intensive and Coronary Unit, ChibaHokuso Hospital)	[Featured Research Session] Altered atrial Cx40 distribution during chronic left ventricular myocardial infarction. A substrate for enhanced vulnerability to atrial fibrillation	第65回日本循環器学会学術集会	

演者名・所属	演題名	学会名	年月
Tang XL ¹⁾ , Xuan YT ¹⁾ , Bolli R ¹⁾ , Takano H (¹⁾ University of Louisville)	[Featured Research Session] Guest speaker: direct evidence for an essential role of nitric oxide synthase in the late phase of ischemic preconditioning	第65回日本循環器学会学術集会	
Mizuno K, Sakai S, Tomimura M, Yokoyama S, Ohba T, Inami S, Tanabe J, Takano M, Hirasawa Y, Ogura H, Seimiya K (Department of Internal Medicine, ChibaHokuso Hospital)	[International Session] The effect of flavastatin on plasma level of oxidized low density lipoprotein	第64回日本循環器学会学術集会	2000
Sakai S, Tanabe J, Hirasawa Y, Inami S, Seimiya K, Takano M, Yokoyama S, Ohba T, Tomimura M, Kobayashi T, Ogura H, Imaizumi T, Mizuno K (Department of Internal Medicine, ChibaHokuso Hospital)	[International Session] Stabilization of unstable plaque by stent placement in patients with acute coronary syndromes: Insights from serial angiographic follow-up	第64回日本循環器学会学術集会	2000
Miyauchi Y, Kobayashi Y, Iwasaki Y, Morita N, Hayashi M, Ohmura K, Atarashi H, Katoh T, Takano T	[一般講演] Electrophysiological Characteristics of the Posterior Border of Koch's Triangle in Relation to the Development of Atrioventricular Nodal Reentrant Tachycardia	21st Annual Scientific Sessions of North American Society of Pacing and Electrophysiology (Washington DC, USA)	2000.5
Morita N, Kobayashi Y, Iwasaki Y, Hayashi M, Miyauchi Y, Ohmura K, Atarashi H, Katoh T, Takano T	[一般講演] Bidirectional Conduction Property of the Right Atrial Lower Isthmus in Patients with Both Common and Reversed Common Atrial Flutter as Compared to Those with Only Common Flutter	21st Annual Scientific Sessions of North American Society of Pacing and Electrophysiology (Washington DC, USA)	2000.5
Ohara T, Lee MH, Naik A, Miyauchi Y, Mandel WJ et al (Division of Cardiology, Cedars-Sinai Medical Center)	[一般講演] Sustained atrial fibrillation induced with low concentrations of the cellular uncoupler, heptanol in canine left atria in vitro	21st Annual Scientific Sessions of North American Society of Pacing and Electrophysiology (Washington DC, USA)	2000.5
Yashima M, Ohara T, Cao JM, Kim YH, Wu TJ, et al (Division of Cardiology, Cedars-Sinai Medical Center)	[一般講演] Conduction block and reentry induced by nicotine on the epicardial border zone during chronic myocardial infarction. Insight into the initiation of ventricular fibrillation	21st Annual Scientific Sessions of North American Society of Pacing and Electrophysiology (Washington DC, USA)	2000.5
Lee MH, Lin SF, Ohara T, Omichi C, et al (Division of Cardiology, Cedars-Sinai Medical Center)	[一般講演] Effects of cytochalasin D on dynamics of ventricular fibrillation	21st Annual Scientific Sessions of North American Society of Pacing and Electrophysiology (Washington DC, USA)	2000.5
Ohara T, Cao JM, Ohara K, Lee MH, Naik A et al (Division of Cardiology, Cedars-Sinai Medical Center)	[一般講演] The mechanism of increased ventricular fibrillation waveform complexity by nicotine during chronic myocardial infarction	21st Annual Scientific Sessions of North American Society of Pacing and Electrophysiology (Washington DC, USA)	2000.5
Zhang XJ, Akimoto M ¹⁾ , Ohsuga M, Shimizu S, Nagano T, Komeichi H, Terada H, Satomura K, Katsuta Y, Aramaki T(¹⁾ Department of Laboratory Animal	[一般講演] Nitric oxide and oxygenation of arterial blood in chronic bile duct ligated rats	IASL-APASL Joint Meeting 2000 (Fukuoka, Japan)	2000.6
Ohno T, Honma H, Matsuzaki T, Ohtsuka T, Sakurai K, Nishigaki R, Kusama Y, Munakata K, Kishida H, Takano T	[一般講演] Usefulness of Ultrasonic Tissue Characterization and Dobutamine Stress Echocardiography for Prediction of Functional Recovery in Chronic Left Ventricular Ischemic Dysfunction	11th Annual Scientific Sessions American Society of Echocardiography (Chicago, USA)	2000.6
Morita N, Atarashi H, Hayashi M, Miyauchi Y	[一般講演] QT Dispersion in Premature Beats Produced by Extrastimuli From the Right Atrium and Right Ventricle	XXVII International Congress on Electrophysiology (Milan, Italy)	2000.6
Sutovsky I, Wu XY, Yodogawa H, Takayama H, Kobayashi Y, Katoh T, Takano T, Hayakawa H	[一般講演] Change in Filtered QRS Duration During Class I Antiarrhythmic Therapy-An Instantaneous and non-invasive Marker of Drug Serum Concentrations	XXVII International Congress on Electrophysiology (Milan, Italy)	2000.6

演者名・所属	演題名	学会名	年月
Takayama H, Sutovsky I, Wu XY, Katoh T, Takano T, Hayakawa H	[一般講演]Time-Frequency Analysis of the Difference of Pharmacological Actions on Electrocardiogram Between Pilsicainide and Amiodarone in Patients with Ventricular Arrhythmias	XXVII International Congress on Electrocardiology (Milan, Italy)	2000.6
Wu XY, Seino Y, Ogura H, Katoh T, Yajima T, Tanaka S, Hayakawa H	[一般講演]Measurement of Plasma Brain Natriuretic Peptide Levels and Evaluation of Physical Activity in Patients with Implanted Pacemaker	XXVII International Congress on Electrocardiology (Milan, Italy)	2000.6
Takagi H, Yasutake M, Jia D, Ishii K, Kusama Y, Kishida H, Takano T	[一般講演]Mexiletine Reduces the Severity of Myocardial Stunning via Givenclamide-Nondependent Mechanism in Isolated Rat Hearts	International Society for Heart Research American Section XXII Annual Scientific Sessions (Louisville, USA)	2000.6
Tsukada Y, Yasutake M, Jia D, Kusama Y, Kishida H, Takano T	[一般講演]Determination of Nitric Oxide by Luminol-H ₂ O ₂ Reaction in Crystalloid Perfused Rat Heart	International Society for Heart Research American Section XXII Annual Scientific Sessions (Louisville, USA)	2000.6
Kodani E, Tang XL, Takano H, Shinmura K, Hill M, Bolli R (Division of Cardiology, University of Louisville)	[一般講演]The role of cyclic guanosine monophosphate (cGMP) in late preconditioning against myocardial stunning in conscious rabbits	International Society for Heart Research American Section XXII Annual Scientific Sessions (Louisville, USA)	2000.6
Yokoyama H, Avkiran M (Center for Cardiovascular Biology and Medicine, King's College London, The Rayne Institute, St. Thomas' Hospital)	[一般講演]Adenosine A ₁ receptor stimulation inhibits α_1 adrenergic activation of the sarcolemmal Na ⁺ /H ⁺ exchanger.	International Society for Heart Research American Section XXII Annual Scientific Sessions (Louisville, USA)	2000.6
Takano H, Bolli R, Tang XL, Yang Z, et al (Center for Cardiovascular Biology and Medicine, King's College London, The Rayne Institute, St. Thomas' Hospital)	[一般講演]A ₁ and A ₃ receptors induce late preconditioning (PC) against infarction by different mechanisms	International Society for Heart Research American Section XXII Annual Scientific Sessions (Louisville, USA)	2000.6
Shinmura K, Tang XL, Takano H, Bolli R (Division of Cardiology, University of Louisville & the Jewish Hospital Heart and Lung Institute)	[一般講演]Differential effects of late preconditioning on myocardial stunning and infarction after a single coronary occlusion in conscious rabbits	International Society for Heart Research American Section XXII Annual Scientific Sessions (Louisville, USA)	2000.6
Flaherty MP, Takano H Mrphee SS, Grupp I, et al (Division of Cardiology, University of Louisville & the Jewish Hospital Heart and Lung Institute)	[一般講演]Hypertensive-cardiac hypertrophy and induction of molecular markers in eNOS knockout mice	International Society for Heart Research American Section XXII Annual Scientific Sessions (Louisville, USA)	2000.6
Guo Y, Bao W, Tang XL, Wu WJ, Takano H, Bolli R (Division of Cardiology, University of Louisville & the Jewish Hospital Heart and Lung Institute)	[一般講演]Activation of adenosine A ₁ δ 1 opioid receptors induce late preconditioning in mice	International Society for Heart Research American Section XXII Annual Scientific Sessions (Louisville, USA)	2000.6
Saitoh H ¹⁾ , Ohno N, Isawaki Y, Ogata K ¹⁾ , Matsumoto S, Atarashi H ²⁾ , Katoh T, Munakata K ¹⁾ , Nagasawa K ²⁾ , Takano T, Hayakawa H (¹ Dept of Internal Med, Daini Hospital, ²⁾ Tamanagayama Hospital)	[一般講演]Uncertainties in manual measurement of QT interval and QT dispersion	9th Congress of the International Society for Holter nad Noninvasive Electrocadiology (Istanbul, Turkey)	2000.9
Ohno N, Saitoh H, Iwasaki Y, Takayama H, Ogata K, Matsumoto S, Kobayashi Y, Atarashi H, Katoh T, Hayakawa H	[一般講演]Time course of QT variability index (QTVI) in patients with acute myocardial infarction	9th Congress of the International Society for Holter nad Noninvasive Electrocadiology (Istanbul, Turkey)	2000.9

演者名・所属	演題名	学会名	年月
Ogata K ¹⁾ , Saitoh H ¹⁾ , Kameyama M, Iwasaki Y, Maruyama M, Ohno N, Matsumoto S, Hirayama Y, Munakata K ¹⁾ , Takano T, Hayakawa H (¹ Dept of Internal Med, Daini Hospital) Takayama M	[一般講演] Mechanism of constant T-wave alternans - Role of intracellular calcium cycling by sarcoplasmic reticulum -	9th Congress of the International Society for Holter and Noninvasive Electrocardiology (Istanbul, Turkey)	2000.9
Ma S, Ohba T, Sakai S, Tomimura M, Yokoyama S, Inami S, Takano M, Tanabe J, Hirasawa Y, Uemura R, Ino T, Seimiya K, Imaizumi T, Hata N, Mizuno K (Chiba Hokuso Hospital)	[一般講演] Septal Ablation in HOC: Japanese Results	Transcatheter Cardiovascular Therapeutics Conference (Washington DC, USA)	2000.10
Fujioka M	[一般講演] The importance of hypertension as a asymptomatic endothelial injury factor in	3rd China-Japan Joint Hypertension Symposium (Beijing, China)	2000.10
Fujita N	[一般講演] Is Silent Myocardial Ischemia in Diabetes Mellitus Attributable to Diffuse Coronary Artery Disease? Evaluation with ²⁰¹ Tl Stress Test and Coronary Angiogram Assessed by the Extent Score	17th International Diabetes Federation Congress (Mexico City, Mexico)	2000.11
Hayashi M, Kobayashi Y, Iwasaki Y, Morita N, Miyauchi Y, Ohmura K, Aтарashi H, Katoh T, Takano T	[一般講演] Estimation of Multivessel and Diffuse Coronary Artery Disease by Treadmill Exercise Test in Patients with Diabetes Mellitus and Impaired Glucose Tolerance	17th International Diabetes Federation Congress (Mexico City, Mexico)	2000.11
Fukuda N, Oikawa K, Tuchida T, Kimura Y, Aisu N, Mabuchi K, Sano J, Kusama Y, Munakata K, Takano T, Kumita S, Kumazaki T	[一般講演] Long-Term Variability in Induced Ventricular Tachyarrhythmias, Incidence, Background, and Clinical Significance in Relation to the Spontaneous Occurrence of Arrhythmias	American Heart Association 73rd Scientific Sessions (New Orleans, USA)	2000.11
Ogata K, Seino Y, Kiuchi K, Satoh N, Ikezaki H, Yasutake M, Iwahara S, Takayama M, Takano T	[一般講演] Sympathetic Denervation in Skeletal Muscle as a Cause of Excessive Blood Pressure Response to Exercise	American Heart Association 73rd Scientific Sessions (New Orleans, USA)	2000.11
Seino Y, Ogata K, Takano T, Ishii J, Hishida H, Morita H, Takeshita H, Takagi Y, Sugiyama H, Tanaka T, Kitaura Y	[一般講演] Whole Blood Rapid Panel Test of Heart-Type Fatty Acid-Binding Protein for Earlier Risk Stratification in Patients with Acute Coronary Syndrome	American Heart Association 73rd Scientific Sessions (New Orleans, USA)	2000.11
Asai K, Takagi G, Kudej RK, Shen YT, Tang GP, et al (the Cardiovascular Research Institute University of Medicine and Dentistry of New Jersey, New Jersey Medical School)	[一般講演] Emergency Room Triage of Patients with Acute Chest Pain by Whole Blood Rapid Assay for Heart-Type Fatty Acid Binding Protein: Multicenter Study in Cardiac Emergency Room in Japan	American Heart Association 73rd Scientific Sessions (New Orleans, USA)	2000.11
Mizuno K, Inami S, Sakai S, Yokoyama S, Ohba T, Seimiya K, Takano M, Tanabe J, Tomimura M, Ma SM, Hata N, Ino T (Dept of Internal Medicine, Chiba Hokuso Hospital)	[一般講演] Depressed baroreflex sensitivity correlates with increased vascular stiffness in old males, but not in old female monkeys	American Heart Association 73rd Scientific Sessions (New Orleans, USA)	2000.11
Hardt SE, Asai K, Montagne OF, Takagi G, Vatner DE, et al (Cardiovascular Research Institute, New Jersey Medical Hospital, University of Medicine & Dentistry of New Jersey)	[一般講演] Diabetes mellitus and hypertension are important clinical determinants of silent plaque disruption	American Heart Association 73rd Scientific Sessions (New Orleans, USA)	2000.11
Meguro T, Yang GP, Hong C, Takagi G, Asai K, Bishop SP (Cardiovascular Research Institute, New Jersey Medical Hospital, University of Medicine & Dentistry of New Jersey)	[一般講演] Enhanced left ventricular function in mice with overexpression of GSα and a missense mutation in the α-Myosin heavy chain results in accelerated cardiomyopathy	American Heart Association 73rd Scientific Sessions (New Orleans, USA)	2000.11
	[一般講演] Hemodynamic effects of calcineurin inhibitors may affect development of hypertrophy in response to pressure overload	American Heart Association 73rd Scientific Sessions (New Orleans, USA)	2000.11

演者名・所属	演題名	学会名	年月
Meguro T, Asai K, Hong C, Takagi G, Asai K, Bishop SP(Cardiovascular Research Institute, New Jersey Medical Hospital, University of Medicine & Dentistry of New Jersey)	[一般講演]Mice with overexpressed cardiac Gs α respond directionally opposite to pressure vs volume overload	American Heart Association 73rd Scientific Sessions (New Orleans, USA)	2000.11
Kim SJ, Kudej RK, Montagne OF, Hong C, Takagi G, et al (Cardiovascular Research Institute, New Jersey Medical Hospital, University of Medicine & Dentistry of New Jersey)	[一般講演]Directionally opposite action of relaxation in stunned myosites from rat vs. pig: Role of phospholamban	American Heart Association 73rd Scientific Sessions (New Orleans, USA)	2000.11
Kodani E, Tang XL, Xuan YT, Shinmura K, Takano H, Bolli R(Division of Cardiology, University of Louisville)	[一般講演]Role cyclic guanosine monophosphate in nitric oxide-dependent late preconditioning in conscious rabbits	American Heart Association 73rd Scientific Sessions (New Orleans, USA)	2000.11
Hill M, Kodani E, Shinmura K, Tang XL(Division of Cardiology, University of Louisville)	[一般講演]Nitroglycerin induces late preconditioning against infarction despite nitrate tolerance	American Heart Association 73rd Scientific Sessions (New Orleans, USA)	2000.11
Shinmura K, Liu SQ, Tang XL, Kodani E, Xuan YT, Bhatnagar A, Bolli R(Division of Cardiology, University of Louisville)	[一般講演]Aldose reductase is an obligatory mediator of the late phase of ischemic preconditioning	American Heart Association 73rd Scientific Sessions (New Orleans, USA)	2000.11
Guo Y, Bao W, Tang XL, Wu WJ, Takano H, Bolli R (Division of Cardiology, University of Louisville & the Jewish Hospital Heart and Lung Institute)	[一般講演]Pharmacological preconditioning (PC) with adenosine A1 and opioid δ receptor agonists is iNOS-dependent	American Heart Association 73rd Scientific Sessions (New Orleans, USA)	2000.11
Xuan YT, Tang XL, Qiu Y, Banerjee S, Takano H, et al (Division of Cardiology, University of Louisville & the Jewish Hospital Heart and Lung Institute)	[一般講演]Biphasic response of cardiac NO synthase to ischemic preconditioning in conscious rabbits	American Heart Association 73rd Scientific Sessions (New Orleans, USA)	2000.11
Asai K, Sato N, Tanaka K, Takano T, Vatner DE ¹ , Vatner SF ¹⁽¹⁾ (The Cardiovascular Research Institute, University of Medicine and Dentistry of New Jersey)	[一般講演]Why is chronic administration of β -adrenergic receptor blockade useful in cardiomyopathy	COE International Symposium: Cardiac Function-Osaka2001 (Osaka)	2001.2
Sato N, Tanaka K, Asai K, Takano T	[一般講演]Comparison of inotropic agents that act on components of β -adrenergic receptor signaling pathway in conscious dogs with heart failure	COE International Symposium: Cardiac Function Osaka 2001 (Osaka)	2001.2
He Y, Yasutake M, Timita Y, Kusama Y, Takayama M, Munakata K, Takano T	[一般講演]Endothelial Constitutional Nitric Oxide Synthase Gene Polymorphism is Associated with Coronary Vasospasm	American College of Cardiology 50th Annual Scientific Session (Orlando, USA)	2001.3
Nakagomi A, Aoki S, Yamane Y, Yamamoto T, Fujita N, Ibuki C, Kusama Y, Takayama M, Nagasawa K, Takano T	[一般講演]Exercise Thallium-201 Myocardial Image is Useful for Predicting Adverse Outcomes in Patients with Vasospastic Angina	American College of Cardiology 50th Annual Scientific Session (Orlando, USA)	2001.3
Nakagomi A, Aoki S, Katou K, Fujita N, Fujioka M, Kusama Y, Takayama M, Kishida H, Takano T	[一般講演]Upregulated Monocytes Tissue Factor Induction by C-Reactive Protein Contributes to the Exacerbation into Acute Coronary Syndrome from Stable Angina Pectoris	American College of Cardiology 50th Annual Scientific Session (Orlando, USA)	2001.3
Katoh T, Ohno T, Yodogawa K, Hayakawa H, Kanazawa M1), Shimizu S1)(1)NEC Co. Ltd.)	[一般講演]Improvement of the Computer-Assisted Differential Diagnosis for Wide QRS Premature Complexes	American College of Cardiology 50th Annual Scientific Session (Orlando, USA)	2001.3
Takano M, Mizuno K, Uemura R, Tomimura M, Yokoyama S, Ohba T, Seimiya K, Okamatsu K (Dept of Internal Medicine, Chiba Hokusoh Hospital)	[一般講演]Coronary Artery Distensibility and Plaque Disruption	American College of Cardiology 50th Annual Scientific Session (Orlando, USA)	2001.3
Yokoyama S, Mizuno K, Okamatsu K, Seimiya K, Takano M, Ohba T, Tomimura M, Uemura R, Ino T (Dept of Internal Medicine, Chiba Hokusoh Hospital)	[一般講演]How Long Should We Antiplatelet Agents in Emergent Stenting of Acute Myocardial Infarction?	American College of Cardiology 50th Annual Scientific Session (Orlando, USA)	2001.3

演者名・所属	演題名	学会名	年月
Ohba T ¹⁾ , Mizuno K ¹⁾ , Seimiya K ¹⁾ , Takano M ¹⁾ , Yokoyama S ¹⁾ , Uemura R ¹⁾ , Sakai S ¹⁾ , Kusama Y, Ino T ¹⁾ , Hata N ²⁾ , Shinada T ²⁾ , Hirasawa Y ¹⁾ , Tanabe J ¹⁾ , Tajika K ¹⁾ , Kamon H ¹⁾ (¹ Dept of Internal Medicine, Chiba Hokusoh Hospital, ² Coronary Care Unit)	[一般講演]Acute Coronary Syndrome Is Not Local Vascular Accident, but Pan-Coronary Process	American College of Cardiology 50th Annual Scientific Session (Orlando, USA)	2001.3
Ohno T	[一般講演]Detection of microvascular integrity in infarcted area by low dose dobutamine stress myocardial contrast echocardiology	10th International Society of Cardiovascular Pharmacotherapy Congress (Kyoto)	2001.3
Yoshikawa M	[一般講演]Serial change of systolic anterior motion of mitral valve in patients received septal myocardial ethanol ablation for hypertrophic obstructive cardiomyopathy	10th International Society of Cardiovascular Pharmacotherapy Congress (kyoto)	2001.3
Yokoyama H, Inami S, Yodogawa K, Takano H, Kojima S, Kuramochi M (Dept of Cardiology, National Tosei Hospital)	[一般講演]Peripheral vascular dysfunction in vasospastic angina	10th International Society of Cardiovascular Pharmacotherapy Congress (kyoto)	2001.3
田寺 長, 井野 威, 丸山光紀, 宮本新次郎, 川口直美, 長澤紘一(多摩永山病院内科)	[一般講演]左側副伝導路を介する房室伝導中に記録される冠静脈洞心房分裂電位の意義(人における冠静脈洞内刺激伝導心筋の存在)	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
緒方憲一 ¹⁾ , 大野則彦 ¹⁾ , 笠神康平 ¹⁾ , 上村竜太 ¹⁾ , 関戸司久 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 清野精彦 ¹⁾ , 木内 要, 高野照夫(¹ 集中治療室)	[一般講演]急性冠症候群以外で心臓型脂肪酸結合蛋白迅速検出試験が陽性となる病態の検討	第64回日本循環器学会総会学術集会	2000.4
緒方憲一 ¹⁾ , 大野則彦 ¹⁾ , 笠神康平 ¹⁾ , 上村竜太 ¹⁾ , 関戸司久 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 清野精彦 ¹⁾ , 木内 要, 高野照夫(¹ 集中治療室)	[一般講演]重症心不全における心臓型脂肪酸結合蛋白迅速検出試験による心筋障害の検出と病態の分析	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
緒方憲一 ¹⁾ , 大野則彦 ¹⁾ , 笠神康平 ¹⁾ , 上村竜太 ¹⁾ , 関戸司久 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 清野精彦 ¹⁾ , 木内 要, 高野照夫(¹ 集中治療室)	[一般講演]急性冠症候群における心臓型脂肪酸結合蛋白迅速検出試験の有用性に関する検討	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
上村竜太, 高山守正, 笠神康平 ¹⁾ , 関戸司久, 佐藤直樹 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 藤田進彦, 山本剛 ¹⁾ , 桜井 薫, 中込明裕, 草間芳樹, 高野照夫(¹ 集中治療室)	[一般講演]再灌流不良例における冠内圧評価の意義	第64回日本循環器学会総会学術集会	2000.4
上村竜太 ¹⁾ , 高山守正 ¹⁾ , 笠神康平 ¹⁾ , 関戸司久 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 加藤浩司, 坪宏一, 藤田進彦, 山本 剛, 桜井 薫, 中込明裕, 富田喜文, 草間芳樹, 高野照夫(¹ 集中治療室)	[一般講演]新世代冠動脈ステントの使用は急性冠症候群への治療に有効か—旧世代ステント使用時期との初期および長期成績の比較—	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
竹永清人, 藤田進彦, 藤岡幹雄, 草間芳樹, 清野精彦, 高野照夫, 高山守正 ¹⁾ , 関戸司久 ¹⁾ , 笠神康平 ¹⁾ , 上村竜太 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ (¹ 集中治療室)	[一般講演]肥大型心筋症における血中脳利尿ペプチド値と左室内閉塞の関係	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
高山守正 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 大井田史継 ²⁾ , 深見建一 ³⁾ , 横田光夫 ⁴⁾ , 武藤 誠 ⁵⁾ , 竹永清人, 本間 博, 草間芳樹, 高野照夫(¹ 集中治療室, ² 獨協医科大学心血管肺内科, ³ 岩手医科大学第二内科, ⁴ 国立国際医療センター, ⁵ 埼玉県立循環器呼吸器病センター)	[一般講演]閉塞性肥大型心筋症への経皮的中隔焼灼術の初期および長期成績	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
高野雅充, 酒井俊太, 田邊潤, 平澤康宏, 稲見茂信, 清宮康嗣, 捃部弘行, 大場崇芳, 横山真也, 富村正登, 小林利行, 小倉宏道, 今泉孝敬, 水野杏一(千葉北総病院内科・集中治療部)	[一般講演]黄色ブラークは脆弱か? ブララークの色調によるPTCA後の内膜障害の差: 血管内視鏡による検討	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4

演者名・所属	演題名	学会名	年月
酒井俊太, 田邊潤, 平澤康宏, 稲見茂信, 清宮康嗣, 高野雅充, 橋山真也, 大場崇芳, 富村正登, 小林利行, 小倉宏道, 水野杏一, 品田卓郎, 掃部弘行, 今泉孝敬, 田中啓治(千葉北総病院内科・集中治療部)	[一般講演]冠動脈インターベンションにおける血管内視鏡施行の寄与	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
横山真也, 酒井俊太, 平澤康宏, 田邊潤, 稲見茂信, 清宮康嗣, 高野雅充, 大場崇芳, 富村正登, 小林利行, 小倉宏道, 掫部弘行, 今泉孝敬, 水野杏一(千葉北総病院内科・集中治療部)	[一般講演]梗塞部と非梗塞部におけるステント留置部の新生内膜被覆過程の差異	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
酒井俊太, 水野杏一(千葉北総病院内科)	[一般講演]診断 血管内視鏡・血管内超音波法	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
中込明裕, 高野照夫	[一般講演]ホルモン補充療法は、閉経後女性の単球組織因子活性を減弱させる	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
及川恵子, 福間長知, 愛須紀子, 土田貴也, 馬渕浩輔, 松田裕之, 斎藤勉, 草間芳樹, 宗像一雄, 岸田浩, 高野照夫	[一般講演]運動負荷時の交感神経活性化に対する心拍反応性の障害	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
桜井薰, 佐野純子, 本間博, 草間芳樹, 宗像一雄, 岸田浩, 高野照夫, 渡田伸一郎 ⁽¹⁾ , 隈崎達夫 ⁽¹⁾ (¹⁾ 放射線科)	[一般講演]201I-CI/99mTc-sestamibiを用いたドブタミン負荷心筋シングラフィ短時間収集心拍同期SPECTによる心筋虚血の評価	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
森田典成, 山科育子, 堀江格, 谷口宏史, 平澤泰宏, 阿部純子, 相澤瑞穂, 林明聰, 宮内靖史, 大村和子, 八島正明, 平山悦之, 新博次, 加藤貴雄, 高野照夫	[一般講演]Common atrial flutterにおける下位右房解剖学的峡部の伝導様式の検討—Reversed common flutter誘発例と非誘発例の比較—	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
及川恵子, 福間長知, 愛須紀子, 土田貴也, 馬渕浩輔, 松田裕之, 斎藤勉, 草間芳樹, 宗像一雄, 岸田浩, 高野照夫	[一般講演]運動負荷に対するchronotropic incompetenceの機序:代謝性因子と液性因子を介した心拍反応の検討	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
説田浩一 ⁽¹⁾ , 相澤瑞穂 ⁽¹⁾ , 荒尾正人 ⁽¹⁾ , 宮武佳子 ⁽¹⁾ , 今井保 ⁽¹⁾ , 小川剛 ⁽²⁾ , 清野精彦, 高野照夫 ⁽¹⁾ 都立駒込病院循環器科, ⁽²⁾ 博慈会記念総合病院循環器内科)	[一般講演]慢性心不全症例におけるヒト心臓脂肪酸蛋白による潜在性微小心筋障害の検出と病態の分析	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
中込明裕, 山本剛, 藤田進彦, 青木聰, 高野照夫, 山根吉人 ⁽¹⁾ , 雪吹周夫 ⁽¹⁾ , 鈴木健 ⁽¹⁾ , 長澤紘一 ⁽¹⁾ , 田中邦夫 ⁽²⁾ (¹⁾ 多摩永山病院内科, ⁽²⁾ 博慈会記念病院循環器科)	[一般講演]冠嚙縮性狭心症患者におけるアセチルコリン誘発試験時の冠嚙縮形態とその成因の検討—特に高インスリン血症と冠予備能の関与について—	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
何媛, 草間芳樹, 高山守正, 宗像一雄, 高野照夫	[一般講演]急性心筋梗塞患者2235例の25年間における冠危険因子の変遷	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
大野則彦, 松本真, 緒方憲一, 小林義典, 新博次, 加藤貴雄, 高野照夫, 斎藤寛和 ⁽¹⁾ (¹⁾ 第二病院内科)	[一般講演]急性心筋梗塞におけるQT variability index(QTVI)の経時的变化	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
宮内靖史, 小林義典, 岩崎雄樹, 森田典成, 林明聰, 相澤瑞穂, 新博次, 加藤貴雄, 高野照夫	[一般講演]Eustachian ridgeの上方進展度とその電気生理学的特徴	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
林明聰, 小林義典, 谷口宏史, 山科育子, 堀江格, 相澤瑞穂, 阿部純子, 森田典成, 岩崎雄樹, 大野則彦, 高山英男, 大野忠明, 松本真, 宮内靖史, 八島正明, 新博次, 加藤貴雄, 高野照夫	[一般講演]房室結節リエントリー性頻拍アブレーションにおける三尖弁輪一冠静脈洞間線状焼灼の有効性—電位ガイド下点状焼灼との比較—	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
岩崎雄樹, 宮内靖史, 大坂元久, 相澤瑞穂, 阿部純子, 森田典成, 林明聰, 大村和子, 平山悦之, 佐々部典子, 小林義典, 新博次, 加藤貴雄, 斎藤寛和 ⁽¹⁾ (¹⁾ 第二病院内科)	[一般講演]房室結節伝導時間変動の周波数解析—房室結節に対する自律神経活動の影響の定量化	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4
横山広行, 及川恵子, 福間長知, 安武正弘, 高野照夫, 早川弘一, 他	[一般講演]Phosphodiesterase 5阻害薬シルデナフィル適応勃起不全例における冠危険因子と潜在的虚血性心疾患の検討	第64回日本循環器学会学術集会	2000.4

演者名・所属	演題名	学会名	年月
清宮康嗣, 水野杏一, 田邊潤, 平澤康宏, 高野雅充, 大場崇芳, 横山真也, 富村正登, 小倉宏道, 酒井俊太, 品田卓郎, 掃部弘行, 今泉孝敬, 田中啓治(千葉北総病院内科・集中治療部)	[一般講演]急性冠症候群におけるブラーク破裂部位の検討	64回日本循環器学会総会	2000.4
大場崇芳, 酒井俊太, 加藤良人, 平澤泰宏, 田邊潤, 高野雅充, 清宮康嗣, 横山真也, 富村正登, 小林利行, 小倉宏道, 今泉孝敬, 山内茂生, 水野杏一(千葉北総病院内科・集中治療部)	[一般講演]急性冠症候群発生と炎症性疾患との関連: 血管内視鏡による検討	第64回日本循環器学会総会	2000.4
加藤貴雄, Sutovsky I, Wu XY, 高山英男, 清野精彦, 高野照夫, 早川弘一	[一般講演]心臓体液性因子と心室性不整脈重症度の関係	第97回日本内科学会講演会	2000.4
清水秀治, 古明地弘和, 大須賀勝, 関山達也, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己	[一般講演]肝硬変における食道静脈瘤, 肝循環, 全身血行動態の加齢変化に関する検討	第97回日本内科学会講演会	2000.4
佐野純子, 櫻井薫, 福間長知, 本間博, 草間芳樹, 宗像一雄, 岸田浩, 高野照夫	[一般講演]ドブタミン負荷 ^{99m} Tc-Sestamibi心拍同期心筋シンチグラフィーによる心筋虚血診断	第97回日本内科学会講演会	2000.4
田中啓治, 木村裕子, 松田裕之, 品田卓郎, 掃部弘行, 今泉孝敬, 他(千葉北総病院集中治療部)	[一般講演]いわゆるeconomy class syndromeの病態について	第97回日本内科学会講演会	2000.4
清宮康嗣, 酒井俊太, 品田卓郎, 今泉孝敬, 草間芳樹, 田邊潤, 平澤康宏, 高野雅充, 横山真也, 大場崇芳, 富村正登, 上村竜太, 小倉宏道, 井野威, 水野杏一(千葉北総病院内科)	[一般講演]同一部位のPTCAおよびステント再狭窄にて急性冠症候群となった症例の血管内視鏡所見	16回日本心血管インターベンション学会関東甲信越地方会	2000.4
藤田進彦, 田中古登子, 藤岡幹雄, 中込明裕, 草間芳樹, 太田眞夫, 橋本英洋, 高野照夫	[一般講演]トレッドミル運動負荷試験による耐糖能異常症例の多枝・び慢性冠動脈病変の推定	第43回日本糖尿病学会年次学術集会	2000.5
藤岡幹雄, 藤田進彦, 田中古登子, 中込明裕, 草間芳樹, 太田眞夫, 橋本英洋, 高野照夫, 洪基哲 ¹⁾ (福田登戸病院循環器科)	[一般講演]糖尿病における慢性冠動脈病変と無症候性心筋虚血の関連: event scoreを用いた冠動脈病変の検討	第43回日本糖尿病学会年次学術集会	2000.5
山本剛, 中込明祐, 大野忠明, 藤田進彦, 高野照夫, 山根吉人 ¹⁾ , 青木聰 ¹⁾ , 雪吹周生 ¹⁾ , 鈴木健 ¹⁾ , 長澤紘一 ¹⁾ (多摩永山病院内科)	[一般講演]糖尿病患者の冠動脈病変は漸漫性動脈硬化性病変が多い(新しいextent scoreを用いた検討)	第43回日本糖尿病学会年次学術集会	2000.5
木村祐子, 平山悦之, 清野精彦, 荒牧琢己, 他	[一般講演]横断性脊髄症で発症し, MRIで縦走病巣を認めた全身性エリテマトーデスの1例	第481回日本内科学会関東地方会	2000.5
藤田進彦, 谷口宏史, 阿部純子, 福間長知, 大須賀勝, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己	[一般講演]カンピロバクター菌による特発性臍胸を合併した肝硬変の1例	第259回日本消化器病学会関東支部例会	2000.5
宮内靖史, 小林義典, 相澤瑞穂, 阿部純子, 新博次, 加藤貴雄, 高野照夫, 他	[一般講演]Radial Incision術後に出現した心房頻拍に対してカテーテルアブレーションを施行した2例	第30回臨床心臓電気生理研究会	2000.5
村澤恒男, 斎藤寛和, 網谷賢一, 山口朋貞, 酒井行直, 西垣朝裕, 宗像一雄(第二病院内科)	[一般講演]維持透析患者の血液透析に伴うQT dispersionの変動について	第43回日本腎臓学会学術総会	2000.5
宜保陽介, 寺田秀人, 伊佐治剛, 保倉利江, 網谷賢一, 山口朋貞, 高橋直人, 酒井行直, 西垣朝裕, えび澤理人, 内田高浩, 山室学, 御方美文, 斎藤寛和, 村澤恒男, 北村伸, 宗像一雄, 他(第二病院内科)	[一般講演]成人病 Still病の1例	日本医科大学医学会第101回例会	2000.5
森田典成, 小林義典, 谷口宏史, 堀江格, 山科育子, 新博次 ¹⁾ (多摩永山病院内科)	[一般講演]通常型心房粗動における下位右房解剖学的狭部の伝導様式の検討(反時計回転方向単独誘発例と両回転方向心房粗動誘発例の比較)	第15回日本心臓ペーシング・電気生理学会	2000.5
相澤瑞穂, 小林義典, 阿部純子, 森田典成, 岩崎雄樹, 新博次 ¹⁾ , 他(多摩永山病院内科)	[一般講演]心房不応期に対する短時間高頻度刺激の影響(とくに自立神経の関与について)	第15回日本心臓ペーシング・電気生理学会	2000.5
川嶋修司, 田寺長, 遠藤康実, 山中博之, 雪吹周生, 鈴木健, 新博次, 長澤紘一, 他(多摩永山病院内科)	[一般講演]精神症状と共に発症した成人スチール病の1例	第481回日本内科学会関東地方会	2000.5

演者名・所属	演題名	学会名	年月
清水秀治, 里村克章, 古明地弘和, 大須賀勝, 関山達也, 勝田悌実, 荒牧琢己, 大本安一) ⁽¹⁾ (大塚製薬医療第一研究所)	[一般講演]肥満細胞由来ヒトキマーゼの測定法の確立	第36回日本肝臓学会総会	2000.6
ズレイガートジハド ⁽¹⁾ , 田中啓治 ⁽¹⁾ , 上村竜太 ⁽¹⁾ , 高山英男 ⁽¹⁾ , 笠神康平 ⁽¹⁾ , 山本 剛 ⁽¹⁾ , 石井庸平 ⁽¹⁾ , 佐藤直樹 ⁽¹⁾ , 安武正弘 ⁽¹⁾ , 矢島俊巳 ⁽²⁾ , 落 雅美 ⁽²⁾ , 田中茂夫 ⁽²⁾ , 高野照夫, 他 ⁽¹⁾ 集中治療室, ⁽²⁾ 外科第二)	[一般講演]剥離内膜の左室内嵌頓により仮性大動脈弁閉鎖不全をきたした急性大動脈解離	日本循環器学会関東甲信越地方会第176回学術集会	2000.6
美浦和代, 宮内靖史, 加藤浩司, 福間長知, 本間 博, 高山守正, 清野精彦, 岸田 浩, 高野照夫	[一般講演]大動脈弁疣贅の弁様作用により逆流が消失し術前血行動態が保たれた感染性心内膜炎の1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第176回学術集会	2000.6
高橋直人, 網谷賢一, 山口朋貞, 内田高浩, 柳方美文, 斎藤寛和, 宗像一雄(第二病院内科)	[一般講演]ジギトキシン中毒によると思われる血小板減少症の1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第176回学術集会	2000.6
谷口宏史, 井野 威, 加藤良人, 平澤康宏, 田邊 潤, 高野雅充, 清宮康嗣, 横山真也, 大場崇芳, 富村正登, 上村竜太, 小倉宏道, 酒井俊太, 水野杏一, 品田卓郎, 掃部弘行, 畑 典武, 高野照夫 ⁽¹⁾ (千葉北総病院内科・集中治療室, ⁽¹⁾ 第一内科)	[一般講演]一過性に徐脈頻脈症候群様心電図を呈したhypereosinophilic syndromeの1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第176回学術集会	2000.6
富村正登, 斎藤 勉, 岸田 浩, 高野照夫	[一般講演]冠嚙縮性狭心症のVasoreactivityに対するMacrophage-Colony Stimulating Factorの寄与	第42回日本老年医学会学術集会	2000.6
山根吉人, 川嶋修司, 雪吹周生, 大塚俊昭, 青木聰, 鈴木健, 長澤紘一(多摩永山病院内科)	[一般講演]高齢者急性心筋梗塞の医療経済的分析	第42回日本老年病学会学術集会	2000.6
竹永清人, 高山守正, 吉川雅智, 加藤浩司, 石川正也, 藤田進彦, 本間 博, 関戸司久, 上村竜太, 櫻井 薫, 中込明裕, 草間芳樹, 高野照夫, 山本 剛 ⁽¹⁾ , 笠神康平 ⁽¹⁾ , 佐藤直樹 ⁽¹⁾ , 安武正弘 ⁽¹⁾ (⁽¹⁾ 集中治療室)	[一般講演]閉塞性肥大型心筋症への経皮的中隔心筋焼灼術の臨床成績	第9回日本心血管インターベンション学会学術集会	2000.6
石川正也, 高山守正, 森田典成, 櫻井 薫, 上村竜太, 加藤浩司, 藤田進彦, 笠神康平, 藤岡幹雄, 佐藤直樹, 安武正弘, 中込明裕, 田中啓治, 高野照夫	[一般講演]いわゆる“たこつば心筋症”的成因の検討:回復期アセチルコリン(Ach)負荷による多枝冠動脈嚙縮を生じた3例	第9回日本心血管インターベンション学会学術集会	2000.6
加藤浩司, 高山守正, 上村竜太, 関戸司久, 小谷英太郎, 吉川雅智, 石川正也, 藤田進彦, 櫻井 薫, 笠神康平, 佐藤直樹, 安武正弘, 中込明裕, 草間芳樹, 田中啓治, 高野照夫	[一般講演]冠動脈ステント留置術の長期成績:各種ステントにおける急性冠病変(ACS)と慢性冠狭窄(非ACS)との差異	第9回日本心血管インターベンション学会学術集会	2000.6
吉川雅智, 加藤浩司, 高山守正, 石川正也, 藤田進彦, 櫻井 薫, 関戸司久, 小谷英太郎, 藤岡幹雄, 中込明裕, 草間芳樹, 高野照夫, 山本 剛 ⁽¹⁾ , 笠神康平 ⁽¹⁾ , 上村竜太 ⁽¹⁾ , 佐藤直樹 ⁽¹⁾ , 安武正弘 ⁽¹⁾ , 田中啓治 ⁽¹⁾ (⁽¹⁾ 集中治療室)	[一般講演]慢性冠狭窄例における待機的冠動脈ステント留置術の長期成績の検討:ステント世代による長期成績の比較	第9回日本心血管インターベンション学会学術集会	2000.6
横山真也, 酒井俊太, 平澤康宏, 田邊 潤, 清宮康嗣, 高野雅充, 大場崇芳, 富村正登, 上村竜太, 小倉宏道, 井野 威, 水野杏一(千葉北総病院内科)	[一般講演]gtxステントとMultilinkステントにおける新生内膜被覆過程の経時的差異	第9回日本心血管インターベンション学会学術集会	2000.6
村澤恒男, 斎藤寛和, 伊佐治剛, 宜保陽介, 保倉利江, 網谷賢一, 山口朋貞, 酒井行直, 西垣朝裕, 宗像一雄(第二病院内科)	[一般講演]維持透析患者の血液透析に伴うQT dispersionの変動と血液データについて	第45回日本透析医学会学術集会	2000.6
酒井行直, 村澤恒男, 宗像一雄, 他(第二病院内科)	[一般講演]遅発性の促進型拒絶反応が疑われたABO血液型不一致腎移植の1例	第45回日本透析医学会学術集会	2000.6
網谷賢一, 山口朋貞, 酒井行直, 西垣朝裕, 村澤恒男, 宗像一雄, 他(第二病院内科)	[一般講演]維持透析患者の血液透析前後における体内水分量の変動と血液データとの関連性の検討	第45回日本透析医学会学術集会	2000.6

演者名・所属	演題名	学会名	年月
稻葉教彦 ¹⁾ , 門松 豊 ¹⁾ , 酒井行直 ²⁾ , 村澤恒男 ²⁾ , 宗像一雄 ²⁾⁽¹⁾ (第二病院血液浄化療法室, ²⁾ 同内科)	[一般講演]HDおよびHDFにおける好中球接着分子への影響	第45回日本透析医学会学術集会	2000.6
門松 豊 ¹⁾ , 稲葉教彦 ¹⁾ , 酒井行直 ²⁾ , 村澤恒男 ²⁾ , 小川富雄 ³⁾ , 宗像一雄 ²⁾⁽¹⁾ (第二病院血液浄化療法室, ²⁾ 同内科, ³⁾ 小川クリニック))	[一般講演]ビタミンE固定化ダイアライザー(CL-EE)の赤血球に及ぼす影響について	第45回日本透析医学会学術集会	2000.6
田邊 潤, 平澤康宏, 高野雅充, 清宮康嗣, 横山真也, 大場崇芳, 富村正登, 小倉宏道, 水野杏一, 酒井俊太(千葉北総病院内科)	[一般講演]内膜の経時的観察による急性心筋梗塞に対するステント療法の有用性の検討	第32回日本動脈硬化学会総会	2000.6
平澤康宏, 田邊 潤, 稲見茂信, 高野雅充, 清宮康嗣, 大場崇芳, 横山真也, 富村正登, 酒井俊太, 水野杏一(千葉北総病院内科)	[一般講演]フルバスタチンの血漿酸化LDLに対する効果	第32回日本動脈硬化学会総会	2000.6
稻見茂信, 横山真也, 高野雅充, 清宮康嗣, 大場崇芳, 富村正登, 酒井俊太, 井野威, 烟 典武, 水野杏一(千葉北総病院内科・集中治療室)	[一般講演]茶カテキンの酸化LDLに対する効果	第32回日本動脈硬化学会総会	2000.6
淀川順司, 横山広行, 稲見茂信, 高野仁司, 志田幹雄, 小嶋俊一, 鬼頭義次, 倉持衡夫(国立東静病院循環器科)	[一般講演]巨大冠動脈瘤を伴った冠動脈瘤の一例	日本循環器学会第112回東海地方会	2000.6
掃部弘行 ¹⁾ , 今泉孝敬 ¹⁾ , 烟 典武 ¹⁾ , 緒方憲一 ²⁾ , 田中啓治 ²⁾ , 岩原信一郎 ³⁾ , 清野精彦, 木内要, 高野照夫 ¹⁾⁽¹⁾ (千葉北総病院集中治療部, ²⁾ 付属病院集中治療室, ³⁾ 海老名総合病院循環器センター)	[一般講演]H-FABP測定による急性心筋梗塞の診断・迅速判定法カットオフ値に関する検討	第20回心筋梗塞研究会	2000.7
館岡克彦, 福間長知, 清水秀治, 古明地弘和, 大須賀勝, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己, 小池淳樹 ¹⁾⁽¹⁾ (聖マリアンナ医科大学病理学)	[一般講演]肝組織学的にgranulomatous hepatitisを呈した原発性胆汁性肝硬変の1例	第260回日本消化器病学会関東支部例会	2000.7
大塚俊昭, 速藤康実, 浅井邦也, 田寺 長, 山中博之, 雪吹周生, 鈴木 健, 新 博次, 長澤紘一(多摩永山病院内科)	[一般講演]心不全で発症し, 経過中に肺出血, 肺膿炎を合併した甲状腺機能亢進症の1例	第177回日本循環器学会関東甲信越地方会	2000.7
横山真也, 酒井俊太, 平澤泰宏, 田邊 潤, 稲見茂信, 掃部弘行, 清宮康嗣, 高野雅充, 大場崇芳, 富村正登, 小倉宏道, 今泉孝敬, 草間茂樹, 山内茂生, 水野杏一(千葉北総病院内科)	[一般講演]血管内視鏡所見によるステント再狭窄予測の検討	第6回日本血管内治療学会	2000.7
大場崇芳 ¹⁾ , 酒井俊太 ¹⁾ , 品田卓郎 ²⁾ , 平澤泰宏 ¹⁾ , 田邊 潤 ¹⁾ , 掃部弘行 ²⁾ , 清宮康嗣 ¹⁾ , 高野雅充 ¹⁾ , 横山真也 ¹⁾ , 富村正登 ¹⁾ , 小倉宏道 ¹⁾ , 今泉孝敬 ²⁾ , 草間茂樹, 山内茂生 ³⁾ , 水野杏一 ¹⁾⁽¹⁾ (千葉北総病院内科, ²⁾ 同集中治療部, ³⁾ 同胸部外科)	[一般講演]糖尿病患者におけるステント留置後再狭窄の規定因子: 血管内エコーによる検討	第6回日本血管内治療学会	2000.7
幸田修典 ¹⁾ , 四維東州 ¹⁾ , 池崎弘之 ¹⁾ , 竹田晋浩 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 高野照夫, 他(¹⁾ 集中治療室)	[一般講演]集中治療室における非侵襲的人工呼吸器BiPAP使用に関する1考察	第15回日本医工学治療学会	2000.8
雪吹周生, 山根吉人, 石川正也, 川崎修司, 大塚俊昭, 浅井邦也, 鈴木 健, 長澤紘一(多摩永山病院内科)	[一般講演]急性心筋梗塞治療戦略の医療経済的分析(血栓溶解療法とdirectPTCAの比較)	第9回日本集中治療医学会関東甲信越地方会	2000.8
齊藤サビーネ京子 ¹⁾ , 高山英男 ¹⁾ , 竹田晋浩 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 中込明裕, 高野照夫, 他(¹⁾ 集中治療室)	[一般講演]上腸間膜動脈単独解離による虚血性腸炎を呈した1例	第9回日本集中治療医学会関東甲信越地方会	2000.8
長沢千秋 ¹⁾ , 山本 剛 ¹⁾ , 池崎弘之 ¹⁾ , 高山英男 ¹⁾ , 大野則彦, 安武正弘 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 加藤貴雄, 高野照夫(¹⁾ 集中治療室)	[一般講演]Pilsicainide中毒によるincessant型心室頻拍に対して持続的血液濾過透析(CHDF)が有効であった維持透析患者の1例	第9回日本集中治療医学会関東甲信越地方会	2000.8

演者名・所属	演題名	学会名	年月
中山暢子 ¹⁾ , 池崎弘之 ²⁾ , 竹田晋弘 ²⁾ , 宮下正男 ³⁾ , 笹島耕一 ³⁾ , 高野照夫, 田中啓治 ^{(1)麻酔科, (2)集中治療室, (3)外科第1)}	[一般講演]食道癌術後における呼吸器感染起因菌の検出	第9回日本集中治療医学会 関東甲信越地方会	2000.8
木村祐子, 福間長知, 及川恵子, 愛須紀子, 土田貴也, 馬淵浩輔, 佐野純子, 草間芳樹, 宗像一雄, 岸田 浩, 高野照夫	[一般講演]予後不良の指標である最大酸素摂取量低下と換気応答亢進が表す病態の差異	第6回日本心臓リハビリテーション学会	2000.9
小林義典, 森田典成, 阿部純子, 相澤瑞穂, 平澤泰宏, 岩崎雄樹, 林 明緒, 宮内靖史, 大村和子, 平山悦之, 加藤貴雄, 高野照夫, 新 博次 ^(1)多摩永山病院内科)	[一般講演]純III群薬Ibutilideの心房粗動に対する効果	第8回不整脈薬物療法研究会	2000.9
高野仁司	[一般講演]心筋虚血再灌流時のIschemic PreconditioningのDelayed Effect (Late Preconditioning)とそのメカニズムに関する研究	第68回日本医科大学医学 会総会	2000.9
大内基司 ¹⁾ , 猪狩吉雅 ¹⁾ , 綱代由美子 ¹⁾ , 岡崎恭次 ¹⁾ , 佐藤周三 ¹⁾ , 中野博司 ¹⁾ , 大庭建三 ¹⁾ , 妻鳥昌平 ¹⁾ , 岩崎雄樹, 高野照夫, 他 (1)老人科)	[一般講演]虚血性心疾患を合併した、老年者インフルエンザA型感染症により生じた急性心筋炎の1例	第68回日本医科大学医学 会総会	2000.9
佐藤綾子 ¹⁾ , 井上一夫 ¹⁾ , 久保田稔 ¹⁾ , 田所久子 ¹⁾ , 手嶌浩志 ¹⁾ , 杉原秀人 ¹⁾ , 水谷幸伸 ¹⁾ , 酒井貴史 ¹⁾ , 佐藤寛之 ¹⁾ , 池谷廣幸 ¹⁾ , 鈴木 健 ²⁾ , 他 ^{(1)多摩永山病院中央検査室, (2)同内科)}	[一般講演]脾頭部に仮性囊胞を伴った慢性脾炎の1例	第68回日本医科大学医学 会総会	2000.9
井口輝彦 ¹⁾ , 渋井信治 ¹⁾ , 手塚尚美 ¹⁾ , 相澤泰与 ¹⁾ , 恩田怜子 ¹⁾ , 池野廣幸 ¹⁾ , 鈴木 健 ²⁾ (1)多摩永山病院中央検査室, (2)同内科)	[一般講演]第三世代のHCV抗体試薬における判定保留例の検討	第63回日本医科大学医学 会総会	2000.9
中澤 宏 ¹⁾ , 渡部百合子 ¹⁾ , 恩田怜子 ¹⁾ , 池野 廣幸 ¹⁾ , 鈴木 健 ²⁾ (1)多摩永山病院中央検査室, (2)同内科)	[一般講演]巨大血小板を呈したITPの血小板直徑曲線	第68回日本医科大学医学 会総会	2000.9
井上 淳 ¹⁾ , 菅野由紀 ¹⁾ , 藤木直美 ¹⁾ , 相澤 正 ¹⁾ , 徳原美子 ¹⁾ , 池野廣幸 ¹⁾ , 鈴木 健 ²⁾ (1)多摩永山病院中央検査室, (2)同内科)	[一般講演]総 IgE値/特異 IgE値乖離例の検討	第68回日本医科大学医学 会総会	2000.9
徳原美子 ¹⁾ , 井上 淳 ¹⁾ , 菅野由紀 ¹⁾ , 藤木直美 ¹⁾ , 相澤 正 ¹⁾ , 池野廣幸 ¹⁾ , 鈴木 健 ²⁾ (1)多摩永山病院中央検査室, (2)同内科)	[一般講演]糖尿病検査項目自動分析機「DM-JACK」の基本的検討	第68回日本医科大学医学 会総会	2000.9
遠藤康実, 新 博次, 壬生倉徹志, 川口直美, 浅井邦也, 田寺 長, 山中博之, 雪吹周生, 鈴木 健, 長澤紘一(多摩永山病院内科)	[一般講演]ASOおよびASKが高値で経過したリウマチ性多発筋痛症の1例	第68回日本医科大学医学 会総会	2000.9
藤中祐美子 ¹⁾ , 澤井規己 ¹⁾ , 亀山明美 ¹⁾ , 伊藤淳雄 ¹⁾ , 村田和也 ¹⁾ , 雪吹周生 ²⁾ , 鈴木 健 ²⁾ , 長澤紘一 ^{(1)多摩永山病院薬剤科, (2)同内科)}	[一般講演]薬剤師による成人気管支喘息患者への教育指導	第68回日本医科大学医学 会総会	2000.9
林 明聰, 加藤貴雄, 小林義典, 阿部純子, 相澤瑞穂, 岩崎雄樹, 森田典成, 宮内靖史, 新 博次, 高野照夫	[一般講演]植え込み型除細動器治療におけるアミオダロン併用のメリット	第48回日本心臓病学会学 術集会	2000.9
清野精彦, 緒方憲一, 高野照夫, 石井潤一 ¹⁾ , 菱田 仁 ¹⁾ , 他 ^{(1)H-FABP迅速判定法共同研究(MET-HFABP)グループ)}	[一般講演]H-FABP全血迅速判定法による超急性期心筋梗塞の診断: Multicenter Emergency triage by H-FABP rapid panel test (MET-HFABP)	第48回日本心臓病学会学 術集会	2000.9
掃部弘行 ¹⁾ , 畑 典武 ¹⁾ , 水野杏一 ¹⁾ , 緒方憲一, 田中啓治, 清野精彦, 高野照夫 ^(1)千葉北総病院内科, 集中治療部)	[一般講演]急性心筋梗塞におけるH-FABP高値遷延症例の臨床像と予後に関する検討	第48回日本心臓病学会学 術集会	2000.9
中込明裕, 青木 聰, 山本 剛, 藤田進彦, 高野照夫, 山根吉人 ¹⁾ , 雪吹周生 ¹⁾ , 長澤紘一 ^(1)多摩永山病院内科)	[一般講演]冠攀縮性狭心症患者における薬物療法抵抗性の機序(特に炎症反応, 高インスリン血症, 冠予備能の関与)	第48回日本心臓病学会学 術集会	2000.9

演者名・所属	演題名	学会名	年月
竹永清人, 高山守正, 吉川雅智, 加藤浩司, 藤田進彦, 佐藤直樹, 藤岡幹雄, 中込明裕, 安武正弘, 草間芳樹, 高野照夫	[一般講演]経皮的中隔心筋焼灼術前後の血清BNP値減少は左室圧較差減少を反映する	第48回日本心臓病学会学術集会	2000.9
吉川雅智, 高山守正, 竹永清人, 加藤浩司, 笠神康平, 中込明裕, 安武正弘, 本間博, 草間芳樹, 高野照夫	[一般講演]閉塞性肥大型心筋症への経皮的中隔心筋焼灼術による左室構築ならびに心エコーグラフ所見の水位	第48回日本心臓病学会学術集会	2000.9
笠神康平 ¹⁾ , 山本 刚 ¹⁾ , 大野則彌 ¹⁾ , 高山英男 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 高山守正, 田中啓治 ¹⁾ , 高野照夫(集中治療室)	[一般講演]最近5年間の急性心筋炎の短期および長期予後について	第48回日本心臓病学会学術集会	2000.9
及川恵子, 福間長知, 木村祐子, 愛須紀子, 土田貴也, 馬渕浩輔, 佐野純子, 草間芳樹, 宗像一雄, 岸田 浩, 高野照夫	[一般講演]運動負荷時のcatecholamine反応性によるchronotropic incompetenceの機序の分類	第48回日本心臓病学会学術集会	2000.9
中込明裕, 青木 啓, 草間芳樹, 高山守正, 高野照夫	[一般講演]安定狭心症患者において末梢単球組織因子活性は上昇しており, C-Reactive Proteinが急性冠症候群進展に関与する	第48回日本心臓病学会学術集会	2000.9
大野忠明, 本間 博, 西垣龍太郎, 草間芳樹, 高山守正, 岸田 浩, 高野照夫, 松崎つや子 ¹⁾ (生理機能センター)	[一般講演]経静脈的コントラスト心エコー法による局所心筋内灌流の定量的評価の検討	第48回日本心臓病学会学術集会	2000.9
木村祐子, 福間長知, 及川恵子, 土田貴也, 愛須紀子, 馬渕浩輔, 佐野純子, 草間芳樹, 宗像一雄, 岸田 浩, 高野照夫	[一般講演]心房細動患者におけるExercise-induced vasodilationの除細動による改善	第48回日本心臓病学会学術集会	2000.9
雪吹周生, 青木 啓, 山根吉人, 大塚俊昭, 川嶋修司, 川口直美, 山中博之, 鈴木 健, 長澤鉢一(多摩永山病院内科)	[一般講演]負荷心筋SPECTにて定量評価した局所心筋血流増加反応は脂肪酸を反映する	第48回日本心臓病学会学術集会	2000.9
大場崇芳 ¹⁾ , 酒井俊太 ¹⁾ , 田邊 潤 ¹⁾ , 平澤泰宏 ¹⁾ , 高野雅充 ¹⁾ , 清宮康嗣 ¹⁾ , 横山真也 ¹⁾ , 富村正登 ¹⁾ , 上村竜太 ¹⁾ , 井野 威 ¹⁾ , 煙典武 ²⁾ , 水野杏一 ¹⁾ (千葉北総病院内科, ²⁾ 同集中治療部)	[一般講演]糖尿病患者におけるステント留置後再狭窄の規定因子(血管内エコーによる検討)	第48回日本心臓病学会学術集会	2000.9
馬 淑梅 ¹⁾ , 大場崇芳 ¹⁾ , 酒井俊太 ¹⁾ , 富村正登 ¹⁾ , 横山真也 ¹⁾ , 稲見茂信 ¹⁾ , 高野雅充 ¹⁾ , 田邊 潤 ¹⁾ , 平澤泰宏 ¹⁾ , 上村竜太 ¹⁾ , 井野 威 ¹⁾ , 清宮康嗣 ¹⁾ , 今泉孝敬 ²⁾ , 煙典武 ²⁾ , 水野杏一 ¹⁾ (千葉北総病院内科, ²⁾ 同集中治療部)	[一般講演]無症候性プラーク崩壊における糖尿病, 高血圧の重要性	第48回日本心臓病学会学術集会	2000.9
高野雅充, 田邊 潤, 平澤泰宏, 清宮康嗣, 横山真也, 大場崇芳, 富村正登, 上村竜太, 酒井俊太, 井野 威, 水野杏一(千葉北総病院内科)	[一般講演]急性冠症候群の責任冠動脈になぜPositive Remodelingが多いのか?: 血管内超音波ならびに血管内視鏡による検討	第48回日本心臓病学会学術集会	2000.9
田邊 潤 ¹⁾ , 酒井俊太 ¹⁾ , 平澤泰宏 ¹⁾ , 高野雅充 ¹⁾ , 清宮康嗣 ¹⁾ , 大場崇芳 ¹⁾ , 横山真也 ¹⁾ , 富村正登 ¹⁾ , 上村竜太 ¹⁾ , 井野 威 ¹⁾ , 今泉孝敬 ²⁾ , 煙典武 ²⁾ , 水野杏一 ¹⁾ (付属千葉北総病院内科, ²⁾ 同集中治療部)	[一般講演]急性心筋梗塞に対するステント療法遠隔期心事故減少の機序(冠動脈内膜の経時的観察による検討)	第48回日本心臓病学会学術集会	2000.9
横山真也, 酒井俊太, 田邊 潤, 平澤泰宏, 清宮康嗣, 高野雅充, 大場崇芳, 富村正登, 上村竜太, 井野 威, 水野杏一(千葉北総病院内科)	[一般講演]AMI急性期のステント留置後の抗血小板療法はいつまで必要か?	第48回日本心臓病学会学術集会	2000.9
水野杏一, 酒井俊太, 上村竜太, 横山真也, 高野雅充, 大場崇芳	[一般講演]冠動脈内視鏡: インターベンションガイドラインとしての有用性	第48回日本心臓病学会学術集会	2000.9
清宮康嗣, 田邊 潤, 平澤泰宏, 高野雅充, 大場崇芳, 横山真也, 富村正登, 上村竜太, 酒井俊太, 井野 威, 水野杏一(千葉北総病院内科)	[一般講演]急性冠症候群におけるプラーク破綻部位の検討	第48回日本心臓病学会学術集会	2000.9
遠藤廣実 ¹⁾ , 新 博次 ¹⁾ , 壬生倉徹志 ¹⁾ , 田寺長 ¹⁾ , 宮本新次郎 ¹⁾ , 川口直美 ¹⁾ , 丸山光紀 ¹⁾ , 小林義典, 高野照夫(多摩永山病院内科)	[一般講演]新しいⅢ群抗不整脈薬Sotalolの心房細動抑制効果	第21回日本臨床薬理学会年会	2000.9

演者名・所属	演題名	学会名	年月
大野則彦, 斎藤寛和 ¹⁾ , 加藤貴雄, 宗像一雄 ¹⁾ , 高野照夫, 長澤紘一 ²⁾ , 早川弘一 ^{(1)第二病院内科, (2)多摩永山病院内科}	[一般講演]抗アレルギー剤エバスチン投与前後におけるQT間隔の検討:測定法の影響	第21回日本臨床薬理学会年会	2000.9
大塚俊昭, 石川正也, 川嶋修司, 山根吉人, 青木聰, 浅井邦也, 雪吹周生, 鈴木健, 長澤紘一(多摩永山病院内科)	[一般講演]冠嚙縮性狹心症におけるRho-kinase阻害薬の冠動脈拡張効果	第21回日本臨床薬理学会	2000.9
壬生倉徹志, 川口直美, 田寺長, 浅井邦也, 遠藤康実, 山中博之, 雪吹周生, 鈴木健, 新博次, 長澤紘一(多摩永山病院内科)	[一般講演]高齢発症Bechet病の1例	第484回日本内科学会関東地方会	2000.9
加藤浩司, 古明地弘和, 椎葉邦人, 小林義典, 清野精彦, 高野照夫, 佐藤直樹 ¹⁾ , 佐藤秀貴 ²⁾ (¹ 集中治療室, ² 高度救命救急センター)	[一般講演]心筋炎, 心内膜炎, 脳炎を合併し, 意識障害, DIC, 心室頻拍を呈したACTH単独欠損症の1例	第484回日本内科学会関東地方会	2000.9
高山英男, 淀川顯司, 黒木伸一, 加藤貴雄	[一般講演]QRS高周波成分の一過性変化と心室性不整脈の関連性:任意加算平均法とウェーブレット変換法による解析	第16回心電図信号情報処理ワークショップ	2000.10
阿部純子, 小林義典, 相澤瑞穂, 平澤泰宏, 森田典成, 岩崎雄樹, 林 明総, 宮内靖史, 大村和子, 平山悦之, 加藤貴雄, 早川弘一, 高野照夫	[一般講演]特発性拡張型心筋症における左脚ブロック型持続性心室頻拍出現の背景:右室構造的および機能的障害の検討	第17回日本心電学会学術集会	2000.10
山科育子, 加藤貴雄, 及川恵子, 福間長知, 小林義典, 高野照夫	[一般講演]トレッドミル運動負荷試験中の不整脈誘発と虚血性変化の関連性	第17回日本心電学会学術集会	2000.10
Sutovsky I, 加藤貴雄, Wu XY, 清野精彦, 高野照夫, 早川弘一	[一般講演]血中ANP, BNP濃度と心室期外収縮数および重症度の関係	第17回日本心電学会学術集会	2000.10
龜山幹彦 ¹⁾ , 平山悦之, 品田卓郎 ²⁾ , 丸山光紀 ³⁾ , 清水秀一, 緒方憲一 ³⁾ , 小林義典, 斎藤寛和 ⁴⁾ , 新 博次 ³⁾ , 高野照夫 ^{(1)稻田登戸病院内科, (2)千葉北総病院集中治療部, (3)多摩永山病院内科, (4)第二病院内科}	[一般講演]交感神経がAlternans発生に及ぼす影響:イヌ生体位心における検討	第17回日本心電学会学術集会	2000.10
長戸孝道, 加藤良人, 磯田麻里, 張雪君, 清水秀治, 古明地弘和, 大須賀勝, 関山達也, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己	[一般講演]B-RTOを施行した慢性肝性脳症の8例	第4回日本肝臓学会大会	2000.10
吉川雅智, 丸山光紀, 山中博之, 雪吹周生, 鈴木健, 新博次, 長澤紘一, 他(多摩永山病院内科)	[一般講演]腸管外合併症の発症を契機に診断に至った潰瘍性大腸炎の1例	第485回日本内科学会関東地方会	2000.10
内田高浩, 網谷賢一, 山口朋貞, 高橋直人, 楠方美文, 斎藤寛和, 宗像一雄, 他(第二病院内科)	[一般講演]大動脈弁置換術1年後に急性心筋梗塞を若年発症した1例	第177回日本循環器学会関東甲信越地方会	2000.10
笠神康平 ¹⁾ , 高山守正, 石川正也, 山本 剛 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 中込明裕, 草間芳樹, 田中啓治 ¹⁾ , 高野照夫, 他(¹ 集中治療室)	[一般講演]Degenerated Saphenous Vein Graftへの冠動脈形成術にてコレステリン・クリスタルの末梢飛散を証明し得た1例	第177回日本循環器学会関東甲信越地方会	2000.10
美浦和代 ¹⁾ , 山本 剛 ¹⁾ , 伊藤尚子 ¹⁾ , 高井恵美子 ¹⁾ , 笠神康平 ¹⁾ , 大野則彦, 高山英男 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 林 明聰, 森田典成, 岩崎雄樹, 小林義典, 加藤貴雄, 高野照夫(¹ 集中治療室)	[一般講演]重症心不全に伴う難治性心房粗細動に対し房室結節焼灼, 心房心室順次ペーシングにより, 血行動態の改善をみた急性心筋梗塞の1例	第177回日本循環器学会関東甲信越地方会	2000.10
横山真也, 水野杏一, 荒井恒憲, 宮本 明, 宮原健吾 ^{(1)京都埋蔵研究所}	[一般講演]冠動脈内視鏡の色彩的考察	第14回日本心臓血管内視鏡学会	2000.10
清宮康嗣, 平澤康宏, 田邊 潤, 三浦洋司, 豊田孝志, 馬 淑梅, 高野雅充, 大場崇芳, 横山真也, 富村正登, 上村竜太, 今泉孝敏, 井野 威, 畑典武, 水野杏一(千葉北総病院内科・集中治療部)	[一般講演]無症候性plaques崩壊の血管内視鏡および臨床的特徴	第14回日本心臓血管内視鏡学会	2000.10
馬 淑梅, 大場崇芳, 酒井俊太, 富村正登, 横山真也, 上村竜太, 畑 典武, 井野 威, 水野杏一(千葉北総病院内科・集中治療部)	[一般講演]急性冠症候群患者における無症候性内膜傷害発症因子としての高血圧の重要性	第23回日本高血圧学会	2000.10

演者名・所属	演題名	学会名	年月
岡松健太郎, 品田卓郎, 豊田隆志, 三浦洋司, 掃部弘行, 高野雅充, 清宮康嗣, 横山真也, 大場崇芳, 富村正登, 上村竜太, 小原俊彦, 今泉孝敏, 井野威, 畑典武, 水野杏一(千葉北総病院内科・集中治療部)	[一般講演]梗塞責任部位の同定に血管内視鏡が有用であった1例	第17回日本心血管インターベンション学会関東甲信越地方会	2000.10
早乙女雅夫, 高野仁司, 横山広行, 倉持衛夫, 小嶋俊一, 吉富雄治(国立東静病院循環器科)	[一般講演]Primary cardiac Lymphomaの一例	日本循環器学会東海／北陸合同地方会	2000.10
及川恵子, 福間長知, 木村祐子, 愛須紀子, 土田貴也, 馬淵浩輔, 佐野純子, 宗像一雄, 高野照夫	[一般講演]糖尿病患者における末梢交感神経機能障害と運動負荷時下肢易疲労性	第37回日本臨床生理学会総会	2000.11
高山英男 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 山本剛 ¹⁾ , 笠神康平 ¹⁾ , 大野則彦 ¹⁾ , 池崎弘之 ¹⁾ , 石井康介 ¹⁾ , 竹田晋浩 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 高野照夫 ¹⁾ (集中治療室)	[一般講演]過去20年間に集中治療室に収容された慢性心不全増悪患者死亡112例の検討	第37回日本臨床生理学会総会	2000.11
張雷君, 秋元敏雄 ¹⁾ , 大須賀勝, 長戸孝道, 清水秀治, 古明地弘和, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己 ¹⁾ (実験動物管理室)	[一般講演]二次性胆汁性肝硬変ラット(CBDL)の動脈血酸素化に及ぼす一酸化窒素(NO)の影響	第37回日本臨床生理学会総会	2000.11
大場崇芳, 酒井俊太, 馬淵浩輔, 椎葉邦人, 堀江裕, 谷口宏史, 平澤泰宏, 田邊潤, 品田卓郎, 掃部弘行, 清宮康嗣, 高野雅充, 横山真也, 富村正登, 上村竜太, 山内茂生 ¹⁾ , 井野威, 水野杏一(千葉北総病院内科・集中治療部, ¹⁾ 同胸部外科)	[一般講演]第2世代ステント留置後の遠隔期再狭窄部の検討	第41回日本脈管学会総会	2000.11
清宮康嗣, 水野杏一, 田邊潤, 平澤泰宏, 高野雅充, 大場崇芳, 横山真也, 富村正登, 上村竜太, 酒井俊太(千葉北総病院内科)	[一般講演]急性冠症候群におけるブラーク破裂部位および形態の検討	第41回日本脈管学会総会	2000.11
及川恵子, 福間長知, 小林義典, 草間芳樹, 清野精彦, 高野照夫	[一般講演]腎尿細管障害に伴うマグネシウム欠乏が冠挙縮性狭心症の誘因となった2例	日本循環器学会関東甲信越地方会第178回学術集会	2000.12
小林剛 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 高山英男 ¹⁾ , 富樫晃祥 ¹⁾ , 山本剛 ¹⁾ , 笠神康平 ¹⁾ , 坪宏一 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 渡田伸一郎 ²⁾ , 高野照夫 ¹⁾ (集中治療室, ²⁾ 放射線科)	[一般講演]重症虚血性心不全に対するドバミン反応性をモバイルガンマカメラにより評価した1症例	日本循環器学会関東甲信越地方会第178回学術集会	2000.12
清宮康嗣, 品田卓郎, 豊田隆志, 三浦洋司, 岡松健太郎, 高野雅充, 掃部弘行, 大場崇芳, 横山真也, 上村竜太, 富村正登, 今泉孝敏, 畑典武, 山内茂生 ¹⁾ , 水野杏一(千葉北総病院内科・集中治療部, ¹⁾ 同胸部外科)	[一般講演]左右冠動脈にて異なる冠挙縮形態を呈した急性心筋梗塞の1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第178回学術集会	2000.12
田近研一郎, 品田卓郎, 大場崇芳, 村上大介, 上野亮, 小原俊彦, 今泉孝敏, 畑典武, 掃部弘行, 清宮康嗣, 水野杏一(千葉北総病院内科・集中治療部)	[一般講演]多臓器不全を併せた治療に難済した感染症心内膜炎の1例	日本循環器学会関東甲信越地方会第178回学術集会	2000.12
村上大介, 中込明裕, 清水秀治, 古明地弘和, 大須賀勝, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己	[一般講演]1年8ヶ月の間に急性発症を繰り返したHGV-RNA陽性原発性胆汁性肝硬変の1例	第262回日本消化器病学会関東支部例会	2000.12
村上大介, 中込明裕, 福島正人, 青木聰, 藤岡幹雄, 小林義典, 清野精彦, 高野照夫, 寺本明 ¹⁾ (¹⁾ 脳神経外科)	[一般講演]意識障害にて発症し, 汎下垂体機能低下症を認めたリンパ球性下垂体炎と考えられた1例	第487回日本内科学会関東地方会	2000.12
山口朋貞, 高橋直人, 内田高浩, えび澤理人, 斎藤寛和, 北村伸, 宗像一雄, 佐藤雅史 ¹⁾ (第二病院内科, ¹⁾ 放射線科)	[一般講演]最近当院で経験した肺感染症の数例	日本医科大学医学会第102回例会	2000.12
上野亮, 村上大介, 品田卓郎, 大場崇芳, 小原俊彦, 今泉孝敏, 畑典武, 他(千葉北総病院集中治療部)	[一般講演]感染性心内膜炎の1例	日本医科大学医学会第102回例会	2000.12

演者名・所属	演題名	学会名	年月
三浦洋司 ¹⁾ , 豊田隆志 ¹⁾ , 高野雅充 ¹⁾ , 清宮康嗣 ¹⁾ , 掃部弘行 ¹⁾ , 横山真也 ¹⁾ , 大場崇芳 ¹⁾ , 上村竜太 ¹⁾ , 富村正登 ¹⁾ , 井野威 ¹⁾ , 畑典武 ¹⁾ , 水野杏一 ¹⁾ , 斎藤勉 ¹⁾ , 岸田浩 ¹⁾ , 高野照夫 ¹⁾ (千葉北総病院内科・集中治療部)	[一般講演]冠嚙縮性狭心症のVasoreactivityに対する流血中 Macrophage-Colony Stimulating Factorの関与	14回日本冠疾患学会学術集会	2000.12
上村竜太, 平澤泰宏, 高野雅充, 清宮康嗣, 横山真也, 大場崇芳, 富村正登, 今泉孝敬, 井野威, 畑典武, 水野杏一(千葉北総病院内科・集中治療部)	[一般講演]急性心筋梗塞における急性期冠内圧測定から慢性期左室機能の回復を予期できるか	14回日本冠疾患学会学術集会	2000.12
高野雅充, 横山真也, 平澤泰宏, 清宮康嗣, 掃部弘行, 大場崇芳, 富村正登, 上村竜太, 馬淑梅, 今泉孝敬, 畑典武, 井野威, 水野杏一(千葉北総病院内科・集中治療部)	[一般講演]冠動脈内視鏡の新しい試み	14回日本冠疾患学会学術集会	2000.12
森田茂英 ¹⁾ , 雪吹周生, 村田和也 ²⁾ , 鈴木健, 新博次, 長澤紘一, 寺澤孝明 ¹⁾ (¹⁾ 東京薬科大学総合医療薬学講座, ²⁾ 多摩永山病院薬剤科)	[一般講演]	第35回日本成人病学会	2001.1
時田祐吉, 大村和子, 金澤宏美, 塚田弥生, 古明地弘和, 小林義典, 高山守正, 岸田浩, 高野照夫	[一般講演]センナ系下剤の大量長期服用が原因と考えられたばち状指の1例	第488回日本内科学会関東地方会	2001.2
吉岡正剛, 清水秀一, 荒尾正人, 今井保、説田浩一、他(都立駒込病院循環器内科)	[一般講演]気管支喘息に伴い冠嚙縮が原因と考えられた若年女性急性心筋梗塞の1例	第488回日本内科学会関東地方会	2001.2
松本真, 平山悦之, 岩崎雄樹, 小林義典, 清野精彦, 加藤貴雄, 高野照夫, 斎藤寛和 ¹⁾ , 大野則彦 ¹⁾ , 大坂元久 ¹⁾ , 緒方憲一 ²⁾ , 新博次 ²⁾ (¹⁾ 第二病院内科, ²⁾ 多摩永山病院内科)	[一般講演]T波alternans(TWA)のサルコイドーシス患者における心筋障害, 持続性心室頻拍診断の有用性	第11回体表心臓微小電位研究会	2001.2
高山英男, 淀川顯司, 小原俊彦, 加藤貴雄, 高野照夫, 早川弘一 ¹⁾ (¹⁾ 久我山病院)	[一般講演]ウェーブレット変換法による肥大型大型心筋症の心室頻拍の解析	第11回体表心臓微小電位研究会	2001.2
清宮康嗣 ¹⁾ , 水野杏一 ¹⁾ , 田邊潤 ¹⁾ , 平澤泰宏 ¹⁾ , 高野雅充 ¹⁾ , 横山真也 ¹⁾ , 大場崇芳 ¹⁾ , 富村正登 ¹⁾ , 上村竜太 ¹⁾ , 酒井俊太 ¹⁾ , 井野威 ¹⁾ , 田中啓治 ²⁾ , 高山守正, 高野照夫 ¹⁾ (千葉北総病院循環器センター, ²⁾ 付属病院集中治療室)	[一般講演]急性冠症候群におけるプラーク破裂部位および形態の検討	第11回体表心臓微小電位研究会	2001.2
神戸将, 坪宏一, 田中啓治, 寺西宣央, 藤井正大, 他(集中治療室)	[一般講演]心タンポナーデを伴ったintramural hematomaの1例	第179回日本循環器学会関東甲信越地方会	2001.2
水野杏一(千葉北総病院内科)	[一般講演]血管内超音波にて特徴的なinflammatoryを認めた炎症性大動脈瘤の1例	第179回日本循環器学会関東甲信越地方会	2001.2
池田真人, 平澤泰宏, 愛須紀子, 佐伯和則、金村應文、他(北村山公立病院内科)	[一般講演]副腎腫瘍を伴う原発性アルドステロン症の2例	第163回日本内科学会東北地方会	2001.2
大塚俊昭, 雪吹周生, 吉川雅智, 石川正也, 山根吉人, 浅井邦也, 鈴木健, 長澤紘一(多摩永山病院内科)	[一般講演]Rho-Kinase阻害薬の冠動脈拡張効果(冠嚙縮部位/非嚙縮部位の相違)	第28回日本集中治療医学会	2001.3
中込明裕, 青木聰, 山根吉人, 加藤浩司, 藤田進彦, 藤岡幹雄, 草間芳樹, 高山守正, 坪宏一 ¹⁾ , 笠神康平 ¹⁾ , 山本剛 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 高野照夫 ¹⁾ (集中治療室)	[一般講演]安定狭心症患者においてC-Reactive Proteinが急性冠症候群進展に関与する	第28回日本集中治療医学会総会	2001.3
藤田宏子 ¹⁾ , 池崎弘之 ¹⁾ , 竹田晋浩 ¹⁾ , 四維東州 ¹⁾ , 鈴木かやの ¹⁾ , 二神生爾 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 高野照夫, 小川龍 ²⁾ , 田中啓治 ¹⁾ (¹⁾ 集中治療室, ²⁾ 麻酔科)	[一般講演]多臓器不全をともなった血球貧食症候群を集中治療により救命し得た1症例	第28回日本集中治療医学会総会	2001.3
山本剛 ¹⁾ , 笠神康平 ¹⁾ , 高山英男 ¹⁾ , 坪宏一 ¹⁾ , 亀山幹彦 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 高山守正, 高野照夫, 他(¹⁾ 集中治療室)	[一般講演]血栓の色調からみた急性肺血栓塞栓症の臨床的特徴	第28回日本集中治療医学会総会	2001.3

演者名・所属	演題名	学会名	年月
佐藤 越 ¹⁾ , 徳山権一 ¹⁾ , 高橋保裕 ¹⁾ , 山科育子 ¹⁾ , 洪 基哲 ¹⁾ , 岡松健太郎, 亀山幹彦, 三浦洋司, 高野照夫(¹⁾ 稻田登戸病院循環器科)	[一般講演]心臓カテーテル検査合併症の大腿部動脈瘤に対し用手圧迫が有用であった1例	第28回日本集中治療医学 会総会	2001.3
坪 宏一 ¹⁾ , 子島 潤 ²⁾ , 木内要, 高山守正, 亀山幹彦 ¹⁾ , 高山英男 ¹⁾ , 笠神康平 ¹⁾ , 山本剛 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 高野照夫(¹⁾ 集中治療室, ²⁾ 戸田市健康管理センター)	[一般講演]B型大動脈解離慢性期管理:いつ, どのような症例に手術をするか?	第28回日本集中治療医学 会総会	2001.3
笠神康平 ¹⁾ , 山本 剛 ¹⁾ , 高山英男 ¹⁾ , 坪 宏一 ¹⁾ , 亀山幹彦 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 池崎弘之 ¹⁾ , 竹田晋浩 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 高山守正, 田中啓治 ¹⁾ , 高野照夫(¹⁾ 集中治療室)	[一般講演]当院CCUにおける最近10年間の急性心筋炎の短期および長期予後について	第28回日本集中治療医学 会総会	2001.3
高山英男 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 大野則彦 ¹⁾ , 山本剛 ¹⁾ , 笠神康平 ¹⁾ , 佐藤直樹 ¹⁾ , 安武正弘 ¹⁾ , 加藤貴雄, 高野照夫(¹⁾ 集中治療室)	[一般講演]緊急治療の必要な頻脈性上室性不整脈に対するNifekalantの使用経験	第28回日本集中治療医学 会総会	2001.3
森田典成, 小林義典, 林 明駿, 相澤瑞穂, 阿部純子, 平澤泰宏, 岩崎雄樹, 林 明紘, 宮内靖史, 大村和子, 平山悦之, 加藤貴雄, 高野照夫, 大野則彦 ¹⁾ , 高山英男 ¹⁾ , 田中啓治 ¹⁾ (¹⁾ 集中治療室)	[一般講演]長時間持続した上室性頻拍症による心不全に対し緊急カテーテルアブレーションが奏効した1例	第28回日本集中治療医学 会総会	2001.3
谷口宏史, 小林義典, 林 明駿, 相澤瑞穂, 阿部純子, 森田典成, 岩崎雄樹, 大村和子, 平山悦之, 加藤貴雄, 高野照夫, 早川弘一, 新 博次 ¹⁾ (¹⁾ 多摩永山病院内科)	[一般講演]抗頻拍ペーシングにより頻拍化する心室頻拍例の臨床的検討	第28回日本集中治療医学 会総会	2001.3
山科育子 ¹⁾ , 徳山権一 ¹⁾ , 高橋保裕 ¹⁾ , 佐藤 越 ¹⁾ , 洪 基哲 ¹⁾ , 亀山幹彦, 岡松健太郎, 三浦洋司, 高野照夫(¹⁾ 稻田登戸病院循環器科)	[一般講演]広範肺出血を合併した若年発症の特発性再発型肺血栓塞栓症の1例	第28回日本集中治療医学 会総会	2001.3
張 雪君, 本間 博, 加藤良人, 長戸孝道, 清水秀治, 古明地弘和, 大須賀勝, 里村克章, 勝田悌実, 荒牧琢己	[一般講演]肝肺症候群における低酸素血症と接觸時間	第28回日本集中治療医学 会総会	2001.3
清宮泰嗣 ¹⁾ , 水野杏一 ¹⁾ , 田邊 潤 ¹⁾ , 平澤泰宏 ¹⁾ , 高野雅充 ¹⁾ , 横山真也 ¹⁾ , 大場崇芳 ¹⁾ , 富村正登 ¹⁾ , 上村竜太 ¹⁾ , 酒井俊太 ¹⁾ , 井野威 ¹⁾ , 田中啓治 ²⁾ , 高山守正, 高野照夫(¹⁾ 千葉北総病院循環器センター, ²⁾ 集中治療室)	[一般講演]急性冠症候群におけるブラーク破裂部位および形態の検討	第28回日本集中治療医学 会総会	2001.3
清水 淳 ¹⁾ , 坂本篤裕 ¹⁾ , 中西一浩 ¹⁾ , 竹田晋弘 ²⁾ , 池崎弘之 ²⁾ , 田中啓治 ¹⁾ , 小川 龍 ¹⁾ (¹⁾ 麻酔科, ²⁾ 集中治療室)	[一般講演]濃厚赤血球輸血時に白血球除去フィルターに起因すると思われるショック症状を示した1例	第28回日本集中治療医学 会総会	2001.3
馬 淑梅, 大場崇芳, 酒井俊太, 富村正登, 横山真也, 稲見茂信, 高野雅充, 田邊 潤, 平澤泰宏, 上村竜太, 井野 威, 清宮泰嗣, 今泉孝敏, 煙典武, 水野杏一(千葉北総病院内科・集中治療部)	[一般講演]急性冠症候群患者における無症候性ブラーク崩壊発症因子としての高血圧的重要性	第28回日本集中治療医学 会総会	2001.3
田邊 潤, 上村竜太, 富村正登, 横山真也, 大場崇芳, 高野雅充, 清宮泰嗣, 煙 典武, 水野杏一(千葉北総病院内科・集中治療部)	[一般講演]急性心筋梗塞に対するステント留置療法の有用性について、血管内視鏡による検討	第28回日本集中治療医学 会総会	2001.3
平澤泰宏, 佐伯和則, 金村應文, 高木啓倫, 池田真人, 愛須紀子, 大場崇芳, 長戸孝道, 丸山光紀(北村山公立病院内科)	[一般講演]1地方病院における突然死の検討:入浴中死亡例について	第28回日本集中治療医学 会総会	2001.3
稲見茂信, 横山広行, 吉富雄治, 淀川顯治, 高野仁司, 小嶋俊一, 倉持衛夫(国立東静病院循環器科)	[一般講演]急性心筋梗塞後左室リモデリングに対するisosprololとimidaprilの長期効果に関する検討	第28回日本集中治療医学 会総会	2001.3
Ogata K, Seino Y, Kiuchi K, Takayama M, Takano T, Satoh N1), Yasutake M ¹⁾ , Tanaka K1)(¹⁾ Coronary Care Unit)	[一般講演]Semi quantitative positivity in whole blood rapid assay of heart-type fatty acid-binding protein identifies higher risk group for cardiac emergency triage	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3

演者名・所属	演題名	学会名	年月
Aoki S, Nakagomi A, Yamane Y, Fujita N, Yoshikawa M, Shiiba K, Tajika K, Fujioka M, Takagi H, Kusama Y, Takayama M, Takano T, Katoh K ⁽¹⁾ (The Department of Cardiology, Hakujikai Memorial Hospital)	[一般講演] Age and sex differences influence monocyte tissue factor induction by C-Reactive Protein	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Ohno N ⁽¹⁾ , Saitoh H ⁽¹⁾ , Ogata K ⁽¹⁾ , Osaka M ⁽¹⁾ , Munakata K ⁽¹⁾ , Matsumoto S, Takano T ⁽¹⁾ (Department of Internal Medicine, Second Hospital)	[一般講演] Temporal fluctuation of QT interval and ventricular arrhythmia: QT variability index (QTVI) and frequency analysis of QT interval	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Oikawa K, Fukuma N, Kimura Y, Mabuchi K, Miura K, Aisu N, Tsuchiya T, Kusama Y, Munakata K, Takano T, Kumita S ⁽¹⁾ , Kumazaki T ⁽¹⁾ (Department of Radiology)	[一般講演] Sympathetic denervation of the motor muscle plays an important role in excessive blood pressure response to exercise	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Morita N, Kobayashi Y, Yamashina I, Taniguchi H, Hirasawa Y, Aizawa M, Abe J, Iwasaki Y, Hayashi M, Ohmura K, Hirayama Y, Katoh T, Takano T	[一般講演] Termination effect of intravenous ibutilide on common atrial flutter and its mechanism	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Nakagomi A, Aoki S, Yamane Y, Yamamoto T, Fujita N, Fujioka M, Kusama Y, Takayama M, Takano T, Ibuki C ⁽¹⁾ , Nagasawa K ⁽¹⁾ , Katoh K ⁽²⁾ , Tanaka K ⁽²⁾ (¹ Department of Internal Medicine, Tama-Nagayama Hospital, ² Department of Cardiology, Hakujikai Memorial Hospital)	[一般講演] Exercise thallium-201 myocardial image is useful for predicting adverse outcomes in patients with vasospastic angina	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Yamamoto T ⁽¹⁾ , Kasagami Y ⁽¹⁾ , Akutsu K ⁽¹⁾ , Takayama H ⁽¹⁾ , Satoh N ⁽¹⁾ , Yasutake M ⁽¹⁾ , Tanaka K ⁽¹⁾ , Nakagomi A, Fujita N, Aoki S, Fujioka M, Kusama Y, Takayama M, Takano T, Munakata K ⁽²⁾ (Division of CCU and ICU, ² Department of Internal Medicine, The Second Hospital)	[一般講演] Acute coronary syndromes develop in proportion to atherosclerotic plaque burden	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Shimizu S, Seino Y, Takagi H, Katsuta Y, Aramaki T, Takano T	[一般講演] Is an ongoing myocardial damage detected in patients with chronic HCV hepatitis?	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Satoh N ⁽¹⁾ , Tanaka K ⁽¹⁾ , Yasutake M ⁽¹⁾ , Yamamoto T ⁽¹⁾ , Kasagami Y ⁽¹⁾ , Takayama H ⁽¹⁾ , Akutsu K ⁽¹⁾ , Kameyama M ⁽¹⁾ , Takano T ⁽¹⁾ (Intensive and Coronary Care Unit)	[一般講演] Effectiveness of the adjunctive therapy with growth hormone in severe heart failure patients	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Tanaka K ⁽¹⁾ , Yasutake M ⁽¹⁾ , Satoh N ⁽¹⁾ , Akutsu K ⁽¹⁾ , Yamamoto T ⁽¹⁾ , Kasagami Y ⁽¹⁾ , Kameyama M ⁽¹⁾ , Takano T ⁽¹⁾ (Division of CCU and ICU)	[一般講演] Analysis of clinical course in patients with pericardial hematoma following acute aortic dissection	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Otsuka T ⁽¹⁾ , Ibuki C ⁽¹⁾ , Suzuki T ⁽¹⁾ , Mibukura T ⁽¹⁾ , Yoshida H ⁽¹⁾ , Ishii K ⁽¹⁾ , Yamane Y ⁽¹⁾ , Asai K ⁽¹⁾ , Ishikawa M ⁽¹⁾ , Nagasawa K ⁽¹⁾ , Takano T ⁽¹⁾ (Department of Internal Medicine, Tama-Nagayama Hospital)	[一般講演] Inhibition of Rho-kinase induces potent coronary dilatation in patients with vasospastic angina	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Taniguchi H, Kobayashi Y, Hayashi M, Yamashina I, Aizawa M, Abe J, Iwasaki Y, Morita N, Miyauchi Y, Ohmura K, Hirayama Y, Katoh T, Takano T	[一般講演] Clinical and electrophysiological background of rate acceleration of induced ventricular tachycardia during anti-tachycardia pacing	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Kasagami Y ⁽¹⁾ , Yamamoto T ⁽¹⁾ , Takayama H ⁽¹⁾ , Akutsu K ⁽¹⁾ , Kameyama M ⁽¹⁾ , Satoh N ⁽¹⁾ , Yasutake M ⁽¹⁾ , Tanaka K ⁽¹⁾ , Takayama M, Takano T ⁽¹⁾ (Coronary Care Unit)	[一般講演] Long-term outcome of acute viral myocarditis: comparison between fulminant and nonfulminant cases	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Ogata K ⁽¹⁾ , Saitoh H ⁽¹⁾ , Ohno N ⁽¹⁾ , Munakata K ⁽¹⁾ , Kameyama M, Shimizu S, Matsumoto S, Yashima M, Hirayama Y, Takano T, Maruyama M ⁽²⁾ , Atarashi H ⁽²⁾ (¹ Department of Internal Medicine, Dai-ni Hospital, ² Department of Internal Medicine, Tama-Nagayama Hospital)	[一般講演] Role of intracellular calcium cycling by sarcoplasmic reticulum (SR) in constant high heart rate in micro-volt T-Wave alternans	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3

演者名・所属	演題名	学会名	年月
Yamashina I, Takayama M, Tokuyama K, Takano T, Kameyama M ¹⁾ , Akutsu K ¹⁾ , Kumazaki T ¹⁾ , Takayama H ¹⁾ , Yamamoto T ¹⁾ , Satoh N ¹⁾ , Yasutake M ¹⁾ , Tanaka K ¹⁾ , Kasagami Y ¹⁾ , Tajima H ¹⁾ (¹ Division of CCU and ICU)	[一般講演]Acute stage strategy of treating acute pulmonary thromboembolism:effect of temporary inferior vena caval filter, thrombolysis and transcatheter thrombectomy	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Iwasaki Y, Miyauchi Y, Osaka M, Aizawa M, Abe J, Morita N, Hayashi M, Ohmura K, Hirayama Y, Kobayashi Y, Katoh T, Takano T, Saitoh H ¹⁾ (¹ Department of Internal Medicine, 2nd Hospital)	[一般講演]Spectral analysis of RR interval variability during paroxysmal supraventricular tachycardia	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Shiiba K, Takayama M, Yoshikawa M, Takenaga K, Katoh K, Takagi H, Fujita N, Ohno T, Nakagomi A, Honma H, Kusama Y, Takano T, Yasutake M ¹⁾ (¹ Coronary and Intensive Care Unit)	[一般講演]Electrocardiographic change of septal myocardial ethanol ablation in patients with hypertrophic obstructive cardiomyopathy	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Ohmura K, Kobayashi Y, Taniguchi H, Aizawa M, Abe J, Morita N, Iwasaki Y, Hayashi M, Miyauchi Y, Hirayama Y, Katoh T, Takano T	[一般講演]Electrophysiological characteristics of atrial fibrillation organized into atrial flutter by oral administration of class I antiarrhythmic agents	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Otsuka T ¹⁾ , Ibuki C ¹⁾ , Suzuki T ¹⁾ , Mibukura T ¹⁾ , Yoshida H ¹⁾ , Ishii K ¹⁾ , Yamane Y ¹⁾ , Asai K ¹⁾ , Ishikawa M ¹⁾ , Nagasawa K ¹⁾ , Takano T ¹⁾ (¹ Department of Internal Medicine, Tama-Nagayama Hospital)	[一般講演]Abnormal response to low dose acetylcholine is associated with predominance of calcium-independent vascular contraction	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Kimura Y, Fukuma N, Oikawa K, Miura K, Aisu N, Tsuchida T, Mabuchi K, Munakata K, Takano T, Kumita S ¹⁾ , Kumazaki T ¹⁾ (¹ Department of Radiology)	[一般講演]Accelerated ventilatory response to VCO ₂ during exercise reflecting activation of sympathetic nerve distribution to the motor muscle	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Hayashi M, Kobayashi Y, Taniguchi H, Yamashina I, Abe J, Aizawa M, Iwasaki Y, Morita N, Ohmura K, Miyauchi Y, Hirayama Y, Katoh T, Atarashi H, Takano T	[一般講演]Long-term variability in induced ventricular tachyarrhythmias. Incidence, background, and clinical significances in relation to the spontaneous occurrence of arrhythmias	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Aizawa M, Kobayashi Y, Hirasawa Y, Abe J, Morita N, Iwasaki Y, Hayashi M, Yamashina M, Hirayama Y, Katoh T, Takano T, Yasutake M ¹⁾ , Tanaka K ¹⁾ (¹ Coronary Care Unit)	[一般講演]Emergent catheter ablation for various tachyarrhythmias.-Indications, results and patients' prognosis	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Sano J ¹⁾ , Mizuno K ¹⁾ , Inami S ¹⁾ , Okamatsu K ¹⁾ , Sakai S ¹⁾ , Takano T ¹⁾ (¹ Department of Medicine, Chiba-Hokusoh Hospital)	[一般講演]Effects of green tea intake on the prevention of coronary artery disease	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Atarashi H, Inoue H ¹⁾ , Sugi K ²⁾ , Fukunami M ³⁾ , Origasa H ⁴⁾ , Hamada C ⁵⁾ (¹ Toyama Medical & Pharmaceutical University, ² Toho University of Medicine, ³ Osaka Prefectural General Hospital, ⁴ Toyama Medical & Pharmaceutical University, ⁵ Kyoto University)	[一般講演]A randomized placebo controlled double-blind trial of aprindine, digoxin for the maintenance of sinus rhythm in patients with atrial fibrillation	第65回日本循環器学会学術集会	2001.3
Takano M ¹⁾ , Okamatsu K ¹⁾ , Seimiya K ¹⁾ , Kamon H ¹⁾ , Yokoyama S ¹⁾ , Ohba T ²⁾ , Tomimura M ¹⁾ , Uemura R ¹⁾ , Ma SM ¹⁾ , Sakai S ¹⁾ , Hata N ²⁾ , Mizuno K ¹⁾ (¹ Internal Medicine, Chiba Hokusoh hospital, ² Coronary Care Unit)	[一般講演]Mechanical characteristics of vulnerable plaques:comparison of distensibility between yellow and white plaques	第65回日本循環器学会総会	2001.3
Takano M ¹⁾ , Okamatsu K ¹⁾ , Seimiya K ¹⁾ , Kamon H ¹⁾ , Yokoyama S ¹⁾ , Ohba T ²⁾ , Tomimura M ¹⁾ , Uemura R ¹⁾ , Ma SM ¹⁾ , Sakai S ¹⁾ , Hata N ²⁾ , Mizuno K ¹⁾ (¹ Internal Medicine, Chiba Hokusoh Hospital, ² Coronary Care Unit)	[一般講演]Why does positive remodeling of coronary artery induce unstable clinical presentations?	第65回日本循環器学会総会	2001.3

演者名・所属	演題名	学会名	年月
Ma SM ¹⁾ , Miura H ¹⁾ , Toyota T ¹⁾ , Okamatsu K ¹⁾ , Kamon H ¹⁾ , Takano M ¹⁾ , Seimiya K ¹⁾ , Yokoyama S ¹⁾ , Ohba T ²⁾ , Tomimura M ¹⁾ , Uemura R ¹⁾ , Ohara T ²⁾ , Hata N ²⁾ , Mizuno K ¹⁾ (¹ Internal Medicine, Chiba Hokusoh Hospital, ² Coronary Care Unit)	[一般講演]The importance of Hypertension as an Asymptomatic Plaque Rupture Factor in Acute Coronary Syndrome (ACS) Patients	第65回日本循環器学会総会	2001.3
Okamatu K, Seimiya K, Kamon H, Yokoyama S, Ohba T, Tomimura M, Uemura R, Ma S, Sakai S, Hata N, Mizuno K(Department of Internal Medicine and Coronary Care Unit, Chibahokuso Hospital)	[一般講演]Mechanical characteristics of vulnerable plaques: comparison of distensibility between yellow and white plaques	第65回日本循環器学会総会	2001.3
Sano J, Mizuno K, Inami S, Okamatu K, Sakai S(Department of Internal Medicine, Chibahokuso Hospital)	[一般講演]Effects of green tea intake on prevention of coronary artery disease	第65回日本循環器学会総会	2001.3
Matsumoto S, Hirayama Y, Iwasaki Y, Kobayashi Y, Seino Y, Takano T, Saitoh H ¹⁾ , Ogata K ¹⁾ , Ohno N ²⁾ , Osaka M ²⁾ , Atarashi H ³⁾ (¹ Department of Internal Medicine, 2nd Hospital, ² Department of Health Case Hospital, 2nd Hospital, ³ Department of Internal Medicine, Tama-Nagayama Hospital)	[一般講演]T-wave alternans can detect cardiac involvement in sarcoidosis	第65回日本循環器学会総会	2001.3
Seino Y, Ikeda M, Kashiwagi M, Takano T, Setsuta K ¹⁾ (¹ Tokyo Metropolitan Komagome Hospital)	[一般講演]Aiming suppression of ongoing myocardial damage in patients with advanced heart failure: assessment by Myocardial Subset	第65回日本循環器学会総会	2001.3